



## 電話システムのモニタリング

- [電話システムの監視の概要](#) (1 ページ)
- [アップロードされた Syslog メッセージにデバイス ID を含める](#) (1 ページ)
- [Cisco IP Phone のステータス](#) (2 ページ)
- [Cisco IP Phone の Web ページ](#) (8 ページ)

### 電話システムの監視の概要

電話機および電話機 Web ページの電話機ステータス メニューを使用すると、電話機に関するさまざまな情報を表示できます。この情報には、次のものが含まれます。

- 機器情報
- ネットワークのセットアップ情報
- ネットワーク統計
- デバイス ログ
- ストリームの統計

この章では、電話機の Web ページから取得可能な情報について説明します。この情報は、電話機の操作のリモート モニタやトラブルシューティングに役立てることができます。

### アップロードされた Syslog メッセージにデバイス ID を含める

syslog サーバにアップロードされる syslog メッセージにデバイス識別子を含めることを選択できます。電話機の IP アドレスは時間の経過とともに変わる可能性があります、デバイス ID は変わりません。これにより、複数の電話機からの着信メッセージのストリームで各メッセージの送信元を特定するプロセスが簡単になります。デバイス識別子は、各メッセージのタイムスタンプの後に表示されます。

### 始める前に

syslog メッセージをアップロードするように電話機に syslog サーバを設定します。詳細については[オプションのネットワーク構成 \(31 ページ\)](#) の **syslog サーバ**をご覧ください。

### 手順

**ステップ 1** 電話管理 Web ページで、**音声 > システム > オプションのネットワーク設定**に進みます。

**ステップ 2** **syslog 識別子パラメータ**を[オプションのネットワーク構成 \(31 ページ\)](#) で説明されているように設定します。

## Cisco IP Phone のステータス

ここでは、Cisco IP Phone のモデル情報、ステータス メッセージ、およびネットワーク統計を表示する方法について説明します。


- [モデル情報 (Model Information)] : 電話機のハードウェアとソフトウェアに関する情報を表示します。
- [ステータス (Status)] メニュー : ステータス メッセージ、ネットワーク統計、および現在のコールに関する統計を表示する画面にアクセスできます。

これらの画面に表示される情報は、電話機の操作のモニタやトラブルシューティングに役立てることができます。

また、これらの情報の大半およびその他の関連情報は、電話機の Web ページからリモートで取得することもできます。


## [電話の情報 (Phone Information)] ウィンドウの表示

### 手順

**ステップ 1** アプリケーション ボタン  を押します。

**ステップ 2** [ステータス (Status)] > [製品情報 (Product Information)] を選択します。

ユーザパスワードが設定されると、対応するアイコン (ロックまたは証明書) が電話画面の右上隅に表示されます。

**ステップ 3** [モデル情報 (Model Information)] 画面を終了するには、 を押します。

## 電話機のステータスの表示

### 手順

ステップ1 [アプリケーション (Applications)] ボタン  を押します。

ステップ2 [ステータス (Status)] > [電話ステータス (Phone Status)] > [電話ステータス (Phone Status)] を選択します。

以下の情報を確認できます。

- [経過時間 (Elapsed time)] : システムを前回再起動してから経過した時間の合計。
- [Tx (パケット) (Tx (Packets))] : 電話機から送信されたパケット。
- [Rx (パケット) (Rx (Packets))] : 電話機で受信されたパケット。

## 電話機でのステータス メッセージの表示


### 手順

ステップ1 [アプリケーション (Applications)] ボタン  を押します。

ステップ2 [ステータス (Status)] > [ステータスメッセージ (Status messages)] を選択します。

プロビジョニングが最後に実行されてからの、さまざまな電話ステータスのログを表示できます。

(注) ステータスメッセージは UTC 時間を反映し、電話機のタイムゾーン設定の影響を受けません。

ステップ3 [戻る (Back)]  を押します。

## [ネットワーク ステータス (Network Status)] の表示

### 手順

ステップ1 [アプリケーション (Applications)] ボタン  を押します。

ステップ2 [ステータス (Status)] > [ネットワークステータス (Network Status)] を選択します。

以下の情報を確認できます。

- [ネットワークタイプ (Network type)] : 電話機が使用するローカルエリア ネットワーク (LAN) 接続のタイプを示します。
- [ネットワークステータス (Network status)] : 電話機がネットワークに接続されているかどうかを示します。
- [IPv4 ステータス (IPv4 status)] : 電話機の IP アドレス。電話機の IP アドレス、アドレッシングタイプ、IP ステータス、サブネットマスク、デフォルトルータ、ドメインネームサーバ (DNS) 1、DNS 2 に関する情報を確認できます。
- [IPv6 ステータス - 電話機の IP アドレス。電話機の IP アドレス、アドレッシングタイプ、IP ステータス、サブネットマスク、デフォルトルータ、ドメインネームサーバ (DNS) 1、DNS 2 に関する情報を確認できます。
- [VLAN ID - 電話機の VLAN ID。
- [MAC アドレス (MAC address)] : 電話機固有のメディアアクセスコントロール (MAC) アドレス。
- [ホスト名 (Host name)] : 電話機に割り当てられた現在のホスト名が表示されます。
- [ドメイン- 電話機のネットワークドメイン名を表示します。デフォルト : cisco.com
- [スイッチポートリンク (Switch port link)] : スイッチ ポートのステータス。
- [スイッチポート設定 (Switch port config)] : ネットワーク ポートの速度とデュプレックスを示します。
- [PCポート設定 (PC port config)] : PC ポートの速度とデュプレックスを示します。
- [PCポートリンク (PC port link)] : PC ポートの速度とデュプレックスを示します。

## [コール統計 (Call Statistics)] ウィンドウの表示

電話機の [コールの統計 (Call Statistics)] 画面にアクセスすると、最新のコールのカウント、統計、および音声品質メトリックを表示できます。




- (注) また Web ブラウザを使用して [ストリームの統計 (Streaming Statistics)] Web ページにアクセスすることにより、リモートでコール統計情報を表示することもできます。この Web ページには、電話機では表示できない追加の RTCP 統計が含まれています。


単一のコールが複数の音声ストリームを使用する場合がありますが、最後の音声ストリームに関するデータだけがキャプチャされます。音声ストリームは、2つのエンドポイント間のパケットストリームです。一方のエンドポイントが保留になると、コールが引き続き接続されている場合でも、音声ストリームは停止します。コールが再開されると、新しい音声パケットストリームが開始され、以前のコール データは新しいコール データによって上書きされます。

[コール統計 (Call Statistics)] 画面に音声ストリームに関する最新情報を表示するには、次の手順を実行します。

#### 手順

**ステップ 1** アプリケーション ボタン  を押します。

**ステップ 2** [ステータス (Status)] > [電話のステータス (Phone Status)] > [コール統計 (Call statistics)] を選択します。

**ステップ 3** [ステータス (Status)] メニューを終了するには、[戻る (Back)]  を押します。

## コール統計のフィールド

次の表に、[コール統計 (Call Statistics)] 画面の項目を示します。

表 1: Cisco IP Phone の [コール統計 (Call Statistics)] の項目

項目	説明
[受信コーデック (Receiver Codec)]	受信した音声ストリームの種類 (コーデックからの RTP ストリーミング オーディオ) : <ul style="list-style-type: none"> <li>• G.729</li> <li>• G.722</li> <li>• G.711 mu-law</li> <li>• G.711 A-law</li> <li>• OPUS</li> <li>• iLBC</li> </ul>
送信コーデック (Sender Codec)	送信した音声ストリームの種類 (コーデックからの RTP ストリーミング オーディオ) : <ul style="list-style-type: none"> <li>• G.729</li> <li>• G.722</li> <li>• G.711 mu-law</li> <li>• G.711 A-law</li> <li>• OPUS</li> <li>• iLBC</li> </ul>

項目	説明
[受信サイズ (Receiver Size) ]	受信中の音声ストリーム (RTP ストリーミングオーディオ) の音声パケットサイズ (ミリ秒)。
送信サイズ (Sender Size)	送信中の音声ストリームの音声パケットサイズ (ミリ秒)。
受信パケット (Rcvr Packets)	音声ストリームが開始されてから受信された RTP 音声パケットの数。  (注) コールが保留されていた可能性があるため、この数値は、必ずしもコールが開始されてから受信された RTP 音声パケットの数と同じであるとは限りません。
送信パケット (Sender Packets)	音声ストリームが開始されてから送信された RTP 音声パケットの数。  (注) コールが保留されていた可能性があるため、この数値は、必ずしもコールが開始されてから送信された RTP 音声パケットの数と同じであるとは限りません。
平均ジッター (Avg Jitter)	受信中の音声ストリームが開始されてから測定された、RTP パケットジッターの推定平均値 (パケットがネットワークを経由する際の動的な遅延) (ミリ秒単位)。
最大ジッター (Max Jitter)	受信中の音声ストリームが開始されてから測定された最大ジッター (ミリ秒単位)。
[受信破棄 (Receiver Discarded) ]	受信中の音声ストリームで廃棄された RTP パケットの数 (不良パケット、過度の遅延などによる)。  (注) シスコゲートウェイが生成したペイロードタイプ 19 のコンフォート ノイズパケットはこのカウンタを増分するため、電話機はこれらのパケットを破棄します。
受信喪失パケット (Rcvr Lost Packets)	失われた RTP パケット (転送中に喪失)。
<b>音声品質メトリック (Voice Quality Metrics)</b>	

項目	説明
累積フレーム損失率 (Cumulative Conceal Ratio)	隠蔽フレームの総数を、音声ストリームの開始以降に受信された音声フレームの総数で割った値。
直近フレーム損失率 (Interval Conceal Ratio)	アクティブな音声に先行する 3 秒間の間隔における、音声フレームに対する隠蔽フレームの比率。音声アクティビティ検出 (VAD) を使用する場合は、アクティブな音声を 3 秒集めるために、もっと長い間隔が必要になる可能性があります。
最大フレーム損失率 (Max Conceal Ratio)	音声ストリームの開始以降、最も高い間隔の損失率。
[フレーム損失発生秒数 (Conceal Seconds) ]	音声ストリームの開始以降、隠蔽イベント (フレーム損失) があった秒数 ([深刻なフレーム損失発生秒数 (Severely Conceal Secs) ]の値を含む)。
[深刻なフレーム損失発生秒数 (Severely Conceal Seconds) ]	音声ストリームの開始以降、5% を超える隠蔽イベント (フレーム損失) があった秒数。
遅延	ネットワーク遅延の推定値 (ミリ秒単位)。ラウンドトリップ遅延の実行中の平均値を表します。これは、RTCP 受信レポートブロックの受信時に測定されます。

## 設定ユーティリティでのカスタマイズ状態の表示

EDOS サーバからの RC ダウンロードが完了すると、Web インターフェイスで電話機のカスタマイズ状態を表示できます。

リモートカスタマイズ状態の説明は次のとおりです。

- [オープン (Open) ] : 電話機が初めて起動し、設定されていません。
- [中断 (Aborted) ] : リモートカスタマイズが、DHCP オプションなどの他のプロビジョニングのために中断されました。
- [待機中 (Pending) ] : プロファイルが EDOS サーバからダウンロードされました。
- [カスタム待機中 (Custom-Pending) ] : 電話機が EDOS サーバからリダイレクト URL をダウンロードしました。
- [取得済み (Acquired) ] : EDOS サーバからダウンロードされたプロファイルに、プロビジョニング設定のリダイレクト URL があります。プロビジョニングサーバからのリダイレクト URL のダウンロードが正常に完了した場合、この状態が示されます。

- [利用不可 (Unavailable)] : EDOSサーバが空のプロビジョニングファイルで応答し、HTTP 応答が 200 OK だったため、リモートカスタマイズが停止しました。

## 手順

- ステップ 1** 電話機の Web ページで、[管理者ログイン (Admin Login)] > [情報 (Info)] > [ステータス (Status)] を選択します。
- ステップ 2** [製品情報 (Product Information)] セクションで、[カスタマイズ (Customization)] フィールドに電話機のカスタマイズ状態を表示できます。
- プロビジョニングが失敗した場合は、同じページの [プロビジョニングステータス (Provisioning Status)] に詳細を表示できます。

# Cisco IP Phone の Web ページ

この項では、電話機の Web ページから取得可能な情報について説明します。この情報は、電話機の操作のリモート モニタやトラブルシューティングに役立てることができます。

## 関連トピック

- [電話機の Web ページへのアクセス](#)
- [電話機の IP アドレスの決定](#)
- [Cisco IP Phone への Web アクセスの許可](#)

## [情報 (Info)]

このタブのフィールドは読み取り専用で、編集できません。

## ステータス

### システム情報

パラメータ	説明
ホスト名	電話機に割り当てられている現在のホスト名が表示されます。
ドメイン(Domain)	電話機のネットワーク ドメイン名が表示されます。 デフォルト : cisco.com
[プライマリ NTP サーバ (Primary NTP Server)]	電話機に割り当てられているプライマリ NTP サーバが表示されます。



パラメータ	説明
[セカンダリNTPサーバ (Secondary NTP Server) ]	電話機に割り当てられているセカンダリ NTP サーバが表示されます。
Bluetooth 対応	電話機が Bluetooth 対応であるかどうかを示します。
[Bluetooth接続済み (Bluetooth Connected) ]	電話機に Bluetooth が接続されているかどうかを示します。
[Bluetooth MAC]	Bluetooth デバイスの MAC アドレスが表示されます。
接続されているデバイスのID	接続デバイスの ID が表示されます。
アクティブインターフェイス	導入オプションとして電話機がイーサネットケーブルを使用するかどうか表示されます。 Cisco IP Phone 8861 専用。
[ワイヤレスMAC (Wireless MAC) ]	電話機の MAC アドレスが表示されます。 Cisco IP Phone 8861 専用。
SSID	電話機の SSID が表示されます。 Cisco IP Phone 8861 専用。
モード 802.11	導入オプションとして 電話機が 802.11 インターフェイスを使用するかどうか表示されます。 Cisco IP Phone 8861 専用。
セキュリティ モード (Security Mode)	電話機が WLAN へのアクセスに使用する認証のタイプが表示されます。
[カメラシャッター (Camera Shutter) ]	シャッターの状態が表示されます。 Cisco IP Phone 8845 および 8865 専用。

## IPv4 情報

パラメータ	説明
[IPステータス (IP Status) ]	接続が確立されていることを示します。

パラメータ	説明
[接続タイプ (Connection Type) ]	電話機のインターネット接続のタイプを示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• DHCP</li> <li>• 静的 IP</li> </ul>
[現在のIP (Current IP) ]	IP フォンに割り当てられている現在の IP アドレスが表示されます。
[現在のネットマスク (Current Netmask) ]	電話機に割り当てられているネットワーク マスクが表示されます。
[現在のゲートウェイ (Current Gateway) ]	電話機に割り当てられているデフォルト ルータが表示されます。
[プライマリDNS (Primary DNS) ]	電話機に割り当てられているプライマリ DNS サーバが表示されます。
[セカンダリDNS (Secondary DNS) ]	電話機に割り当てられているセカンダリ DNS サーバが表示されます。

## IPv6 情報

パラメータ	説明
[IPステータス (IP Status) ]	接続が確立されていることを示します。
[接続タイプ (Connection Type) ]	電話機のインターネット接続のタイプを示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Static IP</li> <li>• DHCP</li> </ul>
[現在のIP (Current IP) ]	IP フォンに割り当てられている現在の IPv6 アドレスが表示されます。
[プレフィックス長 (Prefix Length) ]	ネットワークの一部であるグローバルユニキャスト IPv6 アドレスのビット数を示します。たとえば、IPv6 アドレスが 2001:0Db8:0000:000b::/64 の場合、数字 64 は最初の 64 ビットがネットワークの一部であることを示しています。
[現在のゲートウェイ (Current Gateway) ]	電話機に割り当てられているデフォルト ルータが表示されます。

パラメータ	説明
[プライマリDNS (Primary DNS) ]	電話機に割り当てられているプライマリ DNS サーバが表示されます。
[セカンダリDNS (Secondary DNS) ]	電話機に割り当てられているセカンダリ DNS サーバが表示されます。

## 再起動履歴

再起動履歴の詳細については、[再起動の理由](#)を参照してください。

## 製品情報

パラメータ	説明
Product Name	電話機のモデル番号。
ソフトウェアバージョン	電話機のファームウェアバージョン番号。
MAC アドレス	電話機のハードウェア アドレス。
[カスタマイズ (Customization) ]	RC ユニットについて、このフィールドはユニットがカスタマイズされているかどうかを示します。[保留中 (Pending) ]は、プロビジョニングの準備ができていない新しい RC ユニットを示します。ユニットがそのカスタマイズされたプロファイルをすでに取得している場合、このフィールドにはユニットをプロビジョニングした会社の名前が表示されます。
[シリアル番号 (Serial Number) ]	電話機のシリアル番号。
[ハードウェアバージョン (Hardware Version) ]	電話機のハードウェアバージョン番号。
[クライアント証明書 (Client Certificate) ]	ITSP ネットワークで使用するために電話機を認証するクライアント証明書のステータス。このフィールドは、クライアント証明書が電話機に正しくインストールされているかどうかを示します。

## ダウンロードしたロケールパッケージ

パラメータ	説明
[ロケールダウンロードステータス (Locale download status) ]	ダウンロードしたロケールパッケージのステータスが表示されます。

## 電話機のステータス

パラメータ	説明
[ロケールダウンロードURL (Locale download URL) ]	ロケールパッケージのダウンロード元の場所が表示されます。
[フォントダウンロードステータス (Font download status) ]	ダウンロードしたフォントファイルのステータスが表示されます。
[フォントダウンロードURL (Font download URL) ]	フォントファイルのダウンロード元の場所が表示されます。

## 電話機のステータス

パラメータ	説明
[現在の時刻 (Current Time) ]	システムの現在の日付と時刻。例：08/06/14 1:42:56 a.m。
[経過時間 (Elapsed Time) ]	システムが最後にリブートしてから経過した合計時間。例：7日間、02:13:02。
[送信SIPメッセージ (SIP Messages Sent) ]	送信された SIP メッセージの合計数（再送信も含む）。
[SIP送信バイト数 (SIP Bytes Sent) ]	受信した SIP メッセージの合計数（再送信も含む）。
[受信SIPメッセージ (SIP Messages Recv) ]	送信された SIP メッセージの合計バイト数（再送信を含む）。
[SIP受信バイト数 (SIP Bytes Recv) ]	受信した SIP メッセージの合計バイト数（再送信も含む）。
[送信ネットワークパケット (Network Packets Sent) ]	送信されたネットワークパケットの合計数。
[受信ネットワークパケット (Network Packets Recv) ]	受信したネットワークパケットの合計数。
外部IP (External IP)	電話機の外部 IP。
接続先 VLAN ID (Operational VLAN ID)	現在使用中の VLAN の ID（該当する場合）。
[SWポート (SW Port) ]	IP フォンからスイッチへのイーサネット接続のタイプが表示されます。
[PCポート (PC Port) ]	PCポートからのイーサネット接続のタイプが表示されます。

パラメータ	説明
[アップグレードステータス (Upgrade Status) ]	電話機の最後のアップグレードのステータスが表示されます。
[SWポートの設定 (SW Port Config) ]	SW ポート設定のタイプが表示されます。
[PCポートの設定 (PC Port Config) ]	PC ポート設定のタイプが表示されます。
[前回成功したログイン (Last Successful Login) ]	電話機が最後にログインに成功した時刻が表示されます。
[最後に失敗したログイン (Last Failed Login) ]	電話機が最後にログインに失敗した時刻が表示されます。

## Dot1x 認証

パラメータ	説明
[トランザクションステータス (Transaction status) ]	電話機が認証されていることを示します。
Protocol (プロトコル)	登録されている電話機のプロトコルが表示されます。

## 内線ステータス

パラメータ	説明
[登録の状態]	電話機が登録されている場合は [登録済み (Registered) ]、電話機が ITSP に登録されていない場合は [未登録 (Not Registered) ] と表示されます。
[最終登録日時 (Last Registration At) ]	回線が最後に登録された日時。
[次の登録までの秒数 (Next Registration In Seconds) ]	次の登録更新までの秒数。
[メッセージ受信 (Message Waiting) ]	メッセージの待機が有効であるか無効であるかを示します。
[マップされたSIPポート (Mapped SIP Port) ]	NATでマップされたSIPポートのポート番号。
[ホテリング状態 (Hoteling State) ]	ホテリングが有効であるか無効であるかを示します。
[拡張機能の状態 (Extended Function Status) ]	拡張機能が有効になっているかどうかを示します。

## 回線コールステータス

パラメータ	説明
コールの状態	コールの状態。
[言葉の使い方 (Tone) ]	コールが使用するトーンの種類。
[エンコーダ (Encoder) ]	エンコードに使用するコーデック。
[デコーダ (Decoder) ]	デコードに使用するコーデック。
タイプ	コールの方向。
リモート回線の保留	相手先がコールを保留にしたかどうかを示します。
通知	コールバックリクエストによってコールがトリガーされたかどうかを示します。
[マップされたRTPポート (Mapped RTP Port) ]	コールのリアルタイムプロトコルトラフィック用にマップされるポート。
Peer Name	内線電話の名前。
[ピア電話 (Peer Phone) ]	内線電話の電話番号。
期間	コールの継続時間。
[送信パケット数 (Packets Sent) ]	送信パケット数。
[受信パケット (Packets Recv) ]	受信パケット数。
[送信バイト数 (Bytes Sent) ]	送信バイト数。
[受信バイト (Bytes Recv) ]	受信バイト数。
[デコード遅延 (Decode Latency) ]	デコーダ遅延のミリ秒数。
[ジッター (Jitter) ]	受信ジッターのミリ秒数。
[ラウンドトリップ遅延 (Round Trip Delay) ]	RTP から RTP へのインターフェイスラウンドトリップ遅延のミリ秒数。
[パケットロス (Packets Lost) ]	パケット損失数。
[損失率 (Loss Rate) ]	受信開始以降に失われた送信元からの RTP データ パケットの割合。[RFC-3611 に定義済み (Defined in RFC-3611) : RTP Control Protocol Extended Report (RTCP XR) ]。

パラメータ	説明
[パケット廃棄 (Packet Discarded) ]	受信開始以降に失われた送信元からの RTP データ パケットの割合。[RFC-3611 に定義済み (Defined in RFC-3611) : RTP Control Protocol Extended Report (RTCP XR) ]。
[破棄率 (Discard Rate) ]	ジッターバッファ受信時の到達遅延または早期到達、アンダーラン、オーバーフローにより、受信開始以降に破棄された送信元からの RTP データ パケットの割合。[RFC-3611 に定義済み (Defined in RFC-3611) : RTP Control Protocol Extended Report (RTCP XR) ]。
[バースト期間 (Burst Duration) ]	受信開始以降に発生したバースト期間のミリ秒単位で表された平均期間。[RFC-3611 に定義済み (Defined in RFC-3611) : RTP Control Protocol Extended Report (RTCP XR) ]。
[ギャップ期間 (Gap Duration) ]	受信開始以降に発生したギャップ期間のミリ秒単位で表された平均期間。[RFC-3611 に定義済み (Defined in RFC-3611) : RTP Control Protocol Extended Report (RTCP XR) ]。
[R-係数 (R-Factor) ]	この RTP セッションで伝送されたコールのセグメントを評価する音声品質メトリック。 [RFC-3611 に定義済み (Defined in RFC-3611) : RTP Control Protocol Extended Report (RTCP XR) ]。
[MOS-LQ]	リスニング品質の推定平均オピニオン評点 (MOS-LQ) は、1～5のスケールの音声品質メトリックです。5が優秀で、1が許容範囲外を表します。[RFC-3611 に定義済み (Defined in RFC-3611) : RTP Control Protocol Extended Report (RTCP XR) ]。
[MOS-CQ]	会話品質の推定平均オピニオン評点 (MOS-CQ) は、遅延の影響や会話品質に作用するその他の影響を含むものとして定義されます。[RFC-3611 に定義済み (Defined in RFC-3611) : RTP Control Protocol Extended Report (RTCP XR) ]。
Video Encoder	ビデオのエンコードに使用するコーデック。 例：H264 HP  Cisco IP Phone 8845 および 8865 の場合

## ページングステータス

パラメータ	説明
[ビデオデコーダ (Video Decoder) ]	ビデオのデコードに使用するコーデック。例： H264 HP ビデオ パケット送信：3791 Cisco IP Phone 8845 および 8865 の場合
[受信ビデオパケット (Video Packets Received) ]	4202 ビデオジッター：27 Cisco IP Phone 8845 および 8865 の場合
[ビデオ最大ジッター (Video Max Jitter) ]	149 ビデオ受信パケット破棄：0 Cisco IP Phone 8845 および 8865 の場合
[ビデオ受信パケット損失 (Video Receiver Packets Lost) ]	0 ビデオ送信解像度：640 x 360 Cisco IP Phone 8845 および 8865 の場合
[ビデオ受信解像度 (Video Receiver Resolution) ]	640 x 360 ビデオ送信フレーム：755 Cisco IP Phone 8845 および 8865 の場合
[ビデオ送信IDRフレーム (Video Sender IDR Frames) ]	1 ビデオ送信 iframe リクエスト：0 Cisco IP Phone 8845 および 8865 の場合
[ビデオ受信フレーム (Video Receiver Frames) ]	747 ビデオ受信 IDR フレーム：0 Cisco IP Phone 8845 および 8865 の場合
[ビデオ受信iframeリクエスト (Video Receiver iframes Req) ]	0 ビデオ送信フレーム レート：16 fps Cisco IP Phone 8845 および 8865 の場合
[ビデオ受信フレームレート (Video Receiver Frame Rate) ]	16 fps ビデオ遅延：0 ms Cisco IP Phone 8845 および 8865 の場合
[ビデオ送信帯域幅 (Video Sender Bandwidth) ]	232 ビデオ受信帯域幅：226 Cisco IP Phone 8845 および 8865 の場合

## ページングステータス

パラメータ	説明
[マルチキャストRxパケット数 (Multicast Rx Pkts) ]	マルチキャスト ページング中の Rx パケット数を示します。
[マルチキャストTxパケット数 (Multicast Tx Pkts) ]	マルチキャスト ページング中の Tx パケット数を示します。



## TR-069 ステータス

パラメータ	説明
[TR-069機能 (TR-069 Feature) ]	TR-069 機能が有効であるか無効であるかを示します。
[定期通知時間 (Periodic Inform Time) ]	CPE から ACS に通知する時間間隔を表示します。
[前回の通知時間 (Last Inform Time) ]	前回の通知時間を示します。
[前回のトランザクションステータス (Last Transaction Status) ]	成功または失敗のステータスを表示します。
[前回のセッション (Last Session) ]	セッションの開始時間と停止時間を示します。
[パラメータキー (ParameterKey) ]	設定されているパラメータセットの参照チェックポイントのキーを表示します。

## PRT ステータス

パラメータ	説明
PRT 生成ステータス	<p>最も最近開始された問題報告の開始場所および生成状況。</p> <p>問題の報告は、電話機の LCD ユーザインターフェイス、電話機の管理 Web ページ、またはリモートから開始できます。詳細については、「<a href="#">電話機の Web ページから電話機のすべての問題をレポート</a>」および「<a href="#">電話の問題をリモートで報告する</a>」を参照してください。</p> <p>XML タグイン status.xml : PRT_Generation_Status</p>
PRT アップロードステータス	<p>最後に開始された問題報告のアップロードの状況。</p> <p>問題レポートのアップロードルールの設定についての情報は、<a href="#">PRT アップロードの設定</a>をご覧ください。</p> <p>XML タグイン status.xml : PRT_Upload_Status</p>

## カスタム CA ステータス

これらのフィールドには、カスタム認証局 (CA) を使用したプロビジョニングのステータスが表示されます。

## プロビジョニングのステータス

パラメータ	説明
[カスタムCAプロビジョニングステータス (Custom CA Provisioning Status) ]	<p>カスタム CA を使用したプロビジョニングが成功したか失敗したかを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最後のプロビジョニングが mm/dd/yyyy HH:MM:SS に成功した</li> <li>最後のプロビジョニングが mm/dd/yyyy HH:MM:SS に失敗した</li> </ul>
[カスタムCA情報 (Custom CA Info) ]	<p>カスタム CA に関する情報が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>[インストール済み (Installed) ] : [CN値 (CN Value) ] 「」が表示されます。ここで、[CN値 (CN Value) ] 「」は、最初の証明書の[情報カテゴリ (Subject) ]フィールドの CN パラメータの値です。</li> <li>[未インストール (Not Installed) ] : カスタム CA 証明書がインストールされていない場合に表示されます。</li> </ul>

カスタム CA 証明書は [プロビジョニング (Provisioning) ] タブで設定します。カスタム CA 証明書の詳細については、『Cisco IP Phone 8800 Series Multiplatform Phones Provisioning Guide』を参照してください。

## プロビジョニングのステータス

パラメータ	説明
[プロビジョニングプロファイル (Provisioning Profile) ]	電話機のプロファイル ファイル名が表示されます。
[プロビジョニングステータス1 (Provisioning Status 1) ]	電話機のプロビジョニング ステータス (再同期) が表示されます。
[プロビジョニングステータス2 (Provisioning Status 2) ]	
[プロビジョニングステータス3 (Provisioning Status 3) ]	
[プロビジョニング失敗の理由 (Provisioning Failure Reason) ]	電話機のプロビジョニングの失敗の理由が表示されます。



- (注) アップグレードおよびプロビジョニングのステータスは、時間的な流れとは逆の順序（再起動履歴と同様）で表示されます。各エントリには、状態、時刻、および理由が表示されます。

## デバッグ情報

### コンソール ログ

電話機の syslog 出力を逆の順序で表示します。この場合、メッセージは最後の出力です。表示には、個々のログファイルへのハイパーリンクが含まれます。コンソールログファイルには、電話機で受信されたデバッグおよびエラーメッセージが含まれ、タイムスタンプは、タイムゾーンの設定に関係なく、UTC 時間を反映します。

パラメータ	説明
[Debugメッセージ (Debug Message) ]	[メッセージ (messages) ]リンクをクリックすると、デバッグメッセージが表示されます。

### エラー レポート

パラメータ	説明
[問題の報告 (Report Problem) ]	[PRTの生成 (Generate PRT) ]タブが表示されます。
[Prtファイル (Prt file) ]	PRT ログのファイル名が表示されます。
[パケットキャプチャ (Report Problem) ]	[パケットキャプチャの開始 (Start Packet Capture) ]タブが表示されます。このタブをクリックして、パケットのキャプチャを開始します。電話機が受信するすべてのパケットをキャプチャするには[すべて (All) ]を、送信元または宛先が電話機の IP アドレスである場合にのみパケットをキャプチャするには[ホストIPアドレス (Host IP Address) ]をクリックします。  キャプチャプロセスを開始した後、プロセスを停止することもできます。
[ファイルのキャプチャ (Capture File) ]	キャプチャしたパケットが含まれているファイルが表示されます。パケットの詳細を確認するには、このファイルをダウンロードします。

## 工場出荷時の状態へのリセット (Factory Reset)

## 工場出荷時の状態へのリセット (Factory Reset)

パラメータ	説明
[工場出荷時の状態へのリセット (Factory Reset) ]	電話機がアイドル状態のときに <b>[初期設定へのリセット (Factory Reset) ]</b> タブをクリックすると、電話機がリセットされます。

## ダウンロードステータス

## ファームウェアアップグレードステータス

パラメータ	説明
[ファームウェアアップグレードステータス1 (Firmware Upgrade Status 1) ]	アップグレードのステータス (失敗または成功) とその理由が表示されます。
[ファームウェアアップグレードステータス2 (Firmware Upgrade Status 2) ]	
[ファームウェアアップグレードステータス3 (Firmware Upgrade Status 3) ]	

## プロビジョニングのステータス

パラメータ	説明
[プロビジョニングプロファイル (Provisioning Profile) ]	電話機のプロファイルファイル名が表示されます。
[プロビジョニングステータス1 (Provisioning Status 1) ]	電話機のプロビジョニングステータス (再同期) が表示されます。
[プロビジョニングステータス2 (Provisioning Status 2) ]	
[プロビジョニングステータス3 (Provisioning Status 3) ]	
[プロビジョニング失敗の理由 (Provisioning Failure Reason) ]	電話機のプロビジョニングの失敗の理由が表示されます。



(注) アップグレードおよびプロビジョニングのステータスは、時間的な流れとは逆の順序 (再起動履歴と同様) で表示されます。各エントリには、状態、時刻、および理由が表示されます。

## カスタム CA ステータス

これらのフィールドには、カスタム認証局（CA）を使用したプロビジョニングのステータスが表示されます。

パラメータ	説明
[カスタムCAプロビジョニングステータス (Custom CA Provisioning Status) ]	<p>カスタム CA を使用したプロビジョニングが成功したか失敗したかを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最後のプロビジョニングが mm/dd/yyyy HH:MM:SS に成功した</li> <li>最後のプロビジョニングが mm/dd/yyyy HH:MM:SS に失敗した</li> </ul>
[カスタムCA情報 (Custom CA Info) ]	<p>カスタム CA に関する情報が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>[インストール済み (Installed) ] : [CN値 (CN Value) ] 「」 が表示されます。ここで、[CN値 (CN Value) ] 「」 は、最初の証明書の [情報カテゴリ (Subject) ] フィールドの CN パラメータの値です。</li> <li>[未インストール (Not Installed) ] : カスタム CA 証明書がインストールされていない場合に表示されます。</li> </ul>

カスタム CA 証明書は [プロビジョニング (Provisioning) ] タブで設定します。カスタム CA 証明書の詳細については、『Cisco IP Phone 8800 Series Multiplatform Phones Provisioning Guide』を参照してください。

## アテンダント コンソール ステータス

### 全般

パラメータ	説明
サブスクライブの有効期限 (Subscribe Expires)	電話機に追加されたキー拡張モジュールのサブスクリプションが期限切れになる時刻を表示します。
サブスクライブ再試行インターバル (Subscribe Retry Interval)	電話機に追加されたキー拡張モジュールのサブスクリプションが登録を再試行する時刻を表示します。

### ユニット

Attendant Console ユニットの各回線キーに対してプログラミング情報を入力します。

## ネットワーク統計 (Network Statistics)

パラメータ	説明
[ユニット有効 (Unit Enable) ]	電話機に追加するキー拡張モジュールが有効化されるかどうかを示します。
[ユニットオンライン (Unit Online) ]	電話機に追加するキー拡張モジュールがアクティブ化されるかどうかを示します。
[HWバージョン (HW Version) ]	電話機に追加するキー拡張モジュールのハードウェアバージョンを表示します。
[SWバージョン (SW Version) ]	電話機に追加するキー拡張モジュールのソフトウェアバージョンを表示します。

## ネットワーク統計 (Network Statistics)

## イーサネット情報

パラメータ	説明
[TxFrames]	電話機が送信したパケットの総数。
[TxBroadcasts]	電話機が送信したブロードキャストパケットの総数。
[TxMulticasts]	電話機が送信したマルチキャストパケットの総数。
[TxUnicasts]	電話機が送信したユニキャストパケットの総数。
[RxFrames]	電話機が受信したパケットの総数。
[RxBroadcasts]	電話機が受信したブロードキャストパケットの総数。
[RxMulticasts]	電話機が受信したマルチキャストパケットの総数。
[RxUnicasts]	電話機が受信したユニキャストパケットの総数。

## ネットワークポート情報

パラメータ	説明
[RxtotalPkt]	電話機が受信したパケットの総数。

パラメータ	説明
[Rxunicast]	電話機が受信したユニキャストパケットの総数。
[Rxbroadcast]	電話機が受信したブロードキャストパケットの総数。
[Rxmulticast]	電話機が受信したマルチキャストパケットの総数。
[RxDropPkts]	破棄されたパケットの総数。
[RxUndersizePkts]	長さが64オクテット未満（フレーミングビットは除くが、FCSオクテットは含む）で、それ以外は適切な形式の受信パケットの総数。
[RxOversizePkts]	長さが1518オクテットよりも長く（フレーミングビットは除くが、FCSオクテットは含む）、それ以外は適切な形式の受信パケットの総数。
[RxJabbers]	長さが1518オクテットよりも長く（フレーミングビットは除くが、FCSオクテットは含む）、偶数のオクテットで終わらない（配置エラー）か、またはFCSエラーがある受信パケットの総数。
[RxAlignErr]	フレームチェックシーケンス（FCS）が無効であり、長さが64～1522バイトの受信パケットの総数。
[Rxsize64]	無効なパケットを含め、サイズが0～64バイトの間の受信パケットの総数。
[Rxsize65to127]	無効なパケットを含め、サイズが65～127バイトの間の受信パケットの総数。
[Rxsize128to255]	無効なパケットを含め、サイズが128～255バイトの間の受信パケットの総数。
[Rxsize256to511]	無効なパケットを含め、サイズが256～511バイトの間の受信パケットの総数。
[Rxsize512to1023]	無効なパケットを含め、サイズが512～1023バイトの間の受信パケットの総数。
[Rxsize1024to1518]	無効なパケットを含め、サイズが1024～1518バイトの間の受信パケットの総数。

パラメータ	説明
[TxttotalGoodPkt]	電話機が受信した有効なパケット（マルチキャスト、ブロードキャスト、およびユニキャスト）の総数。
[lldpFramesOutTotal]	電話機から送信された LLDP フレームの総数。
[lldpAgeoutsTotal]	キャッシュ内でタイムアウトになった LLDP フレームの総数。
[lldpFramesDiscardedTotal]	必須 TLV のいずれかについて、欠落している、順序に誤りがある、または範囲を超える文字列長が含まれているために廃棄された LLDP フレームの総数。
[lldpFramesInErrorsTotal]	受信したフレームのうち、検出可能な 1 つ以上のエラーが存在したフレームの総数。
[lldpFramesInTotal]	電話機が受信した LLDP フレームの総数。
[lldpTLVDiscardedTotal]	破棄された LLDP TLV の総数。
[lldpTLVUnrecognizedTotal]	電話機で認識されなかった LLDP TLV の総数。
[CDPNeighborDeviceId]	CDP で検出されたこのポートに接続されているデバイスの ID。
[CDPNeighborIP]	CDP で検出された、ネイバー デバイスの IP アドレス。
[CDPNeighborPort]	CDP で検出された、電話機が接続されているネイバー デバイスのポート。
[LLDPNeighborDeviceId]	LLDP プロトコルで検出されたこのポートに接続されているデバイスの ID。
[LLDPNeighborIP]	LLDP で検出された、ネイバー デバイスの IP アドレス。
[LLDPNeighborPort]	LLDP で検出された、電話機が接続されているネイバー デバイスのポート。
[PortSpeed]	速度とデュプレックス モード。

## アクセスポート情報

パラメータ	説明
[RxtotalPkt]	電話機が受信したパケットの総数。



パラメータ	説明
[Rxunicast]	電話機が受信したユニキャストパケットの総数。
[Rxbroadcast]	電話機が受信したブロードキャストパケットの総数。
[Rxmulticast]	電話機が受信したマルチキャストパケットの総数。
[RxDropPkts]	破棄されたパケットの総数。
[RxUndersizePkts]	長さが64オクテット未満（フレーミングビットは除くが、FCSオクテットは含む）で、それ以外は適切な形式の受信パケットの総数。
[RxOversizePkts]	長さが1518オクテットよりも長く（フレーミングビットは除くが、FCSオクテットは含む）、それ以外は適切な形式の受信パケットの総数。
[RxJabbers]	長さが1518オクテットよりも長く（フレーミングビットは除くが、FCSオクテットは含む）、偶数のオクテットで終わらない（配置エラー）か、またはFCSエラーがある受信パケットの総数。
[RxAlignErr]	フレームチェックシーケンス（FCS）が無効であり、長さが64～1522バイトの受信パケットの総数。
[Rxsize64]	無効なパケットを含め、サイズが0～64バイトの間の受信パケットの総数。
[Rxsize65to127]	無効なパケットを含め、サイズが65～127バイトの間の受信パケットの総数。
[Rxsize128to255]	無効なパケットを含め、サイズが128～255バイトの間の受信パケットの総数。
[Rxsize256to511]	無効なパケットを含め、サイズが256～511バイトの間の受信パケットの総数。
[Rxsize512to1023]	無効なパケットを含め、サイズが512～1023バイトの間の受信パケットの総数。
[Rxsize1024to1518]	無効なパケットを含め、サイズが1024～1518バイトの間の受信パケットの総数。

パラメータ	説明
[TxttotalGoodPkt]	電話機が受信した有効なパケット（マルチキャスト、ブロードキャスト、およびユニキャスト）の総数。
[lldpFramesOutTotal]	電話機から送信された LLDP フレームの総数。
[lldpAgeoutsTotal]	キャッシュ内でタイムアウトになった LLDP フレームの総数。
[lldpFramesDiscardedTotal]	必須 TLV のいずれかについて、欠落している、順序に誤りがある、または範囲を超える文字列長が含まれているために廃棄された LLDP フレームの総数。
[lldpFramesInErrorsTotal]	受信したフレームのうち、検出可能な 1 つ以上のエラーが存在したフレームの総数。
[lldpFramesInTotal]	電話機が受信した LLDP フレームの総数。
[lldpTLVDiscardedTotal]	破棄された LLDP TLV の総数。
[lldpTLVUnrecognizedTotal]	電話機で認識されなかった LLDP TLV の総数。
[CDPNeighborDeviceId]	CDP で検出されたこのポートに接続されているデバイスの ID。
[CDPNeighborIP]	CDP で検出された、ネイバー デバイスの IP アドレス。
[CDPNeighborPort]	CDP で検出された、電話機が接続されているネイバー デバイスのポート。
[LLDPNeighborDeviceId]	LLDP プロトコルで検出されたこのポートに接続されているデバイスの ID。
[LLDPNeighborIP]	LLDP で検出された、ネイバー デバイスの IP アドレス。
[LLDPNeighborPort]	LLDP で検出された、電話機が接続されているネイバー デバイスのポート。
[PortSpeed]	速度とデュプレックス モード。

## 音声

### システム (System)

#### システム設定

パラメータ	説明
[制限付きアクセスドメイン (Restricted Access Domains) ]	この機能は、ソフトウェアのカスタマイズを実装するときに使用されます。
[Webサーバの有効化 (Enable Web Server) ]	IPフォンのWebサーバを有効/無効にします。 デフォルト：[はい (Yes) ]
[プロトコルの有効化 (Enable Protocol) ]	プロトコルのタイプを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Http</li> <li>• HTTPS</li> </ul> HTTPSプロトコルを指定する場合は、URLに <b>https:</b> を含めます。 デフォルト：Http
[ダイレクトアクションURLの有効化 (Enable Direct Action Url) ]	URLのダイレクトアクションを有効にします。 デフォルト：[はい (Yes) ]
[セッション最大タイムアウト (Session Max Timeout) ]	セッションの最大タイムアウトを入力できます。 デフォルト：3600
[セッションアイドルタイムアウト (Session Idle Timeout) ]	セッションのアイドルタイムアウトを入力できます。 デフォルト：3600

パラメータ	説明
[Webサーバポート(Web Server Port)]	<p>電話機の Web ユーザー インターフェイスのポート番号を入力できます。</p> <p>デフォルト：80</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• HTTP プロトコルの場合は 80。</li> <li>• HTTPS プロトコルの場合は 443。</li> </ul> <p>そのプロトコルのデフォルト値以外のポート番号を指定する場合は、サーバURLにデフォルト以外のポート番号を含める必要があります。</p> <p>例：https://192.0.2.1:999/admin/advanced</p>
[Web管理アクセスの有効化 (Enable Web Admin Access) ]	<p>電話機の Web ユーザー インターフェイスへのローカル アクセスを有効または無効にすることができます。ドロップダウンメニューから [はい (Yes) ] または [いいえ (No) ] を選択します。</p> <p>デフォルト：[はい (Yes) ]</p>
[管理パスワード (Admin Password) ]	<p>管理者のパスワードを入力できます。</p> <p>デフォルト：空白</p>
ユーザパスワード	<p>ユーザのパスワードを入力できます。</p> <p>デフォルト：空白</p>
[電話UI読み取り専用 (Phone-UI-readonly) ]	<p>電話機のユーザに表示される電話メニューとオプションを読み取り専用フィールドにすることができます。</p> <p>デフォルト：[いいえ (No) ]</p>

パラメータ	説明
[電話UIユーザモード (Phone-UI-User-Mode) ]	<p>電話インターフェイスを使用するときユーザに表示されるメニューとオプションを制限できます。このパラメータを有効にし、アクセスを制限するには、[はい (Yes) ]を選択します。</p> <p>デフォルト：[いいえ (No) ]</p> <p>その後、プロビジョニング ファイルにより、特定のパラメータが「」 「na」、 「」 「ro」、または「」 「rw」として指定されます。「」 「na」 )として指定されたパラメータは電話機の画面に表示されません。「」 「ro」として指定されたパラメータはユーザによる編集ができません。「」 「rw」として指定されたパラメータはユーザによる編集が可能です。</p>
非プロキシ SIP のブロック	<p>非プロキシ サーバから電話機が SIP メッセージを受信することを有効または無効にします。[はい (Yes) ]を選択すると、電話機は IN ダイアログ メッセージを除くすべての非プロキシ SIP 着信メッセージをブロックします。[いいえ (No) ]を選択すると、電話機は非プロキシ SIP 着信メッセージをブロックしません。</p> <p>SIP メッセージのトランスポートに TCP または TLS を使用する電話機では、[非プロキシ SIPをブロック (Block Nonproxy SIP) ]を [いいえ (No) ]に設定してください。TCP または TLS でトランスポートされる非プロキシ SIP メッセージは、デフォルトでブロックされます。</p> <p>デフォルト：[いいえ (No) ]</p>

## ネットワーク設定

パラメータ	説明
[IPモード (IP Mode) ]	<p>電話機が動作するインターネット プロトコルモードを選択できます。オプションは、[IPv4のみ (IPv4 Only) ]、[IPv6のみ (IPv6 Only) ]、[デュアルモード (Dual mode) ]です。[デュアルモード (Dual mode) ]では、電話機に IPv4 と IPv6 の両方のアドレスを設定できます。</p> <p>デフォルト：[デュアルモード (Dual mode) ]</p>

## IPv4 設定

パラメータ	説明
[接続タイプ (Connection Type) ]	電話機に設定されているインターネット接続タイプ。オプションは、[DHCP] および [スタティックIP (Static IP) ] です。 デフォルト : [DHCP]
[ネットマスク (NetMask) ]	電話機のサブネットマスク。
[静的IPアドレス (Static IP) ]	電話機の IP アドレス。
ゲートウェイ	ゲートウェイの IP アドレス。
[プライマリDNS (Primary DNS) ]	電話機に割り当てられているプライマリ ドメイン ネーム サーバ (DNS) 。
[セカンダリDNS (Secondary DNS) ]	電話機に割り当てられているセカンダリ ドメイン ネーム サーバ (DNS) 。

## IPv6 設定

パラメータ	説明
[接続タイプ (Connection Type) ]	電話機に設定されているインターネット接続タイプ。オプションは、[DHCP] および [スタティックIP (Static IP) ] です。 デフォルト : [DHCP]
[静的IPアドレス (Static IP) ]	電話機の IPv6 アドレス。
[プレフィックス長 (Prefix Length) ]	ネットワークの一部であるグローバルユニキャスト IPv6 アドレスのビット数を示します。たとえば、IPv6 アドレスが 2001:0Db8:0000:000b::/64 の場合、数字 64 は最初の 64 ビットがネットワークの一部であることを示しています。
ゲートウェイ	ゲートウェイの IP アドレス。
[プライマリDNS (Primary DNS) ]	電話機に割り当てられているプライマリ ドメイン ネーム サーバ (DNS) 。
[セカンダリDNS (Secondary DNS) ]	電話機に割り当てられているセカンダリ ドメイン ネーム サーバ (DNS) 。

パラメータ	説明
[ブロードキャストエコー (Broadcast Echo) ]	オプションは [無効化 (Disabled) ] と [有効化 (Enabled) ] です。 デフォルト : [無効 (Disabled) ]
[自動設定 (Auto Config) ]	有効にすると、電話機はルータから送信されるプレフィックス長を持つ Ipv6 アドレスをデフォルトで生成します。オプションは [無効化 (Disabled) ] と [有効化 (Enabled) ] です。 デフォルト : 有効

## 802.1X 認証

パラメータ	説明
[802.1X認証の有効化 (Enable 802.1X Authentication) ]	802.1X を有効化/無効化します。 デフォルト : [いいえ (No) ]

## オプションのネットワーク構成

パラメータ	説明
ホスト名	Cisco IP Phone のホスト名。
ドメイン(Domain)	Cisco IP Phone のネットワーク ドメイン。 LDAP を使用している場合は、 <a href="#">LDAP 設定</a> を参照してください。
[DNSサーバ順序 (DNS Server Order) ]	DNS サーバの選択方法を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [手動、DHCP (Manual, DHCP) ]</li> <li>• 手動 (Manual)</li> <li>• [DHCP、手動 (DHCP,Manual) ]</li> </ul>
[DNSクエリ モード (DNS Query Mode) ]	指定された DNS クエリのモード。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• パラレル</li> <li>• 逐次</li> </ul>
[DNSキャッシング有効 (DNS Caching Enable) ]	[はい (Yes) ] に設定すると、DNS クエリの結果はキャッシュされません。 デフォルト : [はい (Yes) ]

パラメータ	説明
[スイッチポートの設定 (Switch Port Config) ]	<p>ネットワーク ポートの速度とデュプレックスを選択できます。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 自動</li> <li>• [10MBハーフ (10 MB half) ]</li> <li>• [10MBフル (10 MB full) ]</li> <li>• [100MBハーフ (100 MB half) ]</li> <li>• [100MBフル (100 MB full) ]</li> <li>• [100ハーフ (100 half) ]</li> <li>• [1000フル (1000 full) ]</li> </ul>
[PCポートの設定 (PC Port Config) ]	<p>コンピュータ (アクセス) ポートの速度とデュプレックスを選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 自動</li> <li>• [10MBハーフ (10 MB half) ]</li> <li>• [10MBフル (10 MB full) ]</li> <li>• [100MBハーフ (100 MB half) ]</li> <li>• [100MBフル (100 MB full) ]</li> <li>• [100ハーフ (100 half) ]</li> <li>• [1000フル (1000 full) ]</li> </ul>
[PCポート有効 (PC PORT Enable) ]	<p>PCポートが有効になっているかどうかを指定します。オプションは [はい (Yes) ] または [いいえ (No) ] です。</p>
[PCポートミラーリングを有効化 (Enable PC Port Mirror) ]	<p>PCポートのポートミラーリングに機能を追加します。有効にすると、電話機の packets を確認できます。PCポートミラーリングを有効にするには [はい (Yes) ] を選択し、無効にするには [いいえ (No) ] を選択します。</p>
[Syslogサーバ (Syslog Server) ]	<p>Syslog サーバの名前とポートを指定します。この機能では、IP Phone システム情報や重大なイベントを記録するサーバを指定します。デバッグサーバと Syslog サーバの両方が指定されている場合、Syslog メッセージもデバッグサーバに記録されます。</p>



パラメータ	説明
Syslog 識別子	<p>syslog サーバにアップロードされる syslog メッセージに含めるデバイス識別子を選択します。デバイス識別子は、各メッセージのタイムスタンプの後に表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 無し：デバイス ID がありません。</li> <li>• \$MA：電話の MAC アドレス。連続した小文字と数字で表されます。例： c4b9cd811e29</li> <li>• \$MAU：電話の MAC アドレス。連続した大文字と数字で表されます。例： C4B9CD811E29</li> <li>• \$MAC：コロンで区切られた標準形式の電話機の MAC アドレス。例： c4:b9:cd:81:1e:29</li> <li>• \$SN：電話の製品シリアル番号。</li> </ul> <p>デフォルト：なし</p> <p>XML 構成の例：</p> <pre>&lt;Syslog_Identifier ua="na"&gt;\$MAC&lt;/Syslog_Identifier&gt;</pre>
[デバッグレベル (Debug Level) ]	<p>0～2のデバッグレベル。レベルが高いほど、詳細なデバッグ情報が生成されます。ゼロ (0) の場合、デバッグ情報は生成されません。SIP メッセージを記録するには、デバッグレベルを 2 以上に設定する必要があります。</p> <p>デフォルト：0</p>
[プライマリNTPサーバ (Primary NTP Server) ]	<p>時刻の同期に使用されるプライマリ NTP サーバの IP アドレスまたは名前。</p> <p>デフォルト：空白</p>
[セカンダリNTPサーバ (Secondary NTP Server) ]	<p>時刻の同期に使用されるセカンダリ NTP サーバの IP アドレスまたは名前。</p> <p>デフォルト：空白</p>
[SSLv3を有効化 (Enable SSLv3) ]	<p>SSLv3 を有効にする場合は [はい (Yes) ] を選択します。無効にする場合は [いいえ (No) ] を選択します。</p> <p>デフォルト：[いいえ (No) ]</p>

## Wi-Fi 設定

パラメータ	説明
電話 Wi-Fi オン	Wi-Fi をオンにしたい場合は <b>はい</b> を選択し、Wi-Fi をオフにしたい場合 <b>いいえ</b> を選択できます。 デフォルト : [はい (Yes) ]

## WiFi プロファイル (n)

パラメータ	説明
ネットワーク名	SSID の名前を入力できます。この名前は電話機に表示されます。複数のプロファイルが、異なるセキュリティモードで同じネットワーク名を持つことができます。この名前は電話機に表示されます。
セキュリティ モード (Security Mode)	Wi-Fi ネットワークへのアクセスをセキュリティ保護するために使用する認証方法を選択できます。選択した方法に応じて、Wi-Fi ネットワークに参加するために必要なクレデンシャルを入力できるように、パスワード、パスフレーズ、またはキーのフィールドが表示されます。次のオプションがあります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 自動</li> <li>• [EAP-FAST]</li> <li>• PEAP-GTC</li> <li>• PEAP-MSCHAPV2</li> <li>• PSK</li> <li>• WEP</li> <li>• なし</li> </ul> デフォルト : なし
Wi-Fi ユーザ ID	ネットワーク プロファイルのユーザ ID を入力できます。 このフィールドは、セキュリティモードを [Auto]、[EAP-FAST]、[PEAP-GTC]、[PEAP]、または (MSCHAPV2) に設定した場合に使用できます。これは必須フィールドであり、最大 32 文字の英数字を使用できます。

パラメータ	説明
Wi-Fi パスワード	作成したネットワークプロファイルのパスワードを入力できます。セキュリティモードが Auto、EAP-FAST、PEAP-GTC、PEAP-MSCHAPV2 の場合は、この値を入力する必要があります。
[WEP キー (WEP Key) ]	作成したネットワークプロファイルのパスワードを入力できます。セキュリティモードが WEP の場合は、この値を入力する必要があります。
PSK パスフレーズ	作成したネットワークプロファイルのパスワードを入力できます。セキュリティモードが PSK の場合は、この値を入力する必要があります。
[Frequency Band(周波数帯域)]	WLAN で使用されているワイヤレス信号周波帯を選択できます。次のオプションがあります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 自動</li> <li>• 2.4 GHz</li> <li>• 5 GHz</li> </ul> デフォルト : [自動 (Auto) ]
Wi-Fi プロファイルの順序	Wi-Fi プロファイルリストに表示されるプロファイルの順序を選択できます。 デフォルト : <ul style="list-style-type: none"> <li>• Wi-Fi プロファイル 1 の場合 1</li> <li>• Wi-Fi プロファイル 2 の場合は 2</li> <li>• Wi-Fi プロファイル 3 の場合は 3</li> <li>• Wi-Fi プロファイル 4 の場合は 4</li> </ul>

## VLAN 設定

パラメータ	説明
[VLANの有効化 (Enable VLAN) ]	VLAN を有効にするには、[はい (Yes) ] を選択します。無効にする場合は [いいえ (No) ] を選択します。

パラメータ	説明
[CDPのイネーブル化 (Enable CDP) ]	CDP は、Cisco Discovery Protocol を備えたスイッチを使用している場合にのみ有効にします。CDP はネゴシエーションベースで、IP フォンが存在する VLAN を決定します。
[LLDP-MEDの有効化 (Enable LLDP-MED) ]	<p>LLDP-MED を有効にして、検出プロトコルを使用しているデバイスに電話機がそれ自体をアドバタイズする場合は、<b>[はい (Yes) ]</b>を選択します。</p> <p>LLDP-MED 機能を有効にすると、電話機が初期化され、レイヤ 2 接続が確立された後、電話機は LLDP-MED PDU フレームを送信します。電話機が確認応答を受信しない場合は、手動で設定された VLAN またはデフォルトの VLAN が必要に応じて使用されます。CDP が同時に使用される場合、6 秒間の待機期間が使用されます。待機期間は電話機の全体的なスタートアップ時間を増やします。</p>
[ネットワーク起動遅延 (Network Startup Delay) ]	この値を設定すると、電話機が最初の LLDP-MED パケットを送信する前に、スイッチがフォワーディング ステートになるのを遅らせます。デフォルトの遅延は 3 秒です。一部のスイッチの設定では、LLDP-MED を機能させるためにこの値をより大きくする必要があります。遅延の設定は、スパニング ツリープロトコルを使用しているネットワークで重要になる可能性があります。
VLAN ID	CDP を使用せずに VLAN を使用する場合 (VLAN を有効にし、CDP を無効にする)、IP フォンの VLAN ID を入力します。音声パケットだけが VLAN ID を使用してタグ付けされる点に注意してください。VLAN ID に 1 を使用しないでください。
[PCポートVLAN ID (PC Port VLAN ID) ]	PC ポートの VLAN ID。

パラメータ	説明
[DHCP VLANオプション (DHCP VLAN Option) ]	<p>音声 VLAN ID を学習するための定義済み DHCP VLAN オプション。CDP/LLDP および手動 VLAN 方式で使用できる音声 VLAN 情報がない場合にのみこの機能を使用できます。CDP/LLDP および手動 VLAN はすべて無効です。</p> <p>有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Null</li> <li>• 128 ~ 149</li> <li>• 151 ~ 158</li> <li>• 161 ~ 254</li> </ul> <p>DHCP VLAN オプションを無効にするには、この値を [ヌル (Null) ] に設定します。</p> <p>シスコでは、DHCP オプション 132 の使用を推奨しています。</p>

## インベントリ設定

パラメータ	説明
アセット ID	<p>LLDP-MED を使用している場合に、在庫管理のアセット ID を入力できます。[アセット ID (Asset ID) ] のデフォルト値は空です。このフィールドを使用する場合は、32 文字未満の文字列を入力します。</p> <p>[アセット ID (Asset ID) ] は、Web 管理インターフェイスまたはリモートプロビジョニングでのみプロビジョニングできます。[アセット ID (Asset ID) ] は電話画面に表示されません。</p> <p>[アセット ID (Asset ID) ] フィールドを変更すると、電話機は再起動します。</p>

## SIP

## SIP パラメータ

パラメータ	説明
[最大転送 (Max Forward) ]	SIP 最大転送値。値の範囲は 1 ～ 255 です。 デフォルト：70
[最大リダイレクション (Max Redirection) ]	無限ループを避けるために INVITE をリダイレクトできる回数。 デフォルト：5
[最大認証 (Max Auth) ]	要求を試せる最大回数 (0 ～ 255) 。 デフォルト：2
[SIPユーザエージェント名 (SIP User Agent Name) ]	アウトバウンド REGISTER 要求で使用されます。 デフォルト：\$VERSION 空の場合、ヘッダーは含まれません。許可される GPP_A ～GPP_D に対応する \$A ～\$D のマクロ展開。
[SIPサーバ名 (SIP Server Name) ]	インバウンド応答への応答に使用されるサーバヘッダー。 デフォルト：\$VERSION
[SIP登録ユーザエージェント名 (SIP Reg User Agent Name) ]	REGISTER 要求で使用されるユーザ エージェント名。これを指定しない場合、SIP ユーザ エージェント名が REGISTER 要求にも使用されます。 デフォルト：空白
[SIP受け入れ言語 (SIP Accept Language) ]	使用される Accept-Language ヘッダー。アクセスするには、[SIP] タブをクリックし、[SIP受け入れ言語 (SIP Accept Language) ] フィールドに入力します。 デフォルトはありません。空の場合、ヘッダーは含まれません。

パラメータ	説明
[DTMFリレーMIMEタイプ (DTMF Relay MIME Type) ]	DTMF イベントを通知するために SIP INFO メッセージで使用される MIME タイプ。このフィールドは、サービス プロバイダのフィールドと一致する必要があります。 デフォルト : application/dtmf-relay
[フックフラッシュMIMEタイプ (Hook Flash MIME Type) ]	フックフラッシュ イベントを通知するために SIPINFO メッセージで使用される MIME タイプ。
[最後の登録の削除 (Remove Last Reg) ]	値が異なる場合に、新しい登録を行う前に最後の登録を削除することができます。ドロップダウンメニューから [はい (Yes) ] または [いいえ (No) ] を選択します。
[コンパクトヘッダーの使用 (Use Compact Header) ]	[はい (Yes) ] に設定すると、電話機はアウトバウンド SIP メッセージでコンパクトな SIP ヘッダーを使用します。インバウンド SIP 要求に通常のヘッダーが含まれる場合、着信ヘッダーはコンパクトなヘッダーに置き換えられます。[いいえ (No) ] に設定すると、電話機は通常の SIP ヘッダーを使用します。インバウンド SIP 要求にコンパクトヘッダーが含まれる場合、電話機は、この設定に関係なく、応答を生成するときに同じコンパクトヘッダーを再利用します。 デフォルト : [いいえ (No) ]
[エスケープ表示名 (Escape Display Name) ]	表示名を非公開のままにできます。 アウトバウンド SIP メッセージの場合に、IP フォンで文字列 (表示名に設定されている) をペアの二重引用符で囲むには、[はい (Yes) ] を選択します。 デフォルト : [はい (Yes) ]
[通話パッケージ (Talk Package) ]	ユーザが外部アプリケーションのボタンをクリックしてコールに応答またはコールを再開できる BroadSoft 通話パッケージのサポートを有効にします。 デフォルト : [いいえ (No) ]

パラメータ	説明
[保留パッケージ (Hold Package) ]	ユーザが外部アプリケーションのボタンをクリックして通話を保留できる BroadSoft 保留パッケージのサポートを有効にします。 デフォルト：[いいえ (No) ]
[会議パッケージ (Conference Package) ]	ユーザが外部アプリケーションのボタンをクリックして会議コールを開始できる BroadSoft 会議パッケージのサポートを有効にします。 デフォルト：[いいえ (No) ]
[RFC 2543コール保留 (RFC 2543 Call Hold) ]	[はい (Yes) ]に設定すると、SIP re-INVITE をピアに送信してコールを保留したときに、ユニットのSDPにc=0.0.0.0シンタックスが含まれます。[いいえ (No) ]に設定すると、ユニットのSDPにc=0.0.0.0シンタックスは含まれません。どちらの場合も、ユニットのSDPには常にa=sendonlyシンタックスが含まれます。 デフォルト：[はい (Yes) ]
[リブート後にランダムな登録CID (Random REG CID on Reboot) ]	[はい (Yes) ]に設定すると、電話機は、次のソフトウェアリブート後の登録に異なるランダムなコールIDを使用します。[いいえ (No) ]に設定すると、Cisco IP Phone は、次のソフトウェアリブート後も登録に同じコールIDを使用します。Cisco IP Phone では、この設定に関係なく、電源の再投入後の登録には常に新しいランダムなコールIDを使用します。 デフォルト：[いいえ (No) ]
[SIP TCPポートの最小値 (SIP TCP Port Min) ]	SIPセッションに使用できる最小のTCPポート番号を指定します。 デフォルト：5060
[SIP TCPポートの最大値 (SIP TCP Port Max) ]	SIPセッションに使用できる最大のTCPポート番号を指定します。 デフォルト：5080



パラメータ	説明
[発信者IDヘッダー (Caller ID Header) ]	PAID-RPID-FROM、PAID-FROM、RPID-PAID-FROM、RPID-FROM、またはFROMヘッダーから発信者IDを取得するオプションを提供します。 デフォルト：PAID-RPID-FROM
[転送前のターゲットの保留 (Hold Target Before Refer) ]	全員在席しているコール転送を開始するとき（転送ターゲットが応答している）、被転送者にREFERを送信する前、転送ターゲットがあるコールレグを保留するかどうかを制御します。 デフォルト：[いいえ (No) ]
[ダイアログSDPの有効化 (Dialog SDP Enable) ]	有効にすると、Notifyメッセージ本文が大きすぎて断片化される場合、NotifyメッセージのXMLダイアログが簡素化されます。セッション記述プロトコル (SDP) は、ダイアログのXMLコンテンツには含まれません。
[転送失敗時にREFEREEを維持 (Keep Referee When Refer Failed) ]	[はい (Yes) ] に設定すると、電話機はNOTIFY sipfragメッセージをすぐに処理するように設定されます。
[ディバージョン情報の表示 (Display Diversion Info) ]	SIPメッセージに含まれるディバージョン情報をLCDに表示するかどうかを指定します。
[名前非表示Fromヘッダーの表示 (Display Anonymous From Header) ]	コールが名前非表示コールであっても、[はい (Yes) ] を選択すると、SIP INVITEメッセージの「From」ヘッダーの発信者IDが表示されます。このパラメータを[いいえ (No) ] に設定すると、電話機には、発信者IDとして「非通知着信 (Anonymous Caller) 」と表示されます。
[エンコーディング可能Sip (Sip Accept Encoding) ]	content-encoding gzip 機能をサポートします。選択できるのは、[なし (None) ] および [gzip] です。  [gzip] を選択すると、SIPメッセージヘッダーには文字列「Accept-Encoding: gzip」が含まれ、電話機は、gzip フォーマットでエンコードされているSIPメッセージ本文を処理できます。

## SIP タイマーの値 (秒)

パラメータ	説明
[ヘッダーのローカル名の無効化 (Disable Local Name To Header) ]	<p>選択できるのは、[いいえ (No) ]および[はい (Yes) ]です。[いいえ (No) ]を選択すると、変更は行われません。デフォルト値は[いいえ (No) ]です。</p> <p>[はい (Yes) ]を選択すると、「ディレクトリ」、「通話履歴」、および発信コール時の「To」ヘッダーで表示名が無効になります。</p>
[SIP IP設定 (SIP IP Preference) ]	<p>電話機が IPv4 または IPv6 を使用する場合に設定します。</p> <p>デフォルト : IPv4</p>

## SIP タイマーの値 (秒)

パラメータ	説明
[SIP T1]	<p>0 ~ 64 秒の範囲の RFC 3261 T1 値 (RTT 推定)。</p> <p>デフォルト : 0.5 秒</p>
[SIP T2]	<p>0 ~ 64 秒の範囲の RFC 3261 T2 値 (非 INVITE 要求と INVITE 応答の最大再送信間隔)。</p> <p>デフォルト : 4 秒</p>
[SIP T4]	<p>0 ~ 64 秒の範囲の RFC 3261 T4 値 (メッセージがネットワーク内にとどまる最大継続時間)。</p> <p>デフォルト : 5 秒</p>
[SIP タイマー B (SIP Timer B) ]	<p>0 ~ 64 秒の範囲の INVITE タイムアウト値。</p> <p>デフォルト : 16 秒</p>
[SIP タイマー F (SIP Timer F) ]	<p>0 ~ 64 秒の範囲の非 INVITE タイムアウト値。</p> <p>デフォルト : 16 秒</p>
[SIP タイマー H (SIP Timer H) ]	<p>0 ~ 64 秒の範囲の INVITE 最終応答、タイムアウト値。</p> <p>デフォルト : 16 秒</p>
[SIP タイマー D (SIP Timer D) ]	<p>0 ~ 64 秒の範囲の ACK ハングアラウンド時間。</p> <p>デフォルト : 16 秒</p>

パラメータ	説明
[SIPタイマーJ (SIP Timer J) ]	0 ～ 64 秒の範囲の非 INVITE 応答ハングアラウンド時間。 デフォルト : 16 秒
[INVITE期限 (INVITE Expires) ]	INVITE 要求の Expires ヘッダー値。0 を入力すると、要求に Expires ヘッダーは含まれません。範囲は 0 ～ 2000000 です。 デフォルト : 240 秒
[ReINVITE期限 (ReINVITE Expires) ]	ReINVITE 要求の Expires ヘッダー値。0 を入力すると、要求に Expires ヘッダーは含まれません。範囲は 0 ～ 2000000 です。 デフォルト : 30
[登録最小期限 (Reg Min Expires) ]	Expires ヘッダーでまたは Contact ヘッダーパラメータとしてプロキシから許可される最小登録期限。プロキシがこの設定よりも小さい値を返す場合、最小値が使用されます。
[登録最大期限 (Reg Max Expires) ]	Min-Expires ヘッダーでプロキシから許可される最大登録期限。値がこの設定よりも大きい場合、最大値が使用されます。
[登録再試行間隔 (Reg Retry Intv) ]	最後の登録の失敗後から Cisco IP Phone が登録を再試行するまでの間隔。範囲は 1 ～ 2147483647 です。 デフォルト : 30 詳細については、次の注を参照してください。
[登録再試行ロング間隔 (Reg Retry Long Intvl) ]	登録が [登録SRCの再試行 (Retry Reg RSC) ] と一致しない SIP 応答コードで失敗した場合に、Cisco IP Phone は指定された時間待機してから再試行します。この間隔が 0 の場合、電話機は試行を停止します。この値は、[登録再試行間隔 (Reg Retry Intv) ] の値よりも長い値に指定し、0 は指定できません。 デフォルト : 1200 詳細については、次の注を参照してください。

パラメータ	説明
[登録再試行ランダム遅延 (Reg Retry Random Delay) ]	失敗後に REGISTER を再試行するときに [登録再試行間隔 (Reg Retry Intv) ] に加算するランダム遅延範囲 (秒単位)。ショートタイマーに加算する最小および最大ランダム遅延です。値の範囲は 0 ~ 2147483647 です。 デフォルト : 0
[登録再試行ロングランダム遅延 (Reg Retry Long Random Delay) ]	失敗後に REGISTER を再試行するときに [登録再試行ロング間隔 (Reg Retry Long Intvl) ] に加算するランダム遅延範囲 (秒単位)。 デフォルト : 0
[登録再試行間隔上限 (Reg Retry Intvl Cap) ]	指数関数的遅延の最大値。指数関数的バックオフ再試行遅延の上限となる最大値 ([登録再試行間隔 (Reg Retry Intv) ] の値で開始して、再試行ごとに倍増する)。デフォルト値は 0 で、指数関数的バックオフは無効です (つまり、エラー再試行間隔は常に [登録再試行間隔 (Reg Retry Intv) ] の値になります)。この機能を有効にすると、[登録再試行ランダム遅延 (Reg Retry Random Delay) ] の値が指数関数的バックアップ遅延値に加算されます。値の範囲は 0 ~ 2147483647 です。 デフォルト : 0
[登録最小期限 (Sub Min Expires) ]	プロキシサーバから返される REGISTER 有効期限値の下限値を設定します。
[登録最大期限 (Sub Max Expires) ]	Min-Expires ヘッダーでプロキシサーバから返される REGISTER 最小有効期限値の上限を設定します。 デフォルト : 7200。
[登録再試行間隔 (Sub Retry Intvl) ]	この値 (秒単位) で、最後の登録要求が失敗したときの再試行間隔が決まります。 デフォルトは 10 です。



- (注) 電話機は、ビジー状態で要求を処理できないSIPプロキシサーバから受信したRETRY-AFTER値を使用できます(503 サービス使用不可メッセージ)。応答メッセージにRETRY-AFTERヘッダーが含まれる場合、電話機は指定された時間待機してからREGISTERを再度実行します。RETRY-AFTERヘッダーが存在しない場合、電話機は[登録再試行間隔 (Reg Retry Intv)] または [登録再試行ロング間隔 (Reg Retry Long Intvl)] で指定された値の時間待機します。

#### 応答ステータスコード処理

パラメータ	説明
[バックアップRSCの試行 (Try Backup RSC)]	<p>このパラメータは、指定した応答コードの受信時にフェールオーバーを起動するよう設定できます。</p> <p>デフォルト：空白</p> <p>たとえば、数値500または数値とワイルドカードの組み合わせ(複数の値が可能な場合)を入力できます。後者の場合、5??を使用すると、500の範囲内にあるすべてのSIP応答メッセージを表すことができます。複数の範囲を使用する場合は、カンマ「,」を追加して値5??と値6??を区切ります。</p>
[登録RSCの再試行 (Retry Reg RSC)]	<p>登録が最後に失敗してから電話機が登録を再試行するまで待機する間隔。</p> <p>デフォルト：空白</p> <p>たとえば、数値500または数値とワイルドカードの組み合わせ(複数の値が可能な場合)を入力できます。後者の場合、5??を使用すると、500の範囲内にあるすべてのSIP応答メッセージを表すことができます。複数の範囲を使用する場合は、カンマ「,」を追加して値5??と値6??を区切ります。</p>

## RTP パラメータ

パラメータ	説明
[RTPポートの最小値 (RTP Port Min) ]	RTP の送受信用の最小ポート番号。RTP の送受信用の最小ポート番号。少なくとも10個の偶数ポート (回線数の2倍) を含む範囲を定義する必要があります。たとえば、RTP ポートの最小番号を16384に、RTP ポートの最大番号を16538に設定します。 デフォルト : 16384
[RTPポートの最大値 (RTP Port Max) ]	RTP の送受信用の最大ポート番号。少なくとも10個の偶数ポート (回線数の2倍) を含む範囲を定義する必要があります。たとえば、RTP ポートの最小番号を16384に、RTP ポートの最大番号を16538に設定します。 RTP ポートの最大値は49152より小さくする必要があります。 デフォルト : 16538
[RTPパケットサイズ (RTP Packet Size) ]	0.01 ~ 0.13 の範囲のパケットサイズ (秒単位)。有効な値は0.01秒の倍数にする必要があります。 デフォルト : 0.02
[最大RTP ICMPエラー (Max RTP ICMP Err) ]	RTP パケットをピアに送信するときに電話機がコールを終了するまでに許可されている連続ICMPエラー数。値が0に設定された場合、電話機はICMPエラーの制限を無視します。
[RTCP送信間隔 (RTCP Tx Interval) ]	RTCP送信者レポートをアクティブな接続で送信する間隔。有効範囲は0 ~ 255秒です。 デフォルト : 0

パラメータ	説明
[SDP IP設定 (SDP IP Preferences) ]	<p>[IPv4] または [IPv6] を選択します。</p> <p>デフォルト : IPv4</p> <p>電話機がデュアルモードになっていて、ipv4 と ipv6 の両方のアドレスがある場合は、常に属性 "a=altc ..." で SDP に両方のアドレスが含まれます。</p> <p>IPv4 アドレスが選択されると、SDP では ipv4 アドレスの方が ipv6 アドレスより優先順位が高くなり、電話機では ipv4 RTP アドレスの方が使用されることを示します。</p> <p>電話機に ipv4 アドレスまたは ipv6 アドレスのみ含まれている場合、SDP には ALTC 属性は含まれず、RTP アドレスが「c=」回線で指定されます。</p>

## SDP ペイロードタイプ

パラメータ	説明
[G722.2動的ペイロード (G722.2 Dynamic Payload) ]	<p>G722 動的ペイロードのタイプ。</p> <p>デフォルト : 96</p>
[iLBC動的ペイロード (iLBC Dynamic Payload) ]	<p>iLBC 動的ペイロードのタイプ。</p> <p>デフォルト : 97</p>
[iSAC動的ペイロード (iSAC Dynamic Payload) ]	<p>iSAC 動的ペイロードのタイプ。</p> <p>デフォルト : 98</p>
[OPUS動的ペイロード (OPUS Dynamic Payload) ]	<p>OPUS 動的ペイロードのタイプ。</p> <p>デフォルト : 99</p>
[AVT動的ペイロード (AVT Dynamic Payload) ]	<p>AVT 動的ペイロードのタイプ。範囲は 96 ~ 127 です。</p> <p>デフォルト : 101</p>
[INFOREQ動的ペイロード (INFOREQ Dynamic Payload) ]	<p>INFOREQ 動的ペイロードのタイプ。</p>
[H264 BPO動的ペイロード (H264 BPO Dynamic Payload) ]	<p>H264 BPO 動的ペイロードのタイプ。</p> <p>デフォルト : 110</p>

パラメータ	説明
[H264 HP動的ペイロードのタイプ (H264 HP Dynamic Payload) ]	H264 HP 動的ペイロードのタイプ。 デフォルト：110
[G711uコーデック名 (G711u Codec Name) ]	SDP で使用される G711u コーデックの名前。 デフォルト：PCMU
[G711aコーデック名 (G711a Codec Name) ]	SDP で使用される G711a コーデックの名前。 デフォルト：PCMA
[G729aコーデック名 (G729a Codec Name) ]	SDP で使用される G729a コーデックの名前。 デフォルト：G729a
[G729bコーデック名 (G729b Codec Name) ]	SDP で使用される G729b コーデックの名前。 デフォルト：G729b
[G722コーデック名 (G722 Codec Name) ]	SDP で使用される G722 コーデックの名前。 デフォルト：G722
[G722.2コーデック名 (G722.2 Codec Name) ]	SDP で使用される G722.2 コーデックの名前。 デフォルト：G722.2
[iLBCコーデック名 (iLBC Codec Name) ]	SDP で使用される iLBC コーデックの名前。 デフォルト：iLBC
[iSACコーデック名 (iSAC Codec Name) ]	SDP で使用される iSAC コーデックの名前。 デフォルト：iSAC
[OPUSコーデック名 (OPUS Codec Name) ]	SDP で使用される OPUS コーデックの名前。 デフォルト：OPUS
[AVTコーデック名 (AVT Codec Name) ]	SDP で使用される AVT コーデックの名前。 デフォルト：telephone-event

## NAT サポートパラメータ

パラメータ	説明
[受信したVIAの処理 (Handle VIA received) ]	VIA ヘッダーの受信パラメータを電話機で処理できるようにします。 デフォルト：[いいえ (No) ]



パラメータ	説明
[VIA rportの処理 (Handle VIA rport) ]	VIA ヘッダーの rport パラメータを電話機で処理できるようにします。 デフォルト：[いいえ (No) ]
[受信したVIAの挿入 (Insert VIA received) ]	received-from IP 値と VIA sent-by IP 値が異なる場合に、SIP 応答の VIA ヘッダーに受信パラメータを挿入できるようにします。 デフォルト：[いいえ (No) ]
[VIA rportの挿入 (Insert VIA rport) ]	received-from IP 値と VIA sent-by IP 値が異なる場合に、SIP 応答の VIA ヘッダーに rport パラメータを挿入できるようにします。 デフォルト：[いいえ (No) ]
[VIAアドレスの置換 (Substitute VIA Addr) ]	ユーザが VIA ヘッダーで NAT-mapped IP:port 値を使用できるようにします。 デフォルト：[いいえ (No) ]
[送信元ポートへの応答の送信 (Send Resp To Src Port) ]	VIA sent-by ポートの代わりに要求送信元ポートに応答を送信できるようにします。 デフォルト：[いいえ (No) ]
[STUN有効 (STUN Enable) ]	STUN を使用して NAT マッピングを検出できるようにします。 デフォルト：[いいえ (No) ]
[STUNテスト有効 (STUN Test Enable) ]	[STUN有効 (STUN Enable) ] 機能が有効で、有効な STUN サーバが使用できる場合、電話機は電源投入時に NAT タイプの検出を実行します。これには、設定された STUN サーバが含まれ、検出結果は以降すべての REGISTER 要求の警告ヘッダーでレポートされます。電話機で対称 NAT または対称ファイアウォールが検出されると、NAT マッピングが無効になります。 デフォルト：[いいえ (No) ]
[STUNサーバ (STUN Server) ]	NAT マッピング検出のために接続する STUN サーバの IP アドレスまたは完全修飾名。パブリック STUN サーバを使用するか、独自の STUN サーバを設定できます。 デフォルト：空白

パラメータ	説明
[外部IP (EXT IP) ]	すべての発信 SIP メッセージで電話機の実際の IP アドレスを置き換える外部 IP アドレス。 0.0.0.0 を指定した場合、IP アドレスの置換は行われません。  このパラメータを指定すると、電話機では SIP メッセージと SDP の生成時に（その回線の NAT マッピングが有効になっている場合）、この IP アドレスが想定されます。  デフォルト：空白
[外部 RTP ポートの最小値 (EXT RTP Port Min) ]	RTP ポートの最小番号の外部ポート マッピング番号。この値がゼロでない場合、すべての発信 SIP メッセージの RTP ポート番号が外部 RTP ポート範囲の対応するポート値で置き換えられます。  デフォルト：0
[NATキープアライブ間隔 (NAT Keep Alive Intvl) ]	NAT マッピングのキープアライブ メッセージ間の間隔。  デフォルト：15
[キープアライブをリダイレクト (Redirect Keep Alive) ]	有効にすると、登録応答として SIP_301_MOVED_PERMANENTLY を受信したときに、IP フォンがキープアライブ メッセージをリダイレクトします。

## プロビジョニング

### 設定プロファイル

パラメータ	説明
[プロビジョン有効 (Provision Enable) ]	再同期操作を許可または拒否します。  デフォルト：/\$PSN.xml
[リセット時の再同期 (Resync On Reset) ]	[はい (Yes) ]に設定されている場合、デバイスは、電源投入後または各アップグレード試行後に再同期操作を実行します。  デフォルト：[はい (Yes) ]

パラメータ	説明
[再同期ランダム遅延 (Resync Random Delay) ]	<p>秒単位で指定される、リセットを実行する前のブートアップシーケンスに続くランダム遅延。同時に電源が投入される予定の IP テレフォニーデバイスのプールでは、これにより、それぞれのユニットがプロビジョニングサーバに再同期要求を送信する時間が伸びます。この機能は、地域の停電時に大規模な宅内導入で役立つ場合があります。</p> <p>このフィールドの値は、0 から 65535 の範囲の整数でなければなりません。</p> <p>デフォルト値は 2 です。</p>
[再同期時刻 (HHmm) (Resync At(HHmm)) ]	<p>デバイスをプロビジョニングサーバと再同期する時間 (HHmm)。</p> <p>このフィールドの値は、HHmm 形式で時刻を示すために 0000 から 2400 までの範囲の 4 桁の数字でなければなりません。たとえば、0959 は 09:59 を示します。</p> <p>デフォルト値は空です。値が無効な場合、パラメータは無視されます。このパラメータに有効な値が設定される場合、[定期再同期 (Resync Periodic) ]パラメータが無視されます。</p>
[再同期時刻ランダム遅延 (Resync At Random Delay) ]	<p>多数のデバイスの電源が同時に投入されるときに、プロビジョニングサーバの過負荷状態を回避します。</p> <p>複数の電話機からサーバへの再同期要求のフラディングを回避するために、電話機は、時間と分の範囲と、時間と分およびランダム遅延 (hhmm、hhmm+random_delay) を再同期します。例えば、ランダム遅延 = (ランダム遅延での再同期+30) /60分である場合、秒単位で入力すると分に変換され、1分に満たない秒数は次の分単位に切り上げられて最終的な random_delay の間隔が計算されます。</p> <p>有効値は 0 から 65535 の範囲です。</p> <p>このパラメータを 0 に設定すると、この機能は無効になります。デフォルト値は 600 秒 (10 分) です。</p>

パラメータ	説明
[定期再同期 (Resync Periodic) ]	<p>プロビジョニングサーバでの定期的な再同期の時間間隔。サーバで同期が最初に成功した後にもみ関連付けられている再同期タイマーがアクティブになります。</p> <p>有効なフォーマットは以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 整数 <p>例：の入力 <b>3000</b> 次の再同期が <b>3000</b> 秒以内に行われることを示します。</p> </li> <li>• 複数の整数 <p>例：入力値 <b>600</b>、<b>1200</b>、<b>300</b> は、最初の再同期が <b>600</b> 秒後に行われ、2番目の再同期は最初の再同期から <b>1200</b> 秒後に行われ、3番目の再同期は2番目の再同期から <b>300</b> 秒後に行われることを示します。</p> </li> <li>• 時間範囲 <p>例、入力値 <b>2400 + 30</b> は、再同期が成功した後、<b>2400</b> 秒から <b>2430</b> 秒後に次の再同期が行われることを示します。</p> </li> </ul> <p>定期再同期を無効にするには、このパラメータを <b>0</b> に設定します。</p> <p>デフォルト値は <b>3600</b> 秒です。</p>

パラメータ	説明
[再同期エラー再試行遅延 (Resync Error Retry Delay) ]	<p>IP テレフォニー デバイスがサーバからプロファイルを取得できなかった、またはダウンロードしたファイルが破損している、あるいは内部エラーが発生しているために再同期操作が失敗した場合、デバイスはここで指定した時間 (秒単位) が経過した後に再同期を再試行します。</p> <p>有効なフォーマットは以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 整数 例：入力値 <b>300</b> は、次回の再同期の再試行が <b>300</b> 秒後に行われることを示します。</li><li>• 複数の整数 例：入力値 <b>600、1200、300</b> は、最初の再試行が失敗から <b>600</b> 秒後に行われ、2 回目の再試行が最初の再試行の失敗から <b>1200</b> 秒後に行われ、3 回目の再試行が 2 回目の再試行の失敗から <b>300</b> 秒後に行われることを意味します。</li><li>• 時間範囲 たとえば、入力値 <b>2400 + 30</b> は、再同期の失敗後、<b>2400</b> 秒から <b>2430</b> 秒後に次の再試行が行われることを示します。</li></ul> <p>遅延が <b>0</b> に設定されている場合、デバイスは再同期が失敗しても、再同期を再試行しません。</p>

パラメータ	説明
[強制再同期遅延 (Forced Resync Delay) ]	<p>電話機が再同期を実行するまでの待機時間の最大遅延 (秒単位)。</p> <p>電話回線のいずれかがアクティブな間、デバイスは再同期しません。再同期には数秒かかるため、デバイスが長時間アイドルになるまで待機してから再同期することをお勧めします。これにより、ユーザは中断することなく通話できます。</p> <p>デバイスには、すべての回線がアイドル状態になったときにカウントダウンを開始するタイマーがあります。このパラメータは、カウンタの初期値です。再同期イベントは、このカウンタが 0 になるまで遅延します。</p> <p>有効値は 0 から 65535 の範囲です。</p> <p>デフォルト値は 14,400 秒です。</p>
[SIPからの再同期 (Resync From SIP) ]	<p>サービスプロバイダーのプロキシサーバから IP テレフォニー デバイスに送信される SIP NOTIFY イベント経由の再同期操作に対する要求を制御します。有効にされた場合は、プロキシが Event: resync ヘッダーを含む SIP NOTIFY メッセージをデバイスに送信することによって、再同期を要求できます。</p> <p>デフォルト: [はい (Yes) ]</p>
[アップグレード試行後の再同期 (Resync After Upgrade Attempt) ]	<p>アップグレードの実行後の再同期操作を有効または無効にします。[はい (Yes) ]を選択すると、同期がトリガーされます。</p> <p>デフォルト: [はい (Yes) ]</p>
[再起動トリガー1 (Resync Trigger 1) ] [再起動トリガー2 (Resync Trigger 2) ]	<p>これらのパラメータの論理式が FALSE と評価した場合、[リセット時の再同期 (Resync On Reset) ]が TRUE に設定されていても再同期はトリガーされません。直接アクション URL と SIP 通知による再同期のみが、これらの再同期トリガーを無視します。</p> <p>デフォルト: 空白</p>

パラメータ	説明
[FNF時の再同期失敗 (Resync Fails On FNF) ]	<p>再同期は、要求されたプロファイルがサーバから受信されなかった場合に失敗と見なされます。これは、このパラメータで上書きできます。この値を [いいえ (No) ] に設定すると、デバイスはサーバからの file-not-found 応答を正常な再同期として受け入れます。</p> <p>デフォルト：はい (Yes)</p>
[プロファイル認証タイプ (Profile Authentication Type) ]	<p>プロファイルアカウントの認証に使用する認証情報を指定します。次のオプションを使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>[無効化 (Disabled) ]</b> : プロファイルアカウント機能を無効にします。この機能を無効にすると、<b>[プロファイルアカウントのセットアップ (Profile account setup) ]</b> メニューは電話機の画面に表示されません。</li> <li>• <b>[基本的な HTTP 認証 (Basic HTTP Authentication) ]</b> : HTTP ログイン資格情報は、プロファイルアカウントの認証に使用されます。</li> <li>• <b>[XSI 認証 (XSI Authentication) ]</b> : XSI ログイン認証情報または XSI SIP 認証情報は、プロファイルアカウントの認証に使用されます。認証の資格情報は、電話機の <b>[XSI 認証タイプ (XSI Authentication Type) ]</b> によって異なります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 電話機の <b>[XSI 認証タイプ (XSI Authentication Type) ]</b> が <b>[ログイン認証情報 (Login Credentials) ]</b> に設定されている場合、XSI ログイン資格情報が使用されます。</li> <li>• 電話機の <b>[XSI 認証タイプ (XSI Authentication Type) ]</b> が <b>[SIP クレデンシャル (SIP Credentials) ]</b> に設定されている場合、SIP 資格情報が使用されます。</li> </ul> </li> </ul> <p>デフォルト：基本的な HTTP 認証</p>

パラメータ	説明
[プロファイルルール (Profile Rule) ] [プロファイルルールB (Profile Rule B) ] [プロファイルルールC (Profile Rule C) ] [プロファイルルールD (Profile Rule D) ]	各プロファイルルールは、プロファイル (設定ファイル) を取得するソースを電話機に通知します。すべての再同期操作の間、電話機はすべてのプロファイルを順番に適用します。 デフォルト : /\$PSN.xml 構成ファイルに AES-256-CBC 暗号化を適用する場合は、次のように - キーキーワード付きの暗号化キーを指定します。 <b>[--key &lt;暗号化キー&gt;]</b> オプションで暗号キーを二重引用符 (&quot;) で囲むことができます。
[使用するDHCPオプション (DHCP Option To Use) ]	ファームウェアおよびプロファイルを取得するために使用される、コンマで区切られた DHCP オプション。 デフォルト : 66,160,159,150,60,43,125
[使用するDHCPv6オプション (DHCPv6 Option To Use) ]	ファームウェアおよびプロファイルを取得するために使用される、コンマで区切られた DHCP オプション。 デフォルト : 17,160,159
[ログ要求メッセージ (Log Request Msg) ]	再同期の試行開始時に syslog サーバに送信されるメッセージ。 デフォルト : \$PN \$MAC -Requesting % \$SCHEME://\$SERVIP:\$PORT\$PATH
[ログ成功メッセージ (Log Success Msg) ]	再同期の試行が正常に完了した時点で発行される Syslog メッセージ。 デフォルト : \$PN \$MAC -Successful Resync % \$SCHEME://\$SERVIP:\$PORT\$PATH
[ログ失敗メッセージ (Log Failure Msg) ]	ダウンロードの試行が失敗した後に発行される Syslog メッセージ。 デフォルト : \$PN \$MAC -- Resync failed: \$ERR



パラメータ	説明
[ユーザ設定可能再同期 (User Configurable Resync) ]	ユーザが電話画面から電話機を再同期できるようにします。 デフォルト : [はい (Yes) ]

## アップロード設定オプション

フィールド	説明
[レポートルール (Report Rule) ]	<p>電話機が現在の内部設定をプロビジョニング サーバにレポートする方法を指定します。このフィールドの URL はレポートの宛先を指定し、暗号化キーを含めることができます。</p> <p>次のキーワード、暗号化キー、ファイルの場所および名前を使用して、電話機の設定情報を保存する方法を制御できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• キーワードと のみ XML ファイルを報告、全体 サーバーに構成データ。</li> <li>• <b>[--ステータス]</b> キーワード レポート、ステータス データ サーバーにします。</li> <li>• <b>[--デルタ]</b> キーワード レポート、変更 サーバーに構成します。</li> <li>• <b>[ - key &lt;暗号化キー&gt;]</b> キーワードは、サーバーに送信する前に、指定された暗号キーを使用して AES-256-CBC 暗号化を設定レポートに適用するように電話機に指示します。</li> </ul> <p>オプションで暗号キーを二重引用符 (&amp;quot;) で囲むことができます。</p> <p>(注) 電話機に入力キー材料 (IKM) をプロビジョニングし、電話機に RFC 8188 ベースの暗号化をファイルに適用させる場合は、AES-256-CBC 暗号化キーを指定しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 次のように 2 つのルールを同時に使用できます。</li> </ul> <pre> [--delta]http://my_http_server/config-mpp-delta.xml [--status]http://my_http_server/config-mpp-status.xml </pre> <p><b>注意</b> <code>[--delta]xml-delta</code> ファイルルールと <code>[--status]xml-status</code> ファイルルールを一緒に使用する必要がある場合、2 つのルールをスペースで区切る必要があります。</p>

フィールド	説明
[HTTPレポートメソッド (HTTP Report Method) ]	<p>電話機が送信する HTTP 要求が <b>HTTP PUT</b> または <b>HTTP POST</b> であるかどうかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>PUT 方式</b> - 新しいレポートを作成したり、サーバ上の既知の場所にある既存のレポートを上書きする場合に使用します。たとえば、送信した各レポートを上書きし続けて、最新の設定のみをサーバに保存する場合などです。</li> <li>• <b>POST メソッド</b> - PHP スクリプトなどによる処理のためにレポートデータをサーバに送信します。このアプローチでは、より柔軟に設定情報を保存することができます。たとえば、電話機の一連のステータス レポートを送信し、すべてのレポートをサーバに格納する場合などです。</li> </ul>
サーバへのレポート :	<p>電話機が現在の内部設定をプロビジョニング サーバにレポートする時間を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>要求に応じて注</b> : 電話機は、管理者が SIP 通知イベントを送信した場合、または電話機が再起動した場合にのみ設定を報告します。</li> <li>• <b>ローカル変更時</b> : 電話機または電話機管理 Web ページの操作によって設定パラメータが変更されると、電話機はその設定を報告します。変更が行われた後、電話機は数秒間待ってから設定を報告します。この遅延により、一度に 1 つの変更を報告するのではなく、変更が Web サーバにバッチで報告されるようになります。</li> <li>• <b>定期的に</b> : 電話機は定期的に設定を報告します。間隔は秒単位で表されます。</li> </ul> <p>XML 構成の例 :</p> <pre data-bbox="560 1260 1015 1388">&lt;Report_to_Server ua = "na"&gt; Periodically &lt;/Report_to_Server&gt;</pre>

フィールド	説明
<b>サーバへの定期アップロード</b>	<p>電話機がその設定をプロビジョニングサーバに報告する間隔（秒単位）を定義します。</p> <p>このフィールドは次の場合にのみ使用されます。サーバに報告が<b>定期的</b>と設定されている場合にのみ使用されます。</p> <p>デフォルト：3600</p> <p>最小：600</p> <p>最大：2592000（30日）</p> <p>XML構成の例：</p> <pre>&lt;Report_to_Server ua="na"&gt; Periodically &lt;Report_to_Server&gt; &lt;!利用可能なオプション：リクエストに応じて ローカル変更について定期的に -&gt; &lt;periodic_upload_to_server ua = "na"&gt; 3600 &lt;/periodic_upload_to_server&gt; &lt;User_Configurable_Resync ua = "na"&gt; はい &lt;User_Configurable_Resync_</pre>
<b>ローカル変更時のアップロード遅延：</b>	<p>電話機が変更が行われるのを待機し、それから設定を報告するまでの待機時間（秒）を定義します。</p> <p>このフィールドは次の場合にのみ使用されます。サーバに報告に設定されています<b>地域の変化</b>について</p> <p>デフォルト：60</p> <p>最小値：10</p> <p>最大：900</p> <p>XML構成の例：</p> <pre>&lt;Upload_Delay_On_Local_Change ua = "na"&gt; 60 &lt;/Upload_Delay_On_Local_Change&gt;</pre>

## ファームウェアアップグレード

パラメータ	説明
[アップグレードの有効化 (Upgrade Enable) ]	再同期操作とは関係なく、ファームウェアアップデート操作を許可します。 デフォルト : [はい (Yes) ]

パラメータ	説明
[アップグレードルール (Upgrade Rule) ]	

パラメータ	説明
	<p>アップグレード条件と関連のファームウェア URL を定義するファームウェアアップグレードスクリプト。プロファイルルールと同じシンタックスが使用されます。</p> <p>次の形式を使用してアップグレードルールを入力します。</p> <pre>protocol://server[:port]/profile_pathname</pre> <p>次に例を示します。</p> <pre>tftp://192.168.1.5/image/sip88xx.11-1-1MPP-221.loads</pre> <p>プロトコルが指定されない場合、TFTP が選択されます。サーバ名が指定されない場合、URL を要求するホストがサーバ名として使用されます。ポートが指定されない場合、デフォルトのポートが使用されます (TFTP の場合は 69、HTTP の場合は 80、HTTPS の場合は 443)。</p> <p>サーバへのアクセスに使用される資格情報を含めることもできます。その場合、アップグレードルールは次のとおりです。</p> <pre>[--uid \$ userID --pwd \$ password] プロトコル:// server [:port] / profile_pathname</pre> <p>たとえば、</p> <pre>[--uid TEST --pwd TestAbC123] tftp://192.168.1.5/image/sip88xx.11-1-1MPP-221.loads</pre> <p>ユーザ ID またはパスワードに特殊文字 (/ [ &amp; amp; } ) ( * ) # など) が含まれている場合は、アップグレード規則でそれらを引用符で囲む必要があります。特殊文字を引用符で囲む方法は 2 つあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特殊文字を含むユーザ ID またはパスワードを二重引用符 ( &amp; quot; ) で囲みます。このオプションは、 "" [] などの一部の特殊文字では機能しません。</li> </ul> <p>たとえば、</p> <pre>[--uid TEST --pwd "Test[]\ AbC123"] tftp://192.168.1.5/image/sip88xx.11-1-1MPP-221.loads</pre> <ul style="list-style-type: none"> <li>特殊文字の 8 進エンコードを使用してください。</li> </ul>

パラメータ	説明
	<p>たとえば、次のようにしてポンド記号 (#) をエスケープします。「\043」とバックスラッシュ「057」パスワード用「テスト番号\ AbC123」次の規則では：</p> <pre>--uid TEST --pwd Test \ 043 \ 057AbC123] tftp://192.168.1.5/image/sip88xx.11-1-1MFP-221.loads</pre> <p>デフォルト：空白</p>
[ログアップグレード要求メッセージ (Log Upgrade Request Msg) ]	<p>ファームウェアアップグレード試行の開始時に発行される Syslog メッセージ。</p> <p>デフォルト値は \$PN \$MAC -- Requesting upgrade \$SCHEME://\$SERVIP:\$PORT\$PATH です。</p>
[ログアップグレード成功メッセージ (Log Upgrade Success Msg) ]	<p>ファームウェアアップグレード試行が正常に完了した後に発行される syslog メッセージ。</p> <p>デフォルト値は \$PN \$MAC -- Successful upgrade \$SCHEME://\$SERVIP:\$PORT\$PATH -- \$ERR です。</p>
[ログアップグレード失敗メッセージ (Log Upgrade Failure Msg) ]	<p>失敗したファームウェアアップグレード試行の後に発行される syslog メッセージ。</p> <p>デフォルト値は \$PN \$MAC -- Upgrade failed: \$ERR です。</p>
Peer Firmware Sharing	<p>ピアファームウェア共有機能を有効または無効にします。この機能を有効にするには[はい (Yes) ]を選択します。無効にするには[いいえ (No) ]を選択します。</p> <p>デフォルト：[はい (Yes) ]</p>
ピアファームウェア共有ログサーバ (Peer Firmware Sharing Log Server)	<p>UDPメッセージの送信先のIPアドレスとポートを示します。</p> <p>例：10.98.76.123:514 の場合、10.98.76.123 がIPアドレス、514 がポート番号です。</p>

[プロビジョニング (Provisioning) ] ページの詳細については、『Cisco IP Phone 8800 Series Multiplatform Phones Provisioning Guide』を参照してください。

## CA 設定

## CA 設定

パラメータ	説明
[カスタムCAルール (Custom CA Rule) ]	カスタム CA をダウンロードする URL。 デフォルト：空白

## HTTP設定

パラメータ	説明
[HTTP ユーザ エージェント名 (HTTP User Agent Name) ]	HTTP ユーザの名前を入力できます。 デフォルト：空白

## 問題レポート ツール

パラメータ	説明
[PRTアップロードルール (PRT Upload Rule) ]	PRT アップロードスクリプトへのパスを指定します。次の形式でパスを入力できます。 <code>https://proxy.example.com/prt_upload.php</code> または <code>http://proxy.example.com/prt_upload.php</code> [PRT最大タイマー (PRT Max Timer) ] フィールドと [PRTアップロードルール (PRT Upload Rule) ] フィールドが空の場合、問題レポートは生成されません。
[PRTアップロード方法 (PRT Upload Method) ]	PRT ログをリモートサーバにアップロードするのに使用する方法を決定します。オプションは、HTTP POST と PUT です。 デフォルト：POST
[PRT最大タイマー (PRT Max Timer) ]	電話機が問題レポートの生成を自動的に開始する間隔 (分単位) を決定します。設定できる間隔の範囲は 15 ~ 1440 分です。 デフォルト：空 [PRT最大タイマー (PRT Max Timer) ] フィールドと [PRTアップロードルール (PRT Upload Rule) ] フィールドが空の場合、問題レポートは生成されません。 a



パラメータ	説明
[PRT名 (PRT Name) ]	生成された PRT ファイルの名前を定義します。次の形式で名前を入力します。 <b>prt-string1-\$MACRO</b>

## 汎用パラメータ

パラメータ	説明
[GPP A ~ GPP P (GPP A - GPP P) ]	汎用パラメータ GPP_* は、Cisco IP Phone を特定のプロビジョニングサーバソリューションと連携するよう構成するときに自由文字列レジスタとして使用されます。これらのパラメータには、次を含むさまざまな値を含むよう設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 暗号化キー</li> <li>• URL 数</li> <li>• マルチステージプロビジョニングステータス情報</li> <li>• Post 要求テンプレート</li> <li>• パラメータ名エイリアスマップ</li> <li>• 最終的に完全なパラメータ値に組み込まれる部分文字列値</li> </ul> デフォルト：空白

## 地域

## コールプログレストーン

パラメータ	説明
[ダイヤルトーン (Dial Tone) ]	ユーザに電話番号を入力するように促します。
[外部ダイヤルトーン (Outside Dial Tone) ]	ダイヤルトーンの代わり。内線番号とは対照的に、ユーザに外部の電話番号を入力するように促します。これは、ダイヤルプランで検出される、(カンマ) 文字によってトリガーされます。
[プロンプトトーン (Prompt Tone) ]	ユーザにコール転送電話番号を入力するように促します。

パラメータ	説明
[ ビジートーン (Busy Tone) ]	発信コールで 486 RSC が受信されると再生されます。
[ リオーダー音 (Reorder Tone) ]	発信コールが失敗した場合、または相手先が確立されたコール中に電話を切った後に再生されます。リオーダー音は、<ダイヤルトーン> またはその代わりとなるものがタイムアウトすると自動的に再生されます。
[ オフフック警告トーン (Off Hook Warning Tone) ]	受話器が一定時間外されていると再生されます。
[ リングバックトーン (Ring Back Tone) ]	相手先を呼び出しているときの発信コール中に再生されます。
[ コールウェイティングトーン (Call Waiting Tone) ]	コールの待機時に再生されます。
[ トーンの確認 (Confirm Tone) ]	最後の入力値が受け入れられたことをユーザに通知する短いトーン。
[ MWIダイヤルトーン (MWI Dial Tone) ]	発信者のメールボックスに未開封メッセージがある場合に、ダイヤルトーンの代わりに再生されます。
[ Cfwdダイヤルトーン (Cfwd Dial Tone) ]	すべてのコールが転送されたときに再生されます。
[ 保留音 (Holding Tone) ]	相手先がコールを保留にしたことをローカル発信者に通知します。
[ 会議トーン (Conference Tone) ]	3者間の電話会議が進行中の場合に、すべての当事者向けに再生されます。
[ セキュアコール通知トーン (Secure Call Indication Tone) ]	コールが正常にセキュアモードに切り替えられたときに再生されます。会話に干渉しないように、短時間 (30 秒未満) にわたって低いレベル (19 dBm 未満) でのみ再生する必要があります。
[ ページトーン (Page Tone) ]	ページング機能が有効になっているときに送信されるトーンを指定します。
Alert Tone	アラートが発生すると再生されます。
[ ミュートトーン (Mute Tone) ]	ミュート ボタンを押して電話機をミュートすると再生されます。

パラメータ	説明
[ミュート解除トーン (Unmute Tone) ]	ミュート ボタンを押して電話機をミュート解除すると再生されます。
[システムビープ音 (System Beep) ]	システム エラーが発生したときに再生される可聴通知音。
[コールピックアップトーン (Call Pickup Tone) ]	コール ピックアップの音声通知を設定する機能を提供します。

## 特殊呼び出し音パターン

パラメータ	説明
[パターン1 (Cadence 1) ]	特殊呼び出し音のパターン スクリプト 1。 デフォルトは 60(2/4)。
[パターン2 (Cadence 2) ]	特殊呼び出し音のパターン スクリプト 2。 デフォルトは 60(.3/2, 1/2,.3/4)。
[パターン3 (Cadence 3) ]	特殊呼び出し音のパターン スクリプト 3。 デフォルトは 60(.8/4,.8/4)。
[パターン4 (Cadence 4) ]	特殊呼び出し音のパターン スクリプト 4。 デフォルトは 60(.4/2,.3/2,.8/4)。
[パターン5 (Cadence 5) ]	特殊呼び出し音のパターン スクリプト 5。 デフォルトは 60(.2/2,.2/2,.2/2,1/4)。
[パターン6 (Cadence 6) ]	特殊呼び出し音のパターン スクリプト 6。 デフォルトは 60(.2/4,.2/4,.2/4)。
[パターン7 (Cadence 7) ]	特殊呼び出し音のパターン スクリプト 7。 デフォルトは 60(4.5/4)。
[パターン8 (Cadence 8) ]	特殊呼び出し音のパターン スクリプト 8。 デフォルトは 60(0.25/9.75)。
[パターン9 (Cadence 9) ]	特殊呼び出し音のパターン スクリプト 9。 デフォルトは 60(.4/2,.4/2)。

## 制御タイマーの値 (秒)

## 制御タイマーの値 (秒)

パラメータ	説明
[リオーダー遅延 (Reorder Delay) ]	相手先が電話を切ってからリオーダー (ビジー) 音が再生されるまでの遅延。0=すぐに再生、inf=再生しない。範囲：0～255 秒 電話機をすぐにオンフック状態に戻し、音を再生しないようにするには、255に設定します。
[桁間ロングタイマー (Interdigit Long Timer) ]	ダイヤル中に番号を入力する間隔の長い方のタイムアウト。桁間タイマーの値は、ダイヤル時のデフォルトとして使用されます。ダイヤルプラン内のすべての有効な一致シーケンスのダイヤリングが完了していない場合、1つの番号が入力されるたびに Interdigit_Long_Timer が使用されます。範囲：0～64 秒 デフォルト：10
[桁間ショートタイマー (Interdigit Short Timer) ]	ダイヤル中に番号を入力する間隔の短い方のタイムアウト。少なくとも1つの一致シーケンスのダイヤリングが完了しているが、さらにダイヤルされた番号がまだ完了していない他のシーケンスと一致する場合、1つの番号が入力されるたびに Interdigit_Short_Timer が使用されます。範囲：0～64 秒 デフォルト：3

## 特定業種向けサービス アクティベーションコード

パラメータ	説明
[コール戻りコード (Call Return Code) ]	このコードは、最後の発信者を呼び出します。 デフォルトは *69。
[ブラインド転送コード (Blind Transfer Code) ]	アクティベーションコードの後に指定された内線番号に、現在のコールのブラインド転送を開始します。 デフォルトは *88。
[不在転送Actコード (Cfwd All Act Code) ]	アクティベーションコードの後に指定された内線番号にすべてのコールを転送します。 デフォルトは *72。

パラメータ	説明
[不在転送Deactコード (Cfwd All Deact Code) ]	すべてのコールのコール転送をキャンセルします。 デフォルトは *73。
[話中転送Actコード (Cfwd Busy Act Code) ]	アクティベーションコードの後に指定された内線番号に話中のコールを転送します。 デフォルトは *90。
[話中転送Deactコード (Cfwd Busy Deact Code) ]	話中コールのコール転送をキャンセルします。 デフォルトは *91。
[無応答転送Actコード (Cfwd No Ans Act Code) ]	アクティベーションコードの後に指定された内線番号に無応答コールを転送します。 デフォルトは *92。
[無応答転送Deactコード (Cfwd No Ans Deact Code) ]	無応答コールのコール転送をキャンセルします。 デフォルトは *93。
[CW Actコード (CW Act Code) ]	すべてのコールでコール ウェイティングを有効にします。 デフォルトは *56。
[CW Deactコード (CW Deact Code) ]	すべてのコールでコール ウェイティングを無効にします。 デフォルトは *57。
[コール単位のコールウェイティングActコード (CW Per Call Act Code) ]	次のコールのコール ウェイティングを有効にします。 デフォルトは *71。
[コール単位のコールウェイティングDeactコード (CW Per Call Deact Code) ]	次のコールのコール ウェイティングを無効にします。 デフォルトは *70。
[ブロックCID Actコード (Block CID Act Code) ]	すべての発信コールの発信者IDをブロックします。 デフォルトは *67。

パラメータ	説明
[ブロックCID Deactコード (Block CID Deact Code) ]	すべての発信コールの発信者IDブロックを削除します。 デフォルトは *68。
[コール単位のブロックCID Actコード (Block CID Per Call Act Code) ]	次の着信コールの発信者IDブロックを削除します。 デフォルトは *81。
[コール単位のBlock CID Deactコード (Block CID Per Call Deact Code) ]	次の着信コールの発信者IDブロックを削除します。 デフォルトは *82。
[ブロックANC Actコード (Block ANC Act Code) ]	すべての匿名コールをブロックします。 デフォルトは *77。
[ブロックANC Deactコード (Block ANC Deact Code) ]	すべての匿名コールのブロックを削除します。 デフォルトは *87。
[DND Actコード (DND Act Code) ]	応答不可機能を有効にします。 デフォルトは *78。
[DND Deactコード (DND Deact Code) ]	応答不可機能を無効にします。 デフォルトは *79。
[全コールセキュア化Actコード (Secure All Call Act Code) ]	すべての発信コールをセキュアにします。 デフォルトは *16。
[コール非セキュア化Actコード (Secure No Call Act Code) ]	すべての発信コールをセキュアにしません。 デフォルトは *17。
[1コールセキュア化Actコード (Secure One Call Act Code) ]	セキュア コールを発信します。 デフォルト : *18。
[1コールセキュア化Deactコード (Secure One Call Deact Code) ]	セキュア コール機能を無効にします。 デフォルト : *19。
[ページングコード (Paging Code) ]	グループ内の他のクライアントのページングに使用されるスター コード。 デフォルトは *96。

パラメータ	説明
[コールパークコード (Call Park Code) ]	現在のコールをパークするために使用されるスターコード。 デフォルトは *38。
[コールピックアップコード (Call Pickup Code) ]	呼び出し中のコールをピックアップするために使用されるスターコード。 デフォルトは *36。
[コールパーク解除コード (Call Unpark Code) ]	コールパークからのコールをピックアップするために使用されるスターコード。 デフォルトは *39。
[グループコールピックアップコード (Group Call Pickup Code) ]	グループコールをピックアップするために使用されるスターコード。 デフォルトは *37。
エグゼクティブアシスタントコール開始コード (Exec Assistant Call Initiate Code)	エグゼクティブアシスタントの場合：エグゼクティブの代わりに、ユーザの (アシスタント) エクステンションからコールを開始します。 デフォルト：#64
エグゼクティブコールフィルタアクティベーションコード (Exec Call Filter Act Code)	アシスタントを持つエグゼクティブの場合：通話フィルタリングを有効にします。コールフィルタがオンの場合、アシスタントはエグゼクティブへの着信コールを受信します。 デフォルト：#61
エグゼクティブコールフィルタ停止コード (Exec Call Filter Deact Code)	アシスタントがいるエグゼクティブの場合：コールフィルタを非アクティブ化します。 デフォルト：#62
エグゼクティブアシスタントコールブッシュコード	エグゼクティブアシスタントの場合：対応中のコールをユーザ (アシスタント) からエグゼクティブに転送します。 デフォルト：#63

パラメータ	説明
エグゼクティブコール検索コード	<p>アシスタントがいるエグゼクティブの場合：対応中のコールをアシスタントからユーザ（エグゼクティブ）に転送します。</p> <p>エグゼクティブ アシスタントの場合：対応中のコールをエグゼクティブからユーザ（アシスタント）に転送します。</p> <p>デフォルト：*11</p>
エグゼクティブコールブリッジコード（Exec Call Bridge Code）	<p>アシスタントを持っているエグゼクティブの場合：アシスタントとの継続的なコールにユーザ（エグゼクティブ）に参加します。</p> <p>エグゼクティブ アシスタントの場合：ユーザ（アシスタント）を対応中のエグゼクティブとのコールに参加させます。</p> <p>デフォルト：*15</p>
<p><b>重要</b></p>	<p>エグゼクティブまたはアシスタントが使用するいずれかのサービス アクティベーションコードを変更した場合は、BroadWorks の対応する設定を更新する必要があります。</p>



パラメータ	説明
[参照サービスコード (Referral Services Codes) ]	<p>これらのコードは、ユーザが現在のコールを保留にしている、2つ目のダイヤル トーンをリスニングしているときに実行する動作を IP フォンに指示します。</p> <p>このパラメータには、*98 や *97 *98 *123 などのように1つ以上の*コードを設定できます。最大トータル長は79文字です。このパラメータは、ユーザが現在のコールを（フックフラッシュにより）保留中に、2つ目のダイヤルトーンをリスニングしているときに適用されます。2つ目のダイヤルトーンに入力された各*コード（および現在のダイヤルプランに従って有効な後に続くターゲット番号）によって、電話機はサービス*コードの後ろに続くターゲット番号へのブラインド転送を実行するようトリガーされます。</p> <p>たとえば、ユーザが *98 をダイヤルすると、IP フォンは、ユーザがターゲット番号（通常のダイヤリングとしてダイヤルプランに従ってチェックされた）を入力するまで待機している間に、プロンプト トーンと呼ばれる特殊なダイヤル トーンを再生します。完全な番号を入力すると、電話機は、Refer-To Target が *98&lt;target_number&gt; と同等な状態で、保留している通話者にブラインド REFER を送信します。この機能により、電話機はアプリケーションサーバにコールを渡せるため、コールパークなどの処理をさらに実行できます。</p> <p>* コードは、IP フォンにより内部で処理された他の特定業種向けサービスのいずれとも競合できません。電話機で処理しない対応する* コードは空にできます。</p>

パラメータ	説明
[機能ダイヤルサービス コード (Feature Dial Services Codes) ]	

パラメータ	説明
	<p>これらのコードは、ユーザが1つ目または2つ目のダイヤルトーンをリスニングしているときに実行する動作を電話機に指示します。</p> <p>このパラメータには、*72 や *72 *74 *67 *82 などのように、1つ以上の*コードを設定できます。最大のトータル長は79文字です。このパラメータは、ユーザにダイヤルトーン（1つ目または2つ目のダイヤルトーン）がある場合に適用されます。ダイヤルトーンで入力された各*コード（および現在のダイヤルプランに従って、後に続くターゲット番号）により、*コードの後に続くターゲット番号をコールするよう電話機がトリガーされます。たとえば、ユーザが*72をダイヤル後、ユーザが有効なターゲット番号を入力するのを待機している間に、電話機はプロンプトトーンを再生します。完全な番号を入力すると、電話機は、通常のコールとして INVITE を *72&lt;target_number&gt; に送信します。この機能により、プロキシはコール転送（*72）や発信者IDのブロック（*67）などの機能を処理できます。</p> <p>*コードは、電話機により内部で処理された他の特定業種向けサービスのいずれとも競合できません。電話機で処理しない対応する*コードは空にできます。</p> <p>[機能ダイヤルサービスコード（Feature Dial Services Codes）]で各*コードにパラメータを追加して、*コード（*72‘c’ *67‘p’など）が入力された後に再生するトーンを示すことができます。以下に、許可されるトーンパラメータのリストを示します。（パラメータはスペースなしで、バッククォートで囲みます）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• c = Cfwd ダイヤル トーン</li> <li>• d = ダイヤル トーン</li> <li>• m = MWI ダイヤル トーン</li> <li>• o = 外部ダイヤル トーン</li> <li>• p = プロンプト ダイヤル トーン</li> <li>• s = 2つ目のダイヤル トーン</li> </ul>

### ■ 特定業種向けサービス アナウンス コード

パラメータ	説明
	<p>•x= トーンなし、x は上記で使用されていない任意の数字</p> <p>トーンパラメータを指定しない場合、デフォルトではプロンプト トーンが再生されます。</p> <p>コール転送をキャンセルするには、*73 など、*コードの後に電話番号が続かない場合は、このパラメータに含めないでください。この場合は、ダイヤルプランにその * コードを追加します。ユーザが * 73 をダイヤルすると、通常どおり INVITE *73@..... が送信されます。</p>

### 特定業種向けサービス アナウンス コード

パラメータ	説明
[サービスアナウンス基本番号 (Service Annc Base Number) ]	デフォルトは空白です。
[サービスアナウンス内線コード (Service Annc Extension Codes) ]	デフォルトは空白です。

### 発信コール コーデック選択コード

パラメータ	説明
[G711uコードを優先する (Prefer G711u Code) ]	<p>このコーデックを、関連付けられているコールの優先コーデックにします。</p> <p>デフォルトは *017110。</p>
[G711uコードを強制する (Force G711u Code) ]	<p>このコーデックを、関連付けられているコールに使用できる唯一のコーデックにします。</p> <p>デフォルトは *027110。</p>
[G711aコードを優先する (Prefer G711a Code) ]	<p>このコーデックを、関連付けられているコールの優先コーデックにします。</p> <p>デフォルトは *017111。</p>
[G711aコードを強制する (Force G711a Code) ]	<p>このコーデックを、関連付けられているコールに使用できる唯一のコーデックにします。</p> <p>デフォルトは *027111。</p>

パラメータ	説明
[G722コードを優先する (Prefer G722 Code) ]	このコーデックを、関連付けられているコールの優先コーデックにします。  デフォルトは *01722。  一度に1つのG.722 コールのみ許可されます。電話会議が行われている場合、コールを狭帯域オーディオに切り替えるための SIP 再招待メッセージが送信されます。
[G722コードを強制する (Force G722 Code) ]	このコーデックを、関連付けられているコールに使用できる唯一のコーデックにします。  デフォルトは *02722。  一度に1つのG.722 コールのみ許可されます。電話会議が行われている場合、コールを狭帯域オーディオに切り替えるための SIP 再招待メッセージが送信されます。
[G722.2コードを優先する (Prefer G722.2 Code) ]	このコーデックを、関連付けられているコールの優先コーデックにします。
[G722.2コードを強制する (Force G722.2 Code) ]	このコーデックを、関連付けられているコールに使用できる唯一のコーデックにします。
[G729aコードを優先する (Prefer G729a Code) ]	このコーデックを、関連付けられているコールの優先コーデックにします。  デフォルトは *01729。
[G729aコードを強制する (Force G729a Code) ]	このコーデックを、関連付けられているコールに使用できる唯一のコーデックにします。  デフォルトは *02729。
[iLBCコードを優先する (Prefer iLBC Code) ]	このコーデックを、関連付けられているコールの優先コーデックにします。
[iLBCコードを強制する (Force iLBC Code) ]	このコーデックを、関連付けられているコールに使用できる唯一のコーデックにします。
[ISACコードを優先する (Prefer ISAC Code) ]	このコーデックを、関連付けられているコールの優先コーデックにします。
[ISACコードを強制する (Force ISAC Code) ]	このコーデックを、関連付けられているコールに使用できる唯一のコーデックにします。

## 時間 (Time)

パラメータ	説明
[OPUSコードを優先する (Prefer OPUS Code) ]	このコーデックを、関連付けられているコールの優先コーデックにします。
[OPUSコードを強制する (Force OPUS Code) ]	このコーデックを、関連付けられているコールに使用できる唯一のコーデックにします。

## 時間 (Time)

パラメータ	説明
[ローカル日付の設定 (mm/dd/yyyy) (Set Local Date (mm/dd/yyyy) ) ]	ローカル日付を設定します (mm は月を、dd は日を表します)。年はオプションで、2桁または4桁の数字が使用されます。 デフォルト：空白
[ローカル時刻の設定 (HH/mm) (Set Local Time (HH/mm)) ]	ローカル時刻を設定します (hhは時間を、mmは分を表します)。秒は省略可能です。 デフォルト：空白
タイムゾーン	発信者ID生成用のローカル時刻を生成するためにGMTに追加する時間数を選択します。選択肢は、GMT-12:00、GMT-11:00、...、GMT、GMT+01:00、GMT+02:00、...、GMT+13:00です。 デフォルト：GMT-08:00
[時間オフセット (HH/mm) (Time Offset (HH/mm)) ]	これは、ローカルシステム時刻に使用されるGMTからのオフセットを指定します。 デフォルト：00/00
[DHCP時間オフセットを無視 (Ignore DHCP Time Offset) ]	DHCPに時間オフセット値が設定されたルータが使用されている場合は、IPフォンがルータの設定を使用して、IPフォンのタイムゾーンとオフセットの設定を無視します。ルータのDHCP時間オフセット値を無視して、ローカルタイムゾーンとオフセットの設定を使用するには、このオプションに対して [はい (Yes) ] を選択します。 [いいえ (No) ] を選択した場合は、IPフォンがルータのDHCP時間オフセット値を使用します。 デフォルト：[はい (Yes) ]

パラメータ	説明
[サマータイムルール (Daylight Saving Time Rule) ]	<p>サマータイムを計算するルールを入力します。開始、終了、および保存の値を含める必要があります。このルールは3つのフィールドで構成されます。各フィールドは、次のように ; (セミコロン) で区切られます。指定しなかった場合は、 [ ] (角カッコ) 内のオプション値が 0 と見なされます。深夜は指定された日付の 0:0:0 で表されます。</p> <p>これは、ルール (Start = &lt;start-time&gt;; end=&lt;end-time&gt;; save = &lt;save-time&gt;) の形式です。</p> <p>&lt;start-time&gt; と &lt;end-time&gt; の値は、サマータイムの開始日付、終了日付、および時刻を示します。各値の形式は、&lt;month&gt; /&lt;day&gt; /&lt;weekday&gt;[/HH:[mm[:ss]]] です。</p> <p>&lt;save-time&gt; 値は、サマータイム中に現在の時刻に加算される時間数、分数、秒数です。加算ではなく、減算が望ましい場合は、&lt;save-time&gt; 値の先頭に負 (-) 記号を付加することができます。&lt;save-time&gt; 値の形式は [/[+/-]HH:[mm[:ss]]] です。</p> <p>&lt;month&gt; 値は、1 ~ 12 (1月 ~ 12月) の範囲内でいずれかの値と一致します。</p> <p>&lt;day&gt; 値は、1 ~ 31 の範囲内でいずれかの [+/-] 値と一致します。</p> <p>&lt;day&gt; が 1 の場合は、月末の、または月末前の &lt;weekday&gt; (つまり、その月の最後の &lt;weekday&gt;) を表します。</p>

パラメータ	説明
[サマータイムルール (Daylight Saving Time Rule) ] (続き)	<p>&lt;weekday&gt; 値は、1～7 (月曜日～日曜日) の範囲内でいずれかの値と一致します。ただし 0 と一致する場合もあります。&lt;weekday&gt; 値が 0 の場合は、サマータイム調整の開始日または終了日が指定された日付と正確に一致することを意味します。この場合は、&lt;day&gt; 値を負にしないでください。&lt;weekday&gt; 値が 0 ではなく、&lt;day&gt; 値が正の場合は、サマータイム調整が &lt;weekday&gt; 値または指定された日付後に開始または終了します。&lt;weekday&gt; 値が 0 ではなく、&lt;day&gt; 値が負の場合は、サマータイム調整が &lt;weekday&gt; 値または指定された日付前に開始または終了します。説明：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• HH は時間を表します (0～23)。</li> <li>• mm は分を表します (0～59)。</li> <li>• ss は秒を表します (0～59)。</li> </ul> <p>デフォルト：3/-1/7/2;end=10/-1/7/2;save=1。</p>
[サマータイム有効 (Daylight Saving Time Enable) ]	<p>サマータイムを有効にします。</p> <p>デフォルト：[はい (Yes) ]</p>

## 言語

パラメータ	説明
[ディクショナリサーバスクリプト (Dictionary Server Script) ]	<p>電話ディスプレイに表示される言語オプションを指定するには、このフィールドを使用します。各言語のディクショナリファイルとフォントファイルが必要です。<a href="#">ディクショナリとフォントのセットアップ</a>を参照してください。</p> <p>デフォルト：空白</p>



パラメータ	説明
[言語の選択 (Language Selection) ]	<p>このフィールドを使用して、デフォルト言語を指定します。値は、ディクショナリ サーバでサポートされている言語のいずれかと一致する必要があります。<a href="#">電話ディスプレイ用の言語の指定</a>を参照してください。</p> <p>XML 構成ファイルを使用して言語を構成できます。例：</p> <pre>&lt;Language_Selection ua="na"&gt; Spanish &lt;/Language_Selection&gt;</pre> <p>言語名には最大で512文字まで使用できます。</p>
ロケール	<p>サポートされる言語を参照するには、このドロップダウンリストボックスを使用します。<a href="#">電話ディスプレイでサポートされる言語</a>を参照してください。</p>

## [電話]

## 一般

パラメータ	説明
[ステーション名 (Station Name) ]	電話機の名前。
[ステーション表示名 (Station Display Name) ]	電話機を識別する名前。電話機の画面に表示されます。このフィールドではスペースを使用することができます。名前は一意である必要はありません。
[ボイスメール番号 (Voice Mail Number) ]	<p>ボイスメールを確認する電話番号または URL。</p> <p>デフォルト：なし</p>

## ビデオ設定

パラメータ	説明
帯域幅の許容範囲 (Bandwidth Allowance)	<p>電話機が送受信できる情報の最大量を制限できます。次のオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 自動</li> <li>• 2 Mbps</li> <li>• 1 Mbps</li> <li>• 750Kbps</li> <li>• 500Kbps</li> <li>• 250Kbps</li> </ul> <p>デフォルト : [自動 (Auto) ]</p>

## ハンズフリー

パラメータ	説明
[Bluetooth モード (Bluetooth Mode) ]	<p>Bluetooth 接続の方法を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [電話機 (Phone) ] : Bluetooth ヘッドセットのみとペアリングされます。</li> <li>• [ハンズフリー (Handsfree) ] : Bluetooth 対応の携帯電話でハンズフリー デバイスとして動作します。</li> <li>• [両方 (Both) ] : Bluetooth ヘッドセットを使用するか、Bluetooth 対応の携帯電話で動作します。</li> </ul>
折れ線グラフ(Line)	Bluetoothを有効にする回線番号を指定します。

## 回線キー

回線キーごとに設定のセットがあります。

パラメータ	説明
[内線番号 (Extension) ]	<p>回線キー n に割り当てられる n 内線番号を指定します。</p> <p>デフォルト : n</p> <p>XML 設定例 :</p> <p>回線キー 1 を内線 1 に設定するには :</p> <pre>&lt;Extension_1_ua="na"&gt;1&lt;/Extension_1_&gt;</pre> <p>回線キー 2 の内線機能を無効にするには :</p> <pre>&lt;Extension_2_ua = "na"&gt;無効&lt;/Extension_2_&gt;</pre>
[回線のテキストラベル(Short Name)]	<p>回線キーのユーザ名を指定します。</p> <p>デフォルト : \$USER</p>
[共有コールアピランス (Share Call Appearance) ]	<p>着信コールアピランスが他の電話機と共有されるか、プライベートかを指定します。</p>
[拡張機能 (Extended Function) ]	<p>電話機の未使用回線キーに対して以下のいずれかの機能を割り当てるために使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ビジー ランプ フィールド</li> <li>• コール ピックアップ</li> <li>• 短縮ダイヤル</li> <li>• [エグゼクティブ (Executive) ]または[アシスタント (Assistant) ]メニュー</li> </ul>

## 各種回線キーの設定

パラメータ	説明
[回線IDマッピング (Login ID Mapping) ]	<p>共有コールアピランスの回線 ID マッピングを指定します。[垂直優先 (Vertical First) ]を設定すると、2回目のコールで次に利用可能な回線 ID の LED が点滅します。[水平優先 (Horizontal First) ]を設定すると、2回目のコールで、1回目のコールの受信時と同じ LED が点滅します。また、この動作は発信コールと着信コール両方で同じです。</p> <p>デフォルト : [水平優先 (Horizontal First) ]</p>

パラメータ	説明
[SCA割り込み有効 (SCA Barge-In Enable) ]	SCA 割り込みを有効にします。 デフォルト：[いいえ (No) ]
[SCAスティッキー自動回線捕捉 (SCA Sticky Auto Line Seize) ]	有効にした場合は、電話をオフフックにしたときに、共有回線で着信コールを自動的にピックアップするよう制限します。
[回線あたりのコールアピアランス (Call Appearances Per Line) ]	このパラメータを使用して、ライン ボタンあたりのコール数を選択できます。入力できる値は、2 ～ 10 です。 デフォルト：2

## 補足サービス

パラメータ	説明
[会議サービス (Conference Serv) ]	3者間の会議サービスを有効または無効にします。 デフォルト：[はい (Yes) ]
[在籍転送サービス (Attn Transfer Serv) ]	在籍転送サービスを有効または無効にします。 デフォルト：[はい (Yes) ]
[ブラインド転送サービス (Blind Transfer Serv) ]	ブラインド転送サービスを有効または無効にします。 デフォルト：[はい (Yes) ]
[DNDサービス (DND Serv) ]	応答不可サービスを有効または無効にします。 デフォルト：[はい (Yes) ]
[ブロックANCサービス (Block ANC Serv) ]	ブロック匿名コール サービスを有効または無効にします。 デフォルト：[はい (Yes) ]
[ブロックCIDサービス (Block CID Serv) ]	アウトバウンド発信者 ID のブロック サービスを有効または無効にします。 デフォルト：[はい (Yes) ]
[セキュアコールサービス (Secure Call Serv) ]	セキュアなコール サービスを有効または無効にします。 デフォルト：[はい (Yes) ]

パラメータ	説明
[不在転送サービス (Cfwd All Serv) ]	不在転送サービスを有効または無効にします。 デフォルト：[はい (Yes) ]
[話中転送サービス (Cfwd Busy Serv) ]	話中転送サービスを有効または無効にします。 デフォルト：[はい (Yes) ]
[無応答時転送サービス (Cfwd No Ans Serv) ]	無応答時転送サービスを有効または無効にします。 デフォルト：[はい (Yes) ]
[ページングサービス (Paging Serv) ]	電話機でページングサービスを有効または無効にします。 デフォルト：[はい (Yes) ]
[コールパークサービス (Call Park Serv) ]	電話機でコールパークサービスを有効または無効にします。 デフォルト：[はい (Yes) ]
[コールピックアップサービス (Call Pick Up Serv) ]	電話機でコールピックアップサービスを有効または無効にします。 デフォルト：[はい (Yes) ]
[ACDログインサービス (ACD Login Serv) ]	電話機で ACD ログインサービスを有効または無効にします。 デフォルト：[はい (Yes) ]
[グループコールピックアップサービス (Group Call Pick Up Serv) ]	電話機でグループコールピックアップサービスを有効または無効にします。 デフォルト：[はい (Yes) ]
[サービス通知サービス (Service Annc Serv) ]	電話機でサービス通知サービスを有効または無効にします。 デフォルト：[いいえ (No) ]
[コールの録音サービス (Call Recording Serv) ]	電話機でコールの録音サービスを有効または無効にします。 デフォルト：[いいえ (No) ]

パラメータ	説明
[ビデオサービス (Video Serv) ]	<p>電話機でビデオ サービスを有効または無効にします。</p> <p>有効にすると、[ビデオ有効化 (Video Enable) ]フィールドが[ユーザ (User) ]タブに表示されます。無効にした場合、[ビデオ有効化 (Video Enable) ]フィールドは表示されません。</p> <p>デフォルト : [いいえ (No) ]</p>
[電話の逆引きルックアップサービス (Reverse Phone Lookup Serv) ]	<p>電話機で名前の逆引きルックアップを有効または無効にします。</p> <p>有効にすると、電話機で個人アドレス帳と通話履歴、サーバディレクトリ、および設定されたLDAPまたはXMLディレクトリを検索できます。</p> <p>デフォルト : [はい (Yes) ]</p>

## 呼出音

パラメータ	説明
[Ring1~Ring12 (Ring1 to Ring12) ]	各呼出音の着信音スクリプト。
[サイレント呼び出し時間 (Silent Ring Duration) ]	<p>サイレント呼び出しの持続期間を制御します。</p> <p>たとえば、パラメータが20秒に設定されている場合、電話機はサイレント呼び出しを20秒間再生してから、480応答をINVITEメッセージに送信します。</p>

## エクステンションモビリティ

パラメータ	説明
[EM対応 (EM Enable) ]	<p>電話機のエクステンションモビリティサポートを有効化または無効化するオプション。</p> <p>デフォルト : [いいえ (No) ]</p>
[EMユーザドメイン (EM User Domain) ]	<p>電話機または認証サーバのドメイン名。</p> <p>デフォルト : 空白</p>
[セッションタイマー (分) (Session Timer(m)) ]	電話セッションの継続時間を指定します。

パラメータ	説明
[カウントダウンタイマー (s) (Countdown Timer(s)) ]	ログアウトする前に待機する時間を指定します。 デフォルト : 10
[希望のパスワード入力モード (Preferred Password Input Mode) ]	エクステンション モビリティ PIN のパスワード入力方法を指定するオプション。オプション : 英数字および数字。 デフォルト : 英数字

## XSI 電話サービス

パラメータ	説明
[XSIホストサーバ (XSI Host Server) ]	サーバの名前 (xsi.iop1.broadworks.net など) を入力します。  (注) XSI ホストサーバは、デフォルトで http プロトコルを使用します。HTTPS を介した XSI を有効にするには、サーバで https:// を指定できます。  デフォルト : 空白
[XSI認証タイプ (XSI Authentication Type) ]	XSI の認証タイプを決定します。XSI ID とパスワードによるアクセスを認証するには、 <b>[ログインクレデンシャル (Login Credentials) ]</b> を選択します。電話機に登録されてる SIP アカウントの登録ユーザ ID とパスワードによるアクセスを認証するには、 <b>[SIPクレデンシャル (SIP Credentials) ]</b> を選択します。  デフォルト : [ログインクレデンシャル (Login Credentials) ]

パラメータ	説明
[ログインユーザ ID (Login User ID) ]	<p>電話機のユーザの BroadSoft ユーザ ID (例: johndoe@xdp.broadsoft.com)。</p> <p>XSI 認証タイプに対して [ログインクレデンシャル (Login Credentials) ]または [SIPクレデンシャル (SIP Credentials) ]を選択する場合、SIP 認証 ID を入力します。</p> <p>SIP 認証 ID を [SIPクレデンシャル (SIP Credentials) ]として選択する場合、ログインユーザ ID を入力する必要があります。ログインユーザ ID がない場合、BroadSoft ディレクトリは、電話帳リストの下に表示されません。</p> <p>デフォルト: 空白</p>
[ログインパスワード (Login Password) ]	<p>ユーザ ID に関連付けられている英数字パスワード。</p> <p>XSI 認証タイプに対して [ログインクレデンシャル (Login Credentials) ]を選択する場合、ログインパスワードを入力します。</p> <p>デフォルト: 空白</p>
[SIP認証ID (SIP Auth ID) ]	<p>電話機に登録されている SIP アカウントの登録ユーザ ID。</p> <p>XSI 認証タイプに対して [SIPクレデンシャル (SIP Credentials) ]を選択する場合、SIP 認証 ID を入力します。</p>
[SIPパスワード (SIP Password) ]	<p>電話機に登録されている SIP アカウントのパスワード。</p> <p>XSI 認証タイプに対して [SIPクレデンシャル (SIP Credentials) ]を選択する場合、SIP パスワードを入力します。</p>
[ディレクトリ有効 (Directory Enable) ]	<p>電話機のユーザに対して BroadSoft ディレクトリを有効にします。ディレクトリを有効にする場合は [はい (Yes) ]を選択し、無効にする場合は [いいえ (No) ]を選択します。</p> <p>デフォルト: [いいえ (No) ]</p>
[ディレクトリ名 (Directory Name) ]	<p>ディレクトリの名前。ディレクトリの選択肢として電話機に表示されます。</p> <p>デフォルト: 空白</p>



パラメータ	説明
[ディレクトリタイプ (Directory Type) ]	<p>BroadSoft ディレクトリのタイプを選択します。</p> <p>[企業 (Enterprise) ]: 姓、名、ユーザまたはグループ ID、電話番号、内線番号、部門、または電子メールアドレスで検索できます。</p> <p>[グループ (Group) ]: 姓、名、ユーザ ID、電話番号、内線番号、部門、または電子メールアドレスで検索できます。</p> <p>[個人 (Personal) ]: 姓、名、または電話番号で検索できます。</p> <p>デフォルト: [企業 (Enterprise) ]</p>
[CallLog有効 (CallLog Enable) ]	<p>XSI コールのログを有効にします。XSI コールのログを有効にする場合は [はい (Yes) ] を選択し、無効にする場合は [いいえ (No) ] を選択します。</p> <p>デフォルト: [いいえ (No) ]</p>
CallLog 関連回線	<p>最近の通話ログを表示する電話回線を選択できます。</p> <p>回線番号は 1 ~ 10 の範囲で選択できます。</p>
次からの通話履歴を表示 (Display Recents from)	<p>電話機が表示する最近の通話ログのタイプを設定できます。BroadSoft XSI 通話履歴ログを表示するには [サーバ (Server) ] を、ローカル通話履歴ログを表示するには [電話機 (Phone) ] を選択します。</p> <p>(注) [次からの通話履歴を表示 (Display Recents from) ] が電話の [通話履歴 (Recents) ] 画面に追加されるのは、[CallLog の有効化 (CallLog Enable) ] を [はい (Yes) ] に、[次からの通話履歴を表示 (Display Recents from) ] のタイプを [サーバ (Server) ] に設定した場合のみです。</p>

## Broadsoft XMPP

パラメータ	説明
[XMPP対応 (XMPP Enable) ]	電話機のユーザに対して BroadSoft XMPP ディレクトリを有効にするには、[はい (Yes) ]を選択します。 デフォルト：[いいえ (No) ]
サーバ(Server)	XMPP サーバの名前（たとえば、xsi.iopl.broadworks.net）を入力します。 デフォルト：空白
Port (ポート)	ディレクトリのサーバポート。 デフォルト：空白
ユーザ ID (User ID)	電話機のユーザの BroadSoft ユーザ ID（例：johndoe@xdp.broadsoft.com）。 デフォルト：空白
パスワード	ユーザ ID に関連付けられている英数字パスワード。 デフォルト：空白
[ログイン状態を隠す (Login Invisible) ]	有効な場合、ユーザがサインインしたときに、ユーザのプレゼンス情報が公開されません。 デフォルト：[いいえ (No) ]
[再試行の間隔 (Retry Intvl) ]	クライアントがサーバから切断された後、ログインせずに再接続できる秒単位の間隔。この間隔を過ぎると、クライアントは再認証する必要があります。 デフォルト：30

## XML サービス

パラメータ	説明
[XMLディレクトリサービス名 (XML Directory Service Name) ]	XMLディレクトリの名前。ディレクトリの選択肢としてユーザの電話機に表示されます。 デフォルト：空白
[XMLディレクトリサービスURL (XML Directory Service URL) ]	XMLディレクトリがある URL。 デフォルト：空白

パラメータ	説明
[XMLアプリケーションサービス名 (XML Application Service Name) ]	XML アプリケーションの名前。Web アプリケーションの選択肢としてユーザの電話機に表示されます。
[XMLアプリケーションサービスURL (XML Application Service URL) ]	XML アプリケーションがある URL。
[XMLユーザ名 (XML User Name) ]	認証用の XML サービス ユーザ名 デフォルト：空白
[XMLパスワード (XML Password) ]	認証用の XML サービス パスワード デフォルト：空白
CISCO XML EXE 有効	Cisco XML EXE 認証を有効または無効にします。 デフォルト：[いいえ (No) ]
CISCO XML EXE 認証モード	Cisco XML EXE の認証モードを指定します。次のオプションを使用できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 信頼済み：認証は実行されません（ローカルユーザパスワードが設定されているかどうかに関係なく）。</li> <li>• ローカルクレデンシャル：ローカルユーザパスワードが設定されている場合、認証は、ローカルユーザパスワードを使用したダイジェスト認証に基づきます。ローカルユーザパスワードが設定されていない場合、認証は実行されません。</li> <li>• リモートクレデンシャル：認証は、（XMLアプリケーションサーバにアクセスするために）Web ページの XML アプリケーションで設定されているリモートユーザ名やパスワードを使用したダイジェスト認証に基づきます。</li> </ul> デフォルト：信頼

## 複数のページンググループパラメータ

機能	新規または変更されたセクション
[グループページングスクリプト (Group Paging Script) ]	グループ ページングと、電話機の登録を必要としないプライオリティ ページング (アウトオブバンドページング) を設定する文字列を入力します。

## LDAP

パラメータ	説明
[LDAPディレクトリ有効 (LDAP Dir Enable) ]	LDAP を有効にするには、[はい (Yes) ] を選択します。 デフォルト : [いいえ (No) ]
[社内ディレクトリ名 (Corp Dir Name) ]	「社内ディレクトリ」など、自由形式のテキストで名前を入力します。 デフォルト : 空白
サーバ(Server)	LDAP サーバの完全修飾ドメイン名または IP アドレスを次の形式で入力します。 <b>nnn.nnn.nnn.nnn</b> MD5 認証方式が使用されている場合は、LDAP サーバのホスト名を入力します。 デフォルト : 空白
[検索ベース (Search Base) ]	検索するディレクトリ ツリーで開始点を指定します。ドメインコンポーネント (dc) はカンマで区切ります。例 : <b>dc=cv2bu,dc=com</b> デフォルト : 空白

パラメータ	説明
[クライアントDN (Client DN) ]	<p>識別名ドメイン コンポーネント (dc) を入力します。次に例を示します。</p> <p>dc=cv2bu,dc=com</p> <p>デフォルトの Active Directory スキーマ (Name(cn)-&gt;Users-&gt;Domain) を使用している場合、クライアント DN の例は次のようになります。</p> <p>cn="David Lee",dc=users,dc=cv2bu,dc=com</p> <p>cn="David Lee",dc=cv2bu,dc=com</p> <p>username@domain は、Windows サーバのクライアント DN 形式です。</p> <p>例 : DavidLee@cv2bu.com</p> <p>デフォルト : 空白</p>
User Name (ユーザ名)	<p>LDAP サーバに対するクレデンシャルを持つユーザのユーザ名を入力します。</p> <p>デフォルト : 空白</p>
パスワード	<p>LDAP ユーザ名のパスワードを入力します。</p> <p>デフォルト : 空白</p>
[認証方式 (Auth Method) ]	<p>LDAP サーバに必要な認証方式を選択します。選択肢は次のとおりです。</p> <p>[なし (None) ] : クライアントとサーバ間では認証は使用されません。</p> <p>[シンプル (Simple) ] : クライアントから LDAP サーバに完全修飾ドメイン名とパスワードが送信されます。セキュリティの問題が生じる可能性があります。</p> <p>[Digest-MD5] : LDAP サーバからクライアントに認証オプションとトークンが送信されます。クライアントから暗号化された応答が返され、サーバによって復号化されて検証されます。</p> <p>デフォルト : なし</p>

パラメータ	説明
[姓フィルタ (Last Name Filter) ]	<p>このフィールドを使用して、ユーザが連絡先を検索するときに、姓または名 (sn) に基づいて電話機が検索を実行する方法を指定します。</p> <p>例：</p> <p><b>sn : (sn = \$ VALUE *)</b> 入力した検索文字列で始まる姓をすべて検索するように電話機に指示します。</p> <p><b>sn : (sn = * \$ VALUE *)</b> 入力された検索文字列が姓のどこかにあるすべての姓を検索するように電話機に指示します。この方法はより包括的で、より多くの検索結果を取得します。この方法は、Broadsoft ディレクトリや電話機のユーザの個人アドレス帳など、他のディレクトリでの検索方法と一致しています。</p> <p>デフォルト：空白</p>
[名フィルタ (Last Name Filter) ]	<p>ユーザが連絡先を検索するときに、電話がファーストネームまたは一般名 (cn) に基づいて検索を実行する方法を指定するには、このフィールドを使用します。</p> <p>例：</p> <p><b>cn : (cn = \$ VALUE *)</b> 入力した検索文字列で始まる名前をすべて検索するように電話に指示します。</p> <p><b>cn : (cn = * \$ VALUE *)</b> 入力した検索文字列が名前のどこかにあるすべての名前を検索するように電話機に指示します。この方法はより包括的で、より多くの検索結果を取得します。この方法は、Broadsoft ディレクトリや電話機のユーザの個人アドレス帳など、他のディレクトリでの検索方法と一致しています。</p> <p>デフォルト：空白</p>
[検索項目3 (Search Item 3) ]	<p>追加のカスタマイズされた検索項目。不要な場合は空白にできます。</p> <p>デフォルト：空白</p>
[検索項目3フィルタ (Search Item 3 Filter) ]	<p>検索対象項目のカスタマイズされたフィルタ。不要な場合は空白にできます。</p> <p>デフォルト：空白</p>
[検索項目4 (Search Item 4) ]	<p>追加のカスタマイズされた検索項目。不要な場合は空白にできます。</p> <p>デフォルト：空白</p>

パラメータ	説明
[検索項目4フィルタ (Search Item 4 Filter) ]	<p>検索対象項目のカスタマイズされたフィルタ。不要な場合は空白にできます。</p> <p>デフォルト：空白</p>
[表示属性 (Display Attrs) ]	<p>電話機に表示される LDAP 結果のフォーマット。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• a：属性名</li> <li>• cn：共通名</li> <li>• sn：名字（姓）</li> <li>• telephoneNumber：電話番号</li> <li>• n：表示名</li> </ul> <p>たとえば、n=Phone とすると、詳細ソフトボタンを押したときに LDAP クエリ結果の電話番号の先頭に「Phone:」と表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• t：タイプ</li> </ul> <p>t=p、つまり、tがタイプ電話番号の場合は、検索された番号をダイヤルすることができます。ダイヤル可能な番号は1つだけです。2つの番号をダイヤル可能な番号として定義した場合、最初の番号だけが使用されます。例、a=ipPhone, t=p; a=mobile, t=p;</p> <p>この例では、IP Phone 番号だけがダイヤル可能で、携帯電話番号は無視されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• p：電話番号</li> </ul> <p>t=p のように p がタイプ属性に割り当てられる場合は、検索された番号を電話機からダイヤルすることができます。</p> <p>例、 a=givenName,n=firstname,a=sn,l=lastname,a=cn,f=cn,a=telephoneNumber,n=tele,t=p</p> <p>デフォルト：空白</p>

パラメータ	説明
[番号マッピング (Number Mapping) ]	<p>不要な場合は空白にできます。</p> <p>(注) LDAP 番号マッピングを使用すれば、LDAP サーバから検索された番号を操作することができます。たとえば、ダイヤルする前に 9 を入力する必要があるダイヤルプランの場合は、番号に 9 を追加することができます。プレフィックス 9 を追加するには、[LDAP 番号マッピング (LDAP Number Mapping) ] フィールドに (&lt;9xx.&gt;) を追加します。たとえば、555 1212 は 9555 1212 になります。</p> <p>この方式で番号を操作しない場合、ユーザはダイヤル編集機能を使用して、ダイヤルアウトする前に番号を編集できます。</p> <p>デフォルト：空白</p>

## プログラム可能なソフトキー

パラメータ	説明
[プログラム可能なソフトキー有効 (Programmable Softkey Enable) ]	プログラム可能なソフトキーを有効にします。
[アイドルキーリスト (Idle Key List) ]	電話機がアイドル状態のときに表示されるソフトキー。
[不在着信キーリスト (Missed Call Key List) ]	不在着信があるときに表示されるソフトキー。
[オフフックキーリスト (Off Hook Key List) ]	電話機がオフフックになったときに表示されるソフトキー。
[ダイヤリング入力キーリスト (Dialing Input Key List) ]	ユーザがダイヤリング データを入力する必要があるときに表示されるソフトキー。
[進行中キーリスト (Progressing Key List) ]	コールが接続を試みているときに表示されるソフトキー。
[接続済みキーリスト (Connected Key List) ]	コールが接続されたときに表示されるソフトキー。
[転送開始キーリスト (Start-Xfer Key List) ]	コール転送が開始されたときに表示されるソフトキー。
[会議開始キーリスト (Start-Conf Key List) ]	電話会議が開始されたときに表示されるソフトキー。



パラメータ	説明
[会議中キーリスト (Conferencing Key List) ]	電話会議が進行中のときに表示されるソフトキー。
[リリースキーリスト (Releasing Key List) ]	コールがリリースされたときに表示されるソフトキー。
[保留キーリスト (Hold Key List) ]	1つ以上のコールが保留中になったときに表示されるソフトキー。
[呼び出し中キーリスト (Ringing Key List) ]	コールの着信時に表示されるソフトキー。 着信コールをサイレント状態にするため、[無視 (Ignore) ]ソフトキーを追加できます。
[共有アクティブキーリスト (Shared Active Key List) ]	コールが共有回線でアクティブになったときに表示されるソフトキー。
[共有保留キーリスト (Shared Held Key List) ]	コールが共有回線で保留になったときに示されるソフトキー。
エグゼクティブアシスタントキーリスト (Exec Asst Key List)	エグゼクティブとエグゼクティブアシスタント用のソフトキー。
[接続済みビデオキーリスト (Connected Video Key List) ]	接続されているビデオコールを表示するソフト。
[PSK 1] ~[PSK 16]	プログラム可能なソフトキーフィールド。これらのフィールドに文字列を入力して、電話画面に表示されるソフトキーを設定します。番号または内線番号の短縮ダイヤル、特定業種向けサービスのアクティベーションコード (*コード)、またはXMLスクリプト用にソフトキーを作成できます。

## [内線番号 (Extension) ]

## 一般

パラメータ	説明
[回線の有効化 (Line Enable) ]	<p>サービスに対してこの回線を有効にするには、[はい (Yes) ]を選択します。それ以外の場合は、[いいえ (No) ]を選択します。</p> <p>デフォルト：[はい (Yes) ]</p> <p>XML 構成の例：</p> <p>内線 2 に関連付けられている回線でサービスを無効にするには：</p> <pre>&lt;Line_Enable_2_ua = "na"&gt;いいえ &lt;/Line_Enable_2_&gt;</pre>

## ビデオ設定

パラメータ	説明
[H264 BP0対応 (H264 BP0 Enable) ]	<p>H264 ベース プロファイル 0 コーデックは、[はい (Yes) ]を選択すると有効になり、[いいえ (No) ]を選択すると無効になります。</p> <p>デフォルト：はい (Yes)</p>
[H264 HP対応 (H264 HP Enable) ]	<p>H264 ハイ プロファイル コーデックは、[はい (Yes) ]を選択すると有効になり、[いいえ (No) ]を選択すると無効になります。</p> <p>デフォルト：はい (Yes)</p>
[暗号化方式 (Encryption Method) ]	<p>セキュアなコール中に使用される暗号化方式を選択します。オプションは、[AES 128] と [AES 256 GCM] です。</p> <p>デフォルト：[AES 128]</p>

## 共有回線アピランス

パラメータ	説明
[内線共有 (Share Ext) ]	<p>この内線を他の Cisco IP Phone と共有するか、プライベートにするかを示します。</p> <p>デフォルト：はい (Yes)</p>

パラメータ	説明
[共有ユーザID (Shared User ID) ]	共有回線アピラランスに割り当てられているユーザを識別します。 デフォルト：空白
[サブスクリプションの有効期限 (Subscription Expires) ]	SIP サブスクリプションが失効するまでの秒数。サブスクリプションが失効する前に、共有電話内線のステータスに関して、SIPサーバから NOTIFY メッセージが電話機に送信されます。 デフォルト：3600
[MWIの制限 (Restrict MWI) ]	有効な場合、専用回線上のメッセージのみに対してメッセージ待機インジケータが点灯します。 デフォルト：[いいえ (No) ]

## NAT 設定

パラメータ	説明
[NATマッピング有効 (NAT Mapping Enable) ]	SIPメッセージで外部でマッピングされた IP アドレスと SIP/RTP ポートを使用するには、[はい (Yes) ]を選択します。それ以外の場合は、[いいえ (No) ]を選択します。 デフォルト：[いいえ (No) ]
[NATキープアライブ有効 (NAT Keep Alive Enable) ]	設定された NAT キープアライブ メッセージを定期的送信するには、[はい (Yes) ]を選択します。それ以外の場合は、[いいえ (No) ]を選択します。 デフォルト：[いいえ (No) ]
[NATキープアライブメッセージ (NAT Keep Alive Msg) ]	現在の NAT マッピングを維持するために定期的送信する必要があるキープアライブメッセージを入力します。値が \$NOTIFY の場合、NOTIFY メッセージが送信されます。値が \$REGISTER の場合、連絡先のない REGISTER メッセージが送信されます。 デフォルト：\$NOTIFY

パラメータ	説明
[NATキープアライブ宛先 (NAT Keep Alive Dest) ]	NATキープアライブメッセージを受信する宛先。値が \$PROXY の場合、メッセージがアウトバウンドプロキシに送信されます。

## ネットワーク設定

パラメータ	説明
[SIP TOS/DiffServ値 (SIP TOS/DiffServ Value) ]	SIPメッセージを伝送するUDP IPパケット内の [Time of service (ToS) /差別化サービス (DiffServ) (Time of service (ToS)/differentiated services (DiffServ)) ]フィールド値。デフォルト：0x68。
RTP ToS/DiffServ Value	音声データパケットのToSフィールドの値。 データトラフィック内の音声パケットの優先順位を設定します。 デフォルト：0xb8。
ビデオ RTP ToS/DiffServ 値	ビデオデータパケットのToSフィールドの値。 データトラフィック内のビデオパケットの優先順位を設定します。 デフォルト：0x54。

## SIP の設定 (SIP Settings)

パラメータ	説明
[SIPトランスポート (SIP Transport) ]	<p>SIP メッセージ用のトランスポートプロトコルを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• UDP</li> <li>• TCP</li> <li>• TLS</li> <li>• 自動</li> </ul> <p>[自動 (AUTO) ]を選択すると、電話機はDNSサーバのNAPTRレコードに基づいて適切なプロトコルを自動的に選択します。詳細については、「<a href="#">SIPトランスポートの設定</a>」を参照してください。</p> <p>デフォルト：UDP</p>
[SIPポート (SIP Port) ]	<p>SIPメッセージのリスニングおよび送信の電話のポート番号。</p> <p>SIPトランスポートプロトコルとしてUDPを使用している場合にのみ、ここでポート番号を指定してください。</p> <p>TCPを使用している場合、システムは <b>音声 &gt; SIP タブのSIP TCPポート最小およびSIP TCPポート最大</b>に指定された範囲内にあるランダムポートを使用します。</p> <p>SIPプロキシサーバのポートを指定する必要がある場合は、次のコマンドを使って指定できます。<a href="#">プロキシフィールド (プロキシおよび登録 (108 ページ) )</a> または <a href="#">XSI ホストサーバフィールド (XSI 回線サービス (114 ページ) )</a></p> <p>デフォルト：5060</p>
[SIP 100REL有効 (SIP 100REL Enable) ]	<p>暫定応答 (18x) の信頼できる伝送と PRACK 要求の使用のための 100REL SIP 拡張のサポート。有効にする場合は[はい (Yes) ]を選択します。</p> <p>デフォルト：[いいえ (No) ]</p>
[外部SIPポート (EXT SIP Port) ]	外部 SIP ポート番号。

パラメータ	説明
[再同期-再起動の認証 (Auth Resync-Reboot) ]	<p>Cisco IP Phone は、次の要求を含む NOTIFY メッセージを受信したときに、送信者を認証します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 再同期 (resync)</li> <li>• リブート (reboot)</li> <li>• report</li> <li>• 再起動 (restart)</li> <li>• XML サービス</li> </ul> <p>有効にする場合は [はい (Yes) ] を選択します。</p> <p>デフォルト : [はい (Yes) ]</p>
[SIPプロキシが必要 (SIP Proxy-Require) ]	<p>SIP プロキシは、ユーザーエージェントからこのヘッダーを渡されたときに、特定の内線や動作をサポートできます。このフィールドが設定され、プロキシがそれをサポートしない場合、非サポートメッセージで応答します。表示されたフィールドに適切なヘッダーを入力します。</p>
[SIP Remote-Party-ID]	<p>From ヘッダーの代わりに使用する Remote-Party-ID ヘッダー。有効にする場合は [はい (Yes) ] を選択します。</p> <p>デフォルト : [はい (Yes) ]</p>
[Referor Bye遅延 (Referor Bye Delay) ]	<p>コール転送の終了時に古くなったコールレックを終了するために電話機でBYEを送信するタイミングを制御します。この画面では、複数の遅延設定 (Referor、Refer Target、Referee、および Refer-To Target) を設定できます。</p> <p>[Referor Bye遅延 (Referor Bye Delay) ]には、適切な期間を秒単位で入力します。</p> <p>デフォルト : 4</p>
[Refer-To Target連絡先 (Refer-To Target Contact) ]	<p>Refer-To Target の対象を示します。選択 はいを送信する、 SIP 参照 連絡先にします。</p> <p>デフォルト : [いいえ (No) ]</p>

パラメータ	説明
[Referee Bye遅延 (Referee Bye Delay) ]	[Referee Bye遅延 (Referee Bye Delay) ] の場合は、適切な時間を秒単位で入力します。 デフォルト : 0
[Refer Target Bye遅延 (Refer Target Bye Delay) ]	[Refer Target Bye遅延 (Refer Target Bye Delay) ] には、適切な期間を秒単位で入力します。 デフォルト : 0
[スティッキー183 (Sticky 183) ]	有効な場合、IP テレフォニーは、アウトバウンド INVITE の最初の 183 SIP 応答を受信した後、後続の 180 SIP 応答を無視します。この機能を有効にする場合は[はい (Yes) ]を選択します。それ以外の場合は、[いいえ (No) ]を選択します。 デフォルト : [いいえ (No) ]
[INVITEの認証 (Auth INVITE) ]	有効にする場合、SIPプロキシからの初期の着信 INVITE 要求に認証が必要になります。この機能を有効にする場合は[はい (Yes) ]を選択します。 デフォルト : [いいえ (No) ]
[Ntly参照オン1xx-To-Inv (Ntly Refer On 1xx-To-Inv) ]	[はい (Yes) ]に設定すると、電話機は被転送者として、Event:Refer が設定された NOTIFY を、転送コールログで転送ターゲットから返された 1 xx 応答の転送先に送信します。 [いいえ (No) ]に設定すると、電話機は最後の応答 (200 以上) の NOTIFY のみ送信します。
[G729 annexbの設定 (Set G729 annexb) ]	G.729 Annex B の設定を行います。
[ユーザイコール電話機 (User Equal Phone) ]	電話の URL が SIP URL に変換され、電話番号が URL のユーザ部分で表される場合、SIP URL にはオプションの user=phone パラメータ (RFC3261) が含まれます。例 : To: sip:+12325551234@example.com; user=phone このオプションパラメータを有効にする場合は、[はい (Yes) ]を選択します。 デフォルト : [いいえ (No) ]

パラメータ	説明
[コールの録音プロトコル (Call Recording Protocol) ]	<p>電話機で使用する録音のプロトコルのタイプを決定します。次のオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• SIPINFO</li> <li>• SIPREC</li> </ul> <p>デフォルト : SIPREC</p>
プライバシー ヘッダー	<p>信頼されたネットワーク内で SIP メッセージにユーザ プライバシーを設定します。</p> <p>プライバシー ヘッダーのオプションを次に示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [無効(Disabled)] (デフォルト)</li> <li>• none : ユーザは、プライバシー サービスがこの SIP メッセージにプライバシー機能を適用しないように要求します。</li> <li>• header : ユーザは識別情報を削除できないヘッダーを隠すためにプライバシー サービスを必要とします。</li> <li>• session : ユーザは、プライバシー サービスがこのセッションに匿名性を提供するよう要求します。</li> <li>• user : ユーザは、仲介者によってのみプライバシー レベルを要求します。</li> <li>• id : ユーザは IP アドレスまたはホスト名を明らかにしない ID を代わりに使用するようシステムに要求します。</li> </ul> <p>デフォルト : [無効 (Disabled) ]</p>
P-Early-Media のサポート	<p>P-Early-Media ヘッダーが発信コールの SIP メッセージに含まれるかどうかを制御します。</p> <p>P-Early-Media ヘッダーを含めるには、[はい (Yes) ]を選択します。それ以外の場合は、[いいえ (No) ]を選択します。</p> <p>デフォルト : [いいえ (No) ]</p>



## コール機能の設定

パラメータ	説明
[ブラインド在席転送有効 (Blind Attn-Xfer Enable) ]	現在のコール レッグを終了して他のコール レッグのブラインド転送を実行することにより、電話機で在席転送操作を実行できるようにします。この機能を無効にした場合、電話機は、現在のコールレグと他のコールレグの両方を維持した状態で、他のコールレグを現在のコールレグに参照させることにより、在席転送操作を実行します。この機能を使用する場合は [はい (Yes) ] を選択します。それ以外の場合は、[いいえ (No) ] を選択します。 デフォルト: [いいえ (No) ]
[メッセージ受信 (Message Waiting) ]	電話機のメッセージ待機インジケータが点灯しているかどうかを示します。このパラメータにより、SIPプロキシからのメッセージが切り替えられ、メッセージが待機しているかどうかを示されます。
[ページを認証 (Auth Page) ]	ページに自動応答する前に招待を認証するかどうかを指定します。 デフォルト: [いいえ (No) ]
[デフォルト呼出音 (Default Ring) ]	聞こえる呼出音のタイプ。[呼出音なし (No Ring) ] または 1 ~ 10 を選択します。 [呼出音 (Ring) ] オプションには、Sunlight、Chirp 1、Chirp 2、Delight、Evolve、Mellow、Mischief、Reflections、Ringer、Ascent、Are you there、Chime があります。
[ページの認証レルム (Auth Page Realm) ]	[ページを認証 (Auth Page) ] パラメータを [はい (Yes) ] に設定した場合、受け入れられる認証のレルム部分を特定します。このパラメータには、英数字を使用できます。
[会議ブリッジのURL (Conference Bridge URL) ]	会議コールに参加するための URL。通常は、単語の conference または user@IPAddress:port の形式。

パラメータ	説明
[ページの認証パスワード (Auth Page Password) ]	[ページを認証 (Auth Page) ]パラメータを[はい (Yes) ]に設定した場合、使用されるパスワードを特定します。このパラメータには、英数字を使用できます。
[メールボックスID]	電話機のボイス メールボックス番号/ID を特定します
[ボイスメールサーバ (Voice Mail Server) ]	電話機の SpecVM サーバを識別します。通常は、VM サーバの IP アドレスとポート番号です。
[ボイスメールサブスクリプションインターバル (Voice Mail Subscribe Interval) ]	ボイス メールサーバへのサブスクリプションの秒単位の有効期限。
[アクティブな通話時の自動応答ページ (Auto Ans Page On Active Call) ]	ページ コール着信時の電話機の動作を決定します。
[機能キーの同期 (Feature Key Sync) ]	必要な場合に回線とサーバとの間の設定の同期を有効にします。  以下の機能またはユーザ向けに設定されている回線に対して、[機能キー同期 (Feature Key Sync) ]を有効にする必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 不在転送</li> <li>• 着信拒否 (DND)</li> <li>• エグゼクティブとアシスタント</li> </ul>
[コールパークモニタ有効 (Call Park Monitor Enable) ]	BroadSoft サーバのみの機能です。コールパークがサーバまたはプログラム可能なラインキーのいずれかで有効な場合、コールパーク通知に関するこのフィールドを有効にして動作させるようにする必要があります。  デフォルト：[いいえ (No) ]
[Broadsoftホテリングの有効化 (Enable Broadsoft Hoteling) ]	このパラメータを[はい (Yes) ]に設定すると、電話機はサーバにサブスクリプションメッセージ (本文なし) を送信します。  デフォルト：[いいえ (No) ]
[ホテリングサブスクリプション期限切れ (Hoteling Subscription Expires) ]	サブスクリプションメッセージに追加される有効期限の値。デフォルト値は 3600 です。

パラメータ	説明
[セキュアコールのオプション (Secure Call Option) ]	<p>内線でセキュアなコールを有効にします。次のオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [オプション (Optional) ] : 電話機は、セキュアなコールの現在の動作を保持します。</li> <li>• [必須 (Required) ] : 電話機は、他の電話機からのセキュアでないコールを拒否します。</li> </ul> <p>デフォルト : [オプション (Optional) ]</p>

## ACD 設定

パラメータ	説明
[Broadsoft ACD]	<p>電話機で自動着信呼分配 (ACD) を有効にします。有効にする場合は [はい (Yes) ] を選択し、無効にする場合は [いいえ (No) ] を選択します。</p> <p>デフォルト : [いいえ (No) ]</p>
[コール情報の有効化 (Call Information Enable) ]	<p>電話機にコールセンターコールの詳細を表示できるようにします。有効にする場合は [はい (Yes) ] を選択し、無効にする場合は [いいえ (No) ] を選択します。</p> <p>デフォルト : [いいえ (No) ]</p>
[ディスポジションコードの有効化 (Disposition Code Enable) ]	<p>ユーザがディスポジションコードを追加できるようにします。有効にする場合は [はい (Yes) ] を選択し、無効にする場合は [いいえ (No) ] を選択します。</p> <p>デフォルト : [いいえ (No) ]</p>
[トレースの有効化 (Trace Enable) ]	<p>ユーザが最新の着信コールをトレースできるようにします。有効にする場合は [はい (Yes) ] を選択し、無効にする場合は [いいえ (No) ] を選択します。</p> <p>デフォルト : [いいえ (No) ]</p>

## プロキシおよび登録

パラメータ	説明
[緊急エスカレーションの有効化 (Emergency Escalation Enable) ]	緊急の場合、ユーザがコールをスーパーバイザにエスカレーションできるようにします。有効にする場合は[はい (Yes) ]を選択し、無効にする場合は[いいえ (No) ]を選択します。 デフォルト : [いいえ (No) ]
[キューステータス通知の有効化 (Queue Status Notification Enable) ]	コールセンターのステータスとエージェントのステータスを表示します。有効にする場合は[はい (Yes) ]を選択し、無効にする場合は[いいえ (No) ]を選択します。 デフォルト : [いいえ (No) ]

## プロキシおよび登録

パラメータ	説明
[プロキシ (Proxy) ]	すべてのアウトバウンド要求のためにサービスプロバイダーによって設定された SIP プロキシサーバとポート番号。たとえば、「192.168.2.100:6060」と入力します。 ポート番号は任意です。ポートを指定しないと、デフォルトのポート 5060 が UDP に使用され、デフォルトのポート 5061 が TLS に使用されます。 このプロキシを別の設定（短縮ダイヤル回線キー設定など）で参照する必要がある場合は、\$PROXY マクロ変数を使用します。
[発信プロキシ (Outbound Proxy) ]	すべてのアウトバウンド要求は、最初のホップとして送信されます。IP アドレスまたはドメイン名を入力します。

パラメータ	説明
<p>[代替プロキシ (Alternate Proxy) ]</p> <p>[代替アウトバウンドプロキシ (Alternate Outbound Proxy) ]</p>	<p>この機能は、インターネットにネットワークパーティションがあるときや、プライマリプロキシ（またはプライリアウトバウンドプロキシ）が応答しないあるいは利用できない場合に高速フォールバックを提供します。この機能は、代替プロキシがアナログのアウトバウンド電話接続を備えたサービス統合型ルータ（ISR）であるため、Verizon 導入環境で正常に機能します。</p> <p>これらのフィールドにプロキシ サーバのアドレスおよびポート番号を入力します。電話機がプライマリプロキシおよび代替プロキシ（またはプライリアウトバウンドプロキシと代替アウトバウンドプロキシ）に登録されると、電話機は、INVITE および 非 INVITE SIP メッセージ（登録を除く）を常にプライマリプロキシ経由で送信します。電話機は常にプライマリプロキシと代替プロキシの両方に登録されます。新しい INVITE のタイムアウト（SIP RFC 仕様に基づく）後にプライマリプロキシから応答がない場合、電話機は代替プロキシに接続を試みます。電話機は常にプライマリプロキシを最初に試し、プライマリに到達不能な場合はすぐに代替プロキシを試みます。</p> <p>アクティブ トランザクション（コール）は、プライマリプロキシと代替プロキシ間でフォールバックしません。新しい INVITE でフォールバックが発生した場合、それに応じて登録/通知 トランザクションはフォールバックされるため、電話機の状態は適切に維持されます。</p> <p>[プロキシと登録 (Proxy and Registration) ] セクションの [デュアル登録 (Dual Registration) ] を [はい (Yes) ] に設定する必要もあります。</p>
<p>[ダイアログでOBプロキシを使用 (Use OB Proxy in Dialog) ]</p>	<p>ダイアログ内でアウトバウンドプロキシへの SIP 要求を強制的に送信するかどうかを決定します。[アウトバウンドプロキシを使用 (Use Outbound Proxy) ] フィールドが [いいえ (No) ] に設定されている場合、または [アウトバウンドプロキシ (Outbound Proxy) ] フィールドが空の場合は無視されます。</p> <p>デフォルト : [はい (Yes) ]</p>

パラメータ	説明
登録	<p>プロキシへの定期登録を有効にします。このパラメータは、プロキシが指定されていない場合は無視されます。この機能を有効にする場合は [はい (Yes) ] を選択します。</p> <p>デフォルト : [はい (Yes) ]</p>
[登録なしで発信 (Make Call Without Reg) ]	<p>電話機による登録が成功 (ダイナミック) しなくても発信コールを可能にします。[いいえ (No) ] に設定すると、登録が成功した場合のみダイヤルトーンが再生されます。この機能を有効にする場合は [はい (Yes) ] を選択します。</p> <p>デフォルト : [いいえ (No) ]</p>
[登録期限切れ (Register Expires) ]	<p>電話機がプロキシへの登録を更新する頻度を定義します。プロキシが短い期限切れ値で REGISTER に応答する場合、電話機は設定された値ではなく、その短い方の値に基づいて登録を更新します。</p> <p>登録が「期限が短すぎます (Expires too brief) 」エラー応答で失敗すると、電話機はエラーの Min-Expires ヘッダーで指定された値で再試行します。</p> <p>値の範囲は 32 ~ 2000000 です。</p> <p>デフォルト : 3600 秒</p>
[登録なしでコールに応答 (Ans Call Without Reg) ]	<p>有効にした場合、ユーザはプロキシに登録する必要なくコールに応答します。</p> <p>デフォルト : [いいえ (No) ]</p>
[DNS SRVを使用 (Use DNS SRV) ]	<p>プロキシとアウトバウンドプロキシの DNS SRV ルックアップを有効にします。この機能を有効にする場合は [はい (Yes) ] を選択します。それ以外の場合は、[いいえ (No) ] を選択します。</p> <p>デフォルト : [いいえ (No) ]</p>

パラメータ	説明
[DNS SRV自動プレフィックス (DNS SRV Auto Prefix) ]	<p>電話機で、プロキシまたはアウトバウンドプロキシ名についてDNS SRV ルックアップを実行するときはその名前の前に <code>_sip._udp</code> が自動的に付加されるようにします。</p> <p>デフォルト：[いいえ (No) ]</p>
[プロキシフォールバック間隔 (Proxy Fallback Intvl) ]	<p>最も優先順位の高いプロキシ（またはアウトバウンドプロキシ）が、それよりも優先順位の低いサーバにフェールオーバーしてから、電話機が再試行するまでの遅延を設定します。</p> <p>電話機には、サーバ名に対する DNS SRV レコードルックアップからのプライマリおよびバックアッププロキシサーバリストが必要です。プロキシの優先順位を認識する必要があります。認識していない場合、再試行しません。</p> <p>値の範囲は 0 ～ 65535 です。</p> <p>デフォルト：3600 秒</p>
[プロキシ冗長性メソッド (Proxy Redundancy Method) ]	<p>[標準 (Normal) ]または[SRVポートに基づく (Based on SRV Port) ]を選択します。電話機は、DNS SRV レコードで返されたプロキシの内部リストを作成します。</p> <p>[標準 (Normal) ]を選択した場合、リストにはウェイトと優先順位でランク付けされたプロキシが含まれます。</p> <p>[SRVポートに基づく (Based on SRV Port) ]を選択した場合、ユーザは標準メソッドを使用した後、最初にリストされているプロキシポートに基づいてポート番号を確認します。</p> <p>デフォルト：[標準 (Normal) ]</p>
[デュアル登録 (Dual Registration) ]	<p>設定 <b>はい</b> デュアル登録/高速秋バック機能を有効にします。この機能を有効にするには、[プロキシと登録 (Proxy and Registration) ]セクションの [代替プロキシ (Alternate Proxy) ] および [代替アウトバウンドプロキシ (Alternate Outbound Proxy) ] フィールドを設定する必要があります。</p>

パラメータ	説明
[フェールオーバー時に自動登録 (Auto Register When Failover) ]	<p>[いいえ (No) ]に設定すると、フォールバックが直ちに自動で実行されます。[プロキシのフォールバック間隔 (Proxy Fallback Intvl) ]を超えると、すべての新しい SIP メッセージがプライマリ プロキシに送信されます。</p> <p>[はい (Yes) ]に設定すると、現在の登録期限が切れた場合のみフォールバックが発生します。つまり、REGISTERメッセージのみフォールバックをトリガーできます。</p> <p>たとえば、[登録期限切れ (Register Expires) ]の値が 3600 秒で、[プロキシのフォールバック間隔 (Proxy Fallback Intvl) ]が 600 秒の場合、フォールバックは600秒後ではなく、3600秒後にトリガーされます。[登録期限切れ (Register Expires) ]の値が 600 秒で、[プロキシのフォールバック間隔 (Proxy Fallback Intvl) ]が 1000 秒の場合、フォールバックは 1200 秒でトリガーされます。元のプライマリ サーバへの登録が正常に行われると、すべての SIP メッセージはプライマリ サーバに送信されます。</p>

## サブスクリバ情報

パラメータ	説明
表示名	発信者 ID として表示される名前。
ユーザ ID (User ID)	<p>この回線の内線番号。</p> <p>このユーザ IDを別の設定 (回線キーの短縮名など) で参照する必要がある場合は、\$USER マクロ変数を使用します。</p>
パスワード	<p>この回線のパスワード。</p> <p>デフォルト値：空白 (パスワードは不要)</p>
[認証ID (Auth ID) ]	<p>SIP 認証の認証 ID。</p> <p>デフォルト：空白</p>



パラメータ	説明
[逆認証レルム (Reversed Auth Realm) ]	<p>プロキシIPアドレス以外の認証レルムのIPアドレス。既定値は空白です。プロキシのIPアドレスが認証レルムとして使用されます。</p> <p>内線番号1のパラメータは、電話機設定ファイルに次のように表示されます。</p> <pre data-bbox="980 533 1390 583">&lt;Reversed_Auth_Realm_1_ ua="na"&gt; &lt;/Reversed_Auth_Realm_1_&gt;</pre>
SIP URI	<p>ユーザ エージェントがこの回線に対して自身を識別するパラメータ。このフィールドが空白の場合、SIP シグナリングで使用される実際のURIが自動的に次のように作成されます。</p> <p>sip:UserName@Domain</p> <p>UserName は [ユーザ ID (User ID) ] でこの回線に指定したユーザ名で、Domain は [ユーザ エージェント ドメイン (User Agent Domain) ] でこのプロファイルに指定したドメインです。[ユーザ エージェント ドメイン (User Agent Domain) ] が空の文字列である場合、電話機のIPアドレスをドメインに使用する必要があります。</p> <p>[URI] フィールドが空でない場合でも、SIP または SIPS URL に @ 文字が含まれていない場合、SIP シグナリングで使用される実際のURIは、このパラメータに @ 文字とその後ろにデバイスのIPアドレスを付加して、自動的に作成されます。</p>

## XSI 回線サービス

パラメータ	説明
[XSIホストサーバ (XSI Host Server) ]	<p>サーバの名前を次のように入力します。例： <b>xsi.iop1.broadworks.net</b></p> <p>(注) XSI ホストサーバは、デフォルトで http プロトコルを使用します。HTTPS を介した XSI を有効にするには、サーバで https:// を指定できません。</p> <p>例： <b>https://xsi.iop1.broadworks.net</b></p> <p>サーバのポートを指定することもできます。次に例を示します。 <b>https://xsi.iop1.broadworks.net:5061</b></p> <p>ポートを指定していない場合指定したプロトコルのデフォルトポートが使用されます。 デフォルト：空白</p>
[XSI認証タイプ (XSI Authentication Type) ]	<p>XSI の認証タイプを決定します。ログインユーザ ID とログインパスワードを使用してアクセスを認証するには、[ログインクレデンシャル (Login Credentials) ] を選択します。電話機に登録されている SIP アカウントの認証 ID およびパスワードでアクセスを認証するには、[SIP クレデンシャル (SIP Credentials) ] を選択します。</p> <p>デフォルト：[ログインクレデンシャル (Login Credentials) ]</p>
[ログイン ユーザ ID (Login User ID) ]	<p>電話機のユーザの BroadSoft ユーザ ID (例：johndoe@xdp.broadsoft.com) 。</p> <p>XSI 認証タイプの場合は、[ログインユーザ ID (Login User ID) ] の値を入力する必要があります。[ログイン ユーザ ID (Login User ID) ] を指定しないと、BroadWorks Anywhere 機能は動作しません。</p> <p>デフォルト：空白</p>

パラメータ	説明
[ログインパスワード (Login Password) ]	<p>ログインユーザ ID に関連付けられている英数字のパスワード。</p> <p>XSI 認証のタイプとして [ログイン クレデンシャル (Login Credentials) ] を選択した場合は、ログインパスワードを入力する必要があります。</p> <p>デフォルト：空白</p>
Anywhere の有効化	<p>内線で BroadWorks Anywhere 機能を有効にします。</p> <p>[はい (Yes) ] を選択した場合、Anywhere はこの回線で有効になり、ユーザは電話機のメニューを使用してこの特定の回線に複数の場所を追加できます。</p> <p>デフォルト：[はい (Yes) ]</p>
CID のブロックの有効化	<p>回線での XSI 発信者 ID のブロックを有効にします。</p> <p>XSI インターフェイスを使用して発信者 ID ブロックのステータスとサーバとの同期を有効にするには、[はい (Yes) ] を選択します。電話機のローカルブロッキング発信者 ID 設定を使用するには、いいえを選択します。</p>
CFWD 有効	<p>XSI サービスを介した回線での着信転送ステータスの同期を有効または無効にします。</p> <p>電話機が、XSI サービスを使用してコール転送ステータスをサーバと同期することを有効にするにははいを選択します。この機能を無効にするにはいいえを選択します。</p> <p>(注)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 機能キーの同期がはいに設定されている場合、FKS は XSI 同期よりも優先されます。</li> <li>• XSI ホストサーバと認証情報が入力されていない場合で、<b>CFWD 有効</b>フィールドがはいに設定されている場合、電話ユーザはその電話で通話を転送できません。</li> </ul>

パラメータ	説明
DND 有効	<p>XSI サービス経由の回線での DND ステータス同期を有効または無効にします。</p> <p>電話機が、XSI サービスを使用して DND ステータスをサーバと同期することを有効にするには<b>はい</b>を選択します。この機能を無効にするには<b>いいえ</b>を選択します。</p> <p>(注)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>機能キーの同期</b>が<b>はい</b>に設定されている場合、FKS は XSI 同期よりも優先されます。</li> <li>• XSI ホストサーバと認証情報が入力されていない場合で、<b>CFWD 有効</b>フィールドが<b>はい</b>に設定されている場合、電話ユーザはその電話で DND モードをオンにできません。</li> </ul>

## 音声設定

パラメータ	説明
[優先するコーデック (Preferred Codec) ]	<p>すべてのコールで優先されるコーデックです。コールで使用される実際のコーデックは、コーデック ネゴシエーションプロトコルの結果によって異なります。</p> <p>次のいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• G711u</li> <li>• G711a</li> <li>• G729a</li> <li>• G729ab</li> <li>• G722</li> <li>• G722.2</li> <li>• iLBC</li> <li>• OPUS</li> <li>• iSAC</li> </ul> <p>デフォルト : G711u</p>

パラメータ	説明
[優先コーデックのみを使用 (Use Pref Codec Only) ]	任意のコーデックを使用するには、[いいえ (No) ]を選択します。優先コーデックのみを使用するには、[はい (Yes) ]を選択します。[はい (Yes) ]を選択すると、相手先が優先コーデックをサポートしていない場合にコールが失敗します。 デフォルト：[いいえ (No) ]
[2番目の優先コーデック (Second Preferred Codec) ]	最初のコーデックが失敗した場合に使用するコーデック。 デフォルト：Unspecified
[3番目の優先コーデック (Third Preferred Codec) ]	2番目のコーデックが失敗した場合に使用するコーデック。 デフォルト：Unspecified
[G711u有効 (G711u Enable) ]	G.711u コーデックの使用を有効にします。 デフォルト：[はい (Yes) ]
[G711a有効 (G711a Enable) ]	G.711a コーデックの使用を有効にします。 デフォルト：[はい (Yes) ]
[G729a有効 (G729a Enable) ]	G.729a コーデックの使用を 8 kbps で有効にするには、[はい (Yes) ]を選択します。それ以外の場合は、[いいえ (No) ]を選択します。 デフォルト：[はい (Yes) ]
[G722有効 (G722 Enable) ]	G.722 コーデックの使用を有効にします。 デフォルト：[はい (Yes) ]
[G722.2有効 (G722.2 Enable) ]	G.722.2 コーデックの使用を有効にします。 デフォルト：[いいえ (No) ]
[iLBC有効 (iLBC Enable) ]	iLBC コーデックの使用を有効にします。 デフォルト：[はい (Yes) ]
[iSAC有効 (iSAC Enable) ]	iSAC コーデックの使用を有効にします。 デフォルト：[はい (Yes) ]
[OPUS有効 (OPUS Enable) ]	OPUS コーデックの使用を有効にします。 デフォルト：[はい (Yes) ]

パラメータ	説明
[サイレンスサプレッション有効 (Silence Supp Enable) ]	サイレンス サプレッションを有効にして、サイレントオーディオフレームが送信されないようにするには、[はい (Yes) ]を選択します。それ以外の場合は、[いいえ (No) ]を選択します。  デフォルト：[いいえ (No) ]
[DTMF Txメソッド (DTMF Tx Method) ]	DTMF 信号を相手先に送信するための方法。次のオプションがあります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [AVT]：音声ビデオ トランスポート。DTMF を AVT イベントとして送信します。</li> <li>• [InBand]：音声パスを使用して DTMF を送信します。</li> <li>• [自動 (Auto) ]：コーデック ネゴシエーションの結果に基づいて InBand または AVT を使用します。</li> <li>• [情報 (INFO) ]：SIP INFO メソッドを使用します。</li> </ul>
[コーデックのネゴシエーション (Codec Negotiation) ]	[デフォルト (Default) ]に設定されている場合、Cisco IP Phone は 200 OK 応答で Invite に応答し、優先コーデックのみをアダプタイズします。[すべてリスト (List All) ]に設定されている場合、Cisco IP Phone は応答して、電話機がサポートしているすべてのコーデックをリストします。デフォルト値は[デフォルト (Default) ]です。つまり、優先コーデックのみで応答します。
[暗号化方式 (Encryption Method) ]	セキュアなコール中に使用される暗号化方式です。オプションは、[AES 128] と [AES 256 GCM] です。  デフォルト：128。

## ダイヤルプラン

パラメータ	説明
[ダイヤルプラン (Dial Plan) ]	<p>選択した内線のダイヤルプランスクリプト。</p> <p>ダイヤルプランシンタックスを使用すると、特定のゲートウェイで使用する次の3つのパラメータを指定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• uid : 認証ユーザ ID</li> <li>• pwd : 認証パスワード</li> <li>• nat : このパラメータが存在する場合は、NAT マッピングを使用します。</li> </ul> <p>各パラメータはセミコロン (;) で区切ります。</p>
[発信者IDマップ (Caller ID Map) ]	<p>インバウンド発信者 ID 番号を別の文字列にマッピングできます。たとえば、+44xxxxxx で始まる番号を 0xxxxxx にマッピングできます。この機能のシンタックスはダイヤルプランパラメータのシンタックスと同じです。このパラメータを使用すると、画面に表示される発信者 ID 番号とコールログ記録をマッピングする方法を指定できます。</p>
[URIダイヤルの有効化 (Enable URI Dialing) ]	<p>URI ダイヤルを有効または無効にします。</p>
[緊急番号 (Emergency Number) ]	<p>緊急番号のカンマ区切りのリストを入力します。このいずれかの番号がダイヤルされると、ユニットの CONF、HOLD、および他の同様のソフトキーやボタンの処理が無効になり、現在のコールが誤って保留にされるのを防ぎます。また、電話機ではフックフラッシュイベント処理も無効になります。</p> <p>緊急通報を終了できるのは相手先だけです。コールが終了されてレシーバがオンフックの状態に戻されると、電話機は通常の状態に復元されます。</p> <p>最大63文字を入力できます。デフォルトは空白 (緊急番号なし) です。</p>

## E911 地理位置情報の設定

## E911 地理位置情報の設定

パラメータ	説明
[会社のUUID (Company UUID) ]	緊急通報サービス プロバイダーがお客様に割り当てる汎用一意識別子 (UUID)。 識別子の最大長は 128 文字です。デフォルトは空白です。
[プライマリリクエストURL (Primary Request URL) ]	暗号化された HTTPS 電話機ロケーション リクエスト。このリクエストでは、電話機の IP アドレス、MAC アドレス、ネットワークアクセス識別子 (NAI)、ネットワークスイッチメーカーが割り当てたシャーシIDおよびポートIDが使用されます。このリクエストには、ロケーションサーバ名とカスタマー ID も含まれます。 緊急通報サービスプロバイダーが使用するサーバは、ユーザの電話機の IP アドレスに関連付けられているロケーション Uniform Resource Identifier (URI) を保持している緊急応答ロケーション (ERL) を使用して応答します。 デフォルトは空白です。
[セカンダリリクエストURL (Secondary Request URL) ]	ユーザの電話機のロケーションを取得するために、緊急通報サービス プロバイダーのバックアップサーバに送信される暗号化された HTTPS リクエスト。 デフォルトは空白です。

電話機の緊急通報サポートに関する用語の説明については、[緊急通報のサポート用語](#)を参照してください。

## ユーザ

## 保留リマインダ

パラメータ	説明
[保留リマインダタイマー (Hold Reminder Timer) ]	別のコールが保留状態になったときに、アクティブな通話でスプラッシュ音が聞こえる遅延時間 (秒単位) を指定します。 デフォルト : 0



パラメータ	説明
[保留リマインダ着信音 (Hold Reminder Ringtone) ]	タイマーの着信音の音量を指定します。

## コール転送

パラメータ	説明
[コール転送設定 (Cfwd Setting) ]	コール転送を有効にするには、[はい (Yes) ] を選択します。
[不在転送宛先 (Cfwd All Dest) ]	コールを転送する内線番号を入力します。
[話中転送宛先 (Cfwd Busy Dest) ]	回線が使用中のときにコールを転送する内線番号を入力します。 デフォルト：ボイスメール
[無応答時転送宛先 (Cfwd No Ans Dest) ]	コールが応答されないときにコールを転送する内線番号を入力します。 デフォルト：ボイスメール
[無応答時転送遅延 (Cfwd No Ans Delay) ]	無応答のコールを転送する前に待機する遅延時間 (秒単位) を入力します。 デフォルト：20 秒

## 短縮ダイヤル

パラメータ	説明
[短縮ダイヤル名 (Speed Dial Name) ] (2～9)	特定の短縮ダイヤル番号に割り当てられた名前。 デフォルト：空白
[短縮ダイヤル番号 (Speed Dial Number) ] (2～9)	短縮ダイヤル2、3、4、5、6、7、8、または9に割り当てられたターゲットの電話番号 (またはURL) 。数字キー (2～9) を押して割り当てられた番号をダイヤルアウトします。 デフォルト：空白

## 補足サービス

パラメータ	説明
[CW設定 (CW Setting) ]	コールウェイティングサービスを有効または無効にします。 デフォルト：[はい (Yes) ]
[ブロックCID設定 (Block CID Setting) ]	ブロック CID サービスを有効または無効にします。 デフォルト：[いいえ (No) ]
[ブロックANC設定 (Block ANC Setting) ]	ブロック ANC サービスを有効または無効にします。 デフォルト：[いいえ (No) ]
[DND設定 (DND Setting) ]	ユーザに対して DND 設定オプションを有効または無効にします。
[ハンドセットLEDアラート (Handset LED Alert) ]	ハンドセットで LED アラートを有効または無効にします。選択できるのは、[ボイスメール (Voicemail) ]または[ボイスメール、不在着信 (Voicemail, Missed Call) ]です。 デフォルト：[ボイスメール (Voicemail) ]
[セキュアコール設定 (Secure Call Setting) ]	セキュア コールを有効または無効にします。 デフォルト：[いいえ (No) ]
[ダイヤルアシスタンス (Dial Assistance) ]	ダイヤル アシスタンス機能を有効または無効にします。 デフォルト：[いいえ (No) ]
[自動応答ページ (Auto Answer Page) ]	ページ化コールの自動応答を有効または無効にします。 デフォルト：[はい (Yes) ]
[優先オーディオデバイス (Preferred Audio Device) ]	電話機で使用するオーディオのタイプを選択します。オプション：スピーカーとヘッドセット。 電話機で使用するオーディオのタイプを選択します。オプション：スピーカーとヘッドセット。 デフォルト：なし

パラメータ	説明
時間フォーマット (Time Format)	電話機の時刻フォーマット (12時間または24時間) を選択します。 デフォルト: 12 時間
[日付形式 (Date Format) ]	電話機の日付形式 ([月/日 (month/day) ]または[日/月 (day/month) ]) を選択します。 デフォルト: [月/日 (month/day) ]
[不在着信のショートカット (Miss Call Shortcut) ]	不在着信のショートカットを作成するオプションを有効または無効にします。
[アラートトーンオフ (Alert Tone Off) ]	アラート トーンを有効または無効にします。
[内線 (n) の不在着信を記録 (Log Missed Calls for EXT (n)) ]	特定の内線の不在着信ログを有効または無効にします。
[共有回線DNDコール転送有効化 (Shared Line DND C fwd Enable) ]	共有回線 DND コール転送を有効または無効にします。

## 音量 (Audio Volume)

パラメータ	説明
[着信音の音量 (Ringer Volume) ]	着信音のデフォルトの音量を設定します。 デフォルト: 9
[スピーカーの音量 (Speaker Volume) ]	スピーカーフォンのデフォルトの音量を設定します。 デフォルト: 8
[ハンドセットの音量 (Handset Volume) ]	ハンドセットのデフォルトの音量を設定します。 デフォルト: 10
[ヘッドセットの音量 (Headset Volume) ]	ヘッドセットのデフォルトの音量を設定します。 デフォルト: 10
[Bluetooth の音量 (Bluetooth Volume) ]	Bluetooth デバイスのデフォルトの音量を設定します。

パラメータ	説明
[電子フックスイッチ制御 (Electronic HookSwitch Control) ]	電子フックスイッチ制御 (EHS) 機能を有効化または無効化します。  EHSを有効化すると、AUXポートは電話機のログを出力しません。

## 画面

パラメータ	説明
[スクリーンセーバーの有効化 (Screen Server Enable) ]	電話機のスクリーンセーバーを有効にします。電話機が指定された期間アイドル状態が続くと、スクリーンセーバーモードに入ります。  デフォルト：[いいえ (No) ]
[スクリーンセーバー待機 (Screen Saver Wait) ]	スクリーンセーバーが表示されるまでのアイドル時間の長さです。  スクリーンセーバーが開始されるまでのアイドル時間 (秒) を入力します。  デフォルト：300
[スクリーンセーバーのタイプ (Screen saver type) ]	スクリーンセーバーの種類。次のオプションを選択できます： <ul style="list-style-type: none"> <li>• [クロック (Clock) ]：壁紙を背景に丸い時計を表示します。</li> <li>• [クロック (Clock) ]：単色の背景にデジタル時計を表示します。</li> <li>• [ダウンロード画像 (Download Picture) ]：電話機の Web ページからプッシュされた画像を表示します。</li> <li>• [ロゴ (Logo) ]：電話機の背景としてロゴを追加できます。</li> <li>• [ロック (Lock) ]：スクリーンセーバーのロックを有効にします。</li> </ul>
[スクリーンセーバーの更新間隔 (Screen Saver Refresh Period) ]	スクリーンセーバーが更新されるまでの秒数 (画像の回転を選択した場合など)。
バックライトタイマー (Back Light Timer)	バックライトタイマーがオンである秒数。
画面の明るさ (Display Brightness)	目的の明るさの値。

パラメータ	説明
ブート表示 (Boot Display)	<p>電話機を起動する際の電話画面の表示タイプです。次のオプションを選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• デフォルト</li> <li>• 画像をダウンロード (Download Picture)</li> <li>• ロゴ</li> <li>• テキスト</li> </ul>
テキスト表示 (Text Display)	<p>電話機の起動時に表示するテキストです。たとえば、サービスプロバイダは、次のようにロゴテキストを入力できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• テキストは最大2行です</li> <li>• 各行は32文字未満である必要があります</li> <li>• 行の間には改行文字 (\n) を挿入します</li> <li>• エスケープコード %0a を挿入する</li> </ul> <p>たとえば、</p> <pre>Super\n%0aTelecom</pre> <p>次の内容が表示されます。</p> <pre>Super Telecom</pre> <p>書式設定用のスペースを追加するには、+記号を使用します。たとえば、テキストの前後に複数の+文字を追加して、テキストを中央に配置することができます。</p>
電話機の背景タイプ (Phone Background Type)	[ダウンロード画像 (Download Picture)] に設定されている場合、画像をダウンロードして電話画面の背景をカスタマイズできます。
[画像のダウンロードURL (Picture Download URL)]	<p>電話画面の背景に表示する (.png) ファイルを示す URL です。</p> <p>詳細については、<a href="#">電話の情報とディスプレイの設定</a>を参照してください。</p>
ロゴの URL (Logo URL)	電話画面にロゴを表示する (.png) ファイルを示す URL です。

## ビデオ設定

パラメータ	説明
ビデオ	電話機でビデオを有効にします。有効にする場合は[はい (Yes)]を選択し、無効にする場合は[いいえ (No)]を選択します。 デフォルト：はい (Yes)
カメラ露出 (Camera Exposure)	ビデオを送信するとき露出される光の量を決定します。0～15の範囲の値を入力します。 デフォルト：8

## アテンダント コンソール

## 一般



(注) [Attコンソール (Att Console)] というラベルの付いた [アテンダントコンソール (attendant console)] タブは、[管理ログイン (Admin Login)] > [詳細 (Advanced)] モードのみで使用できます。

パラメータ	説明
[サブスクライブの有効期限 (Subscribe Expires)]	サブスクリプションが有効な期間を指定します。指定された期間が経過すると、Cisco Attendant Console は新しいサブスクリプションを開始します。 デフォルト：1800
[サブスクリプション再試行インターバル (Subscribe Retry Interval)]	サブスクリプションが失敗した場合に再試行するまで待機する時間を指定します。 デフォルト：30
ユニット数	Cisco Attendant Console ユニットの数を指定します。 デフォルト：0
[サブスクライブの遅延 (Subscribe Delay)]	サブスクライブを試行するまでの遅延の長さ。 デフォルト：1

パラメータ	説明
[サーバタイプ (Server Type) ]	<p>電話機を接続するサーバタイプを指定します。使用可能なオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [BroadSoft]</li> <li>• [SPA9000]</li> <li>• [アスタリスク (Asterisk) ]</li> <li>• [RFC3265_4235]</li> <li>• [Sylantro]</li> </ul>
KEM の種類	<p>電話機に関連付けるキー拡張モジュールの種類を選択できます。次のオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• BEKEM</li> <li>• CP-8800-Audio : Cisco IP Phone 8851 および 8861 (オーディオフォン) でのみサポートされています。</li> <li>• CP-8800-Video : Cisco IP Phone 8865 (ビデオ電話) でのみサポートされています。</li> </ul> <p>デフォルト : BEKEM</p>
BLF リスト URI	<p>BroadSoft サーバ上で、電話機のユーザに対して設定したビジーランプフィールド (BLF) リストの Uniform Resource Identifier (URI)。</p> <p>このフィールドは、電話機が BroadSoft サーバに登録されている場合にのみ適用されます。BLF リストは、電話機が監視を許可されている回線を持つユーザのリストです。詳細については、<a href="#">他の電話を監視するための電話設定</a>を参照してください。</p> <p>BLF リスト URI は次の形式で指定する必要があります。 &lt;URI 名&gt; @ &lt;server&gt; 指定された BLF リスト URI は、BroadSoft サーバの <b>List URI: sip</b> パラメータに設定された値と同じである必要があります。</p> <p>デフォルト : 空白</p> <p>XML 構成の例 :</p> <pre>&lt;BLF_List_URI ua="na"&gt;MonitoredUsersList@sipurash22.com&lt;/BLF_List_URI&gt;</pre>

パラメータ	説明
[BLFリストに回線キーを使用 (Use Line Keys For BLF List) ]	<p>BLF リストの監視がアクティブなときに、電話機が回線キーを使用して BLF リストを監視するかどうかを制御します。</p> <p>いいえに設定した場合、電話機は BLF リストを監視するためにキー拡張モジュールのキーのみを使用します。</p> <p>この設定は、<b>BLF リストが表示</b>に設定されている場合にのみ意味があります。</p> <p>デフォルト：[いいえ (No) ]</p> <p>XML 構成の例：</p> <pre>&lt;Use_Line_Keys_For_BLF_List ua="na"&gt;Yes&lt;/Use_Line_Keys_For_BLF_List&gt;</pre>
カスタマイズ可能な PLK オプション	<p>ユーザがオンラインキーを構成することを許可されている機能。</p> <p>機能を許可するには、以下に示すように対応するオプションを追加します。オプションはセミコロン (;) で区切ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 短縮ダイヤル：sd</li> <li>• ユーザを監視するためのビジーランプフィールド (BLF) キー：blf</li> <li>• 監視対象回線からのコールピックアップ：cp</li> </ul> <p>(注) このオプションは、blfオプションが追加されている場合にのみ有効です。</p> <p>デフォルト：sd;</p> <p>(注) sd オプションを追加することにより、blfオプションが追加されると、自動的にユーザは監視対象の回線に短縮ダイヤルを設定できるようになります (BLFでの短縮ダイヤル)。</p> <p>すべての機能を許可する例</p> <pre>sd;blf;cp</pre> <p>XML 構成の例：</p> <pre>&lt;Customizable_PLK_options ua="na"&gt;sd;&lt;/Customizable_PLK_options&gt;</pre>



パラメータ	説明
BLF リスト	<p>BLF リストのモニタリングを有効または無効にする</p> <p>表示に設定すると、電話機は利用可能な回線キーを順番に割り当てて、BLF リストのエントリを監視します。BLF リストキーのラベルには、監視対象ユーザの名前と監視対象回線のステータスが表示されます。</p> <p>この設定は、次の場合にのみ意味があります。 <b>BLF リスト URI</b> 設定されています。</p> <p>XML 構成の例 :</p> <pre>&lt;BLF_List ua="rw"&gt;Show&lt;/BLF_List&gt;</pre>
[アテンダントコンソールLCDの明るさ (Attendant Console LCD Brightness) ]	<p>アテンダントコンソールディスプレイのテキスト、行、および背景のコントラスト。1～30の範囲で数値を入力します。数値が大きいほど、ディスプレイのコントラストが高くなります。</p> <p>デフォルト : 12</p>
[BXfer to Starcodeを有効化 (BXfer to Starcode Enable) ]	<p>[はい (Yes) ] に設定すると、* コードが短縮ダイヤル拡張機能で定義されている場合、電話機はブラインド転送を実行します。[いいえ (No) ] に設定すると、現在のコールが保留され、新しいコールが短縮ダイヤル先に開始されます。</p> <p>デフォルト : [いいえ (No) ]</p>
[短縮ダイヤルでのBXferを有効化 (BXfer On Speed Dial Enable) ]	<p>[はい (Yes) ] に設定すると、短縮ダイヤルのファンクションキーが選択されている場合、電話機はブラインド転送を実行します。[いいえ (no) ] に設定すると、現在の接続されたコールが保留され、新しいコールが短縮ダイヤル先に開始されます。</p> <p>たとえば、ユーザが短縮ダイヤル機能を使用してコールをパークする場合、パラメータが有効になっていると、ブラインド転送がパークスロットに実行されます。このパラメータが有効になっていない場合は、在席転送がパークスロットに実行されます。</p> <p>デフォルト : [いいえ (No) ]</p>

パラメータ	説明
[相手方番号へのBXferを有効化 (BXfer To Remote Party Number Enable) ]	[はい (Yes) ]に設定すると、電話機はリモート番号へのブラインド転送を実行します。[いいえ (no) ]に設定すると、リモート番号へのブラインド転送が無効になります。
[BLFラベル表示モード (BLF Label Display Mode) ]	電話画面での BLF の表示モードを選択するオプション。 デフォルト：空白

## ユニット

Attendant Console ユニットの各回線キーに対してプログラミング情報を入力します。

パラメータ	説明
[ユニット有効 (Unit Enable) ]	電話機に追加するキー拡張モジュールが有効化されるかどうかを示します。
[ユニットオンライン (Unit Online) ]	電話機に追加するキー拡張モジュールがアクティブ化されるかどうかを示します。
[HWバージョン (HW Version) ]	電話機に追加するキー拡張モジュールのハードウェアバージョンを表示します。
[SWバージョン (SW Version) ]	電話機に追加するキー拡張モジュールのソフトウェアバージョンを表示します。

## TR-069

## TR-069

パラメータ	説明
[TR-069の有効化 (Enable TR-069) ]	TR-069 機能を有効または無効にするための設定。 デフォルト：[無効 (Disabled) ]
[ACS URL]	CPE WAN 管理プロトコルを使用する ACS の URL。このパラメータは、有効な HTTP または HTTPS URL の形式で指定する必要があります。この URL のホスト部は、SSL または TLS を使用する場合に ACS 証明書を検証するために CPE で使用されます。

パラメータ	説明
[ACSユーザ名 (ACS Username) ]	ACS で CPE WAN 管理プロトコルを使用している場合、ACS に対して CPE を認証するためのユーザ名。このユーザ名は、CPE の HTTP ベースの認証にのみ使用されます。  ユーザ名が設定されない場合、デフォルトとして admin が使用されます。
[ACSパスワード (ACS Password) ]	特定のユーザが ACS にアクセスするためのパスワード。このパスワードは、CPE の HTTP ベースの認証にのみ使用されます。  パスワードが設定されない場合、デフォルトとして admin が使用されます。
[使用中のACSURL (ACS URL In Use) ]	現在使用されている ACS の URL。これは読み取り専用のフィールドです。
[接続要求URL (Connection Request URL) ]	CPE に対して接続要求を行う ACS の URL。
[接続要求ユーザ名 (Connection Request Username) ]	CPE に対して接続要求を行う ACS を認証するためのユーザ名。
[接続要求パスワード (Connection Request Password) ]	CPE に対して接続要求を行う ACS を認証するために使用されるパスワード。
[定期通知インターバル (Periodic Informal Interval) ]	[定期通知有効 (Periodic Inform Enable) ] が [はい (Yes) ] に設定されている場合、CPE が ACS との接続を試行する間隔を秒数で入力します。  デフォルト値は 20 秒です。
[定期通知有効 (Periodic Inform Enable) ]	CPE 接続要求を有効または無効にするための設定。デフォルト値は [はい (Yes) ] です。
[TR-069追跡可能性 (TR-069 Traceability) ]	TR-069 トランザクションログを有効または無効にするための設定。  デフォルト値は [いいえ (No) ] です。
[CWMP V1.2サポート (CWMP V1.2 Support) ]	CPE WAN 管理プロトコル (CWMP) サポートを有効または無効にするための設定。無効に設定すると、電話機は ACS に通知メッセージを送信せず、ACS からの接続要求を受け入れることもありません。  デフォルト値は [はい (Yes) ] です。

パラメータ	説明
[TR-069音声オブジェクト初期化 (TR-069 VoiceObject Init) ]	音声オブジェクトを変更するための設定。[はい (Yes) ]を選択すると、すべての音声オブジェクトが工場出荷時時の値に初期化されます。[いいえ (No) ]を選択すると、現在の値が保持されます。
[TR-069 DHCPオプション初期化 (TR-069 DHCPOption Init) ]	DHCP 設定を変更するための設定。[はい (Yes) ]を選択すると、ACS の DHCP 設定が初期化されます。[いいえ (No) ]を選択すると、現在の DHCP 設定が保持されます。
[TR-069フォールバックサポート (TR-069 Fallback Support) ]	TR-069 フォールバック サポートを有効または無効にするための設定。 電話機でDHCPを使用したACSの検出試行に失敗した場合、次はDNSを使用してACS IP アドレスを解決します。
[バックアップACS URL (BACKUP ACS URL) ]	CPE WAN 管理プロトコルを使用する ACS のバックアップ URL。このパラメータは、有効な HTTP または HTTPS URL の形式で指定する必要があります。この URL のホスト部は、SSL または TLS を使用する場合に ACS 証明書を検証するために CPE で使用されます。
[バックアップACSユーザ (BACKUP ACS User) ]	ACS で CPE WAN 管理プロトコルを使用している場合、ACS に対して CPE を認証するためのバックアップユーザ名。このユーザ名は、CPE の HTTP ベースの認証にのみ使用されます。
[バックアップACSパスワード (BACKUP ACS Password) ]	特定のユーザが ACS にアクセスするためのバックアップパスワード。このパスワードは、CPE の HTTP ベースの認証にのみ使用されます。
(注)	上記のパラメータを設定しない場合は、DHCP オプション 60、43、および 125 を使用してフェッチすることもできます。

## コール履歴

電話機の通話履歴が表示されます。表示される情報を変更するには、次のタブから通話履歴のタイプを選択します。

- すべてのコール
- 不在履歴
- 受信 (Received)
- 発信

通話情報をパーソナルディレクトリに追加するには、[ディレクトリに追加 (Add to Directory)] を選択します。

## パーソナル ディレクトリ

パーソナルディレクトリには、ユーザが一連の個人の番号を保存できます。ディレクトリエントリには、次の連絡先情報を含めることができます。

- 番号 (電話番号)
- 名前
- 職場
- 携帯
- 自宅
- 短縮ダイヤル

連絡先情報を編集するには、[連絡先の編集 (Edit Contacts)] をクリックします。

